# 科研費

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 3 年 5 月 3 1 日現在

機関番号: 12601 研究種目: 基盤研究(S) 研究期間: 2015~2019

課題番号: 15H05750

研究課題名(和文)2次元画像比較を駆使した超高磁場リコネクションの巨大加熱・加速の解明と応用開拓

研究課題名 (英文) Phyisics and Applications of High-Power Heating / Acceleration of Ultra-High Field Magnetic Reconnection by Use of 2D Imaging Measurements

#### 研究代表者

小野 靖 (Ono, Yasushi)

東京大学・大学院新領域創成科学研究科・教授

研究者番号:30214191

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 153,900,000円

研究成果の概要(和文):独自開発のイオン温度,電子温度,磁場,X線の2次元計測を高精細化すると共に,大型化ではなく,中小規模のトカマクプラズマ合体実験を高磁場化して,磁気リコネクションの粒子加熱・加速効果について,そのパワーが損失を十分上回る高S/N実験を実現した。イオンのアウトフロー加速・加熱,電子フローの負ポテンシャル形成とイオンの静電加速・加熱,電子の電流シートのオーム加熱に加え,小パワーだが高エネルギーのX点のベータトロン的加速とセパラトリクス上の波動やプラズモイド構造による加速・加熱を解明し,実験・PICシミュレーション・観測の統一理解を得た。磁場の2乗に比例するイオン加熱比例則は核融合点火の応用を生んだ。

研究成果の学術的意義や社会的意義 大型化する世界のリコネクション実験に対して,中小規模でも最大0.5Tの高磁場,最大イオン温度2keV超を実現 して高パワー・低損失の高S/N下でリコネクション加熱・加速機構が解明できることを世界に先駆けて提案・実 現した点,独自アイデアのイオン温度・電子温度・磁場・X線の2次元高精細画像計測を開発して加熱・加速機 構解明につなげた点,実験,粒子シミュレーション,太陽観測の直接画像比較により統一理解を得た点は,今後 のリコネクション研究の方向性を与え,学術的意義は大きい。3分野融合の論文・国際会議主催を通じて,3分野 融合の流れを形成し,イオン加熱比例則が核融合炉点火法を生む等,社会的意義も大きい。

研究成果の概要(英文): We developed 1) 2D fine imaging diagnostics of ion/electron temperatures, magnetic field and X-ray: 2D Doppler tomography and 2D Thomson scattering, 2D print-circuit-board type magnetic probe and 2D X-ray tomography and 2) medium-size high-magnetic-field tokamak merging experiments up to 0.5T and 2keV, realizing acceleration/heating powers of magnetic reconnection much higher than heat loss power. We solved the outflow acceleration/heating, electron acceleration to form negative potential well in the downstream, its electrostatic acceleration of ions, Ohmic heating of electrons in the current sheet, betatron accelerations of electrons at X-point, wave one on the separatrix and plasmoid-related one, leading us to unified understandings of heating/acceleration effects among experiments, PIC simulations and partly solar observations. We verified the squared B scaling of reconnection heating over 2keV, leading us to its new application: ignition of fusion reactor by merging tokamaks.

研究分野: 数物系科学・プラズマ科学

キーワード: 磁気リコネクション 高精細プラズマ画像計測 イオン加速・加熱 電子加速・加熱 高磁場プラズマ 合体 2次元画像比較 PICシミュレーション リコネクション加熱応用

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 1.研究開始当初の背景

磁気リコネクションはプラズマ中で反平行の磁力線同士がX状につなぎかわる現象である。局 所現象でも,巨視的磁場構造変化を決め,近年は巨大加熱を生むエネルギー変換作用に注目が集 まっている。太陽フレアの粒子加速・加熱,磁気圏電流シートの高イオン温度に加え,実験分野 では東京大学TS-3装置が250eV,東大とカラム研究所共同のMAST 合体実験で1keV に達する巨 大なリコネクション加熱を得た。リコネクション加速・加熱機構の提案は多数あり,小野らが 2013年11 , 12月プラズマ核融合学会誌小特集にまとめたが ,(1) MHD 的解釈では ,①アウトフ ローによるイオン加熱,②電流シートのオーム加熱による電子加熱に加え,③スローショック 加熱,(2) 運動論・二流体的解釈では,(4)リコネクション下流に電子が集まり,負電位を形成し てイオンを静電加速する効果, ⑤電流シート外に広がる電場の加速, ⑥カスプ磁場によるポテ ンシャル効果、⑦静電ポテンシャルとエネルギー変換領域が巨視的に拡大するとの指摘もある。 (3) 非熱的粒子加速として(8)乱流・波動による加速・加熱,(8),リコネクション多段経由による 加速、⑨X点付近のサイクロトロン加速,⑩周辺領域の波動による波乗り加速があるが,多くは 室内実験・観測・理論の一つの知見に過ぎない。理論は支配方程式の仮定,観測は磁場等の局所 データ欠落(太陽),2次元空間分布データの欠落(磁気圏)に限界があり,検証には,実際の プラズマを自由に計測できる室内実験の工夫ある利用が有効である。東大TS-3 実験に始まるト ーラス合体型の磁気リコネクション実験は世界で10 以上の類似装置が建設され,最近はプリン ストン大学のMRX装置からFlare装置への更新に代表される大型化が進行するが、合体実験発祥 の日本は次の研究の流れを考える時期に来ている。

#### 2.研究の目的

室内実験の問題は,コイルの周囲に形成プラズマを合体させる10eV程度の実験(MRX実験等)がエネルギー変換研究に用いられることで,コイル・壁への損失,低Z放射損失,中性粒子損の温度分布への影響が軽視されてきた。逆に東大は英国との共同実験も含め,100eVを超える高温リコネクション実験で先行し,再結合磁場B<sub>rec</sub>の2 乗に比例したイオン温度上昇を見出し,本研究の方向性は装置の大型化でなく,(1)装置サイズを絞って高磁場化して加熱パワーを引き上げて損失が無視できるクリアカットな実験を実現し,(2)磁場,イオン温度,電子温度,電子密度の2次元高精細画像計測の開発を進め,全実験に標準導入し,(3)多く存在するイオンと電子の加熱・加速機構を2次元画像によって検証し,相互比較の上,全体像を解明し,(4)実験,太陽観測,計算との画像比較による統一理解を目指し,(5)最後にリコネクションの巨大加熱,急速加熱の応用開拓を目指す。米国の次期計画Flareで期待出来ないkeV 超のリコネクション加熱と,MR国際会議やプラズマ核融合学会誌小特集を共同企画するまで緊密になった日本独自の実験・(太陽・磁気圏)観測・理論(シミュレーション)の緊密な連携で国際競争をリードする。

## 3.研究の方法

1)リコネクション加熱パワー> > 損失を実現するキーとなる高磁場の実現が容易な小型プラズマ合体装置 TS-3 には真空容器と高磁場コイルを新設 ,高速電源( 40kV 充電 ),中速電源( 20kV 充電 ),低速電源( 10kV 充電 )の整備して ,磁場を上げた高出力リコネクション加熱実験を行い , 2 ) 物理解明のキーであるイオン温度・速度 ,電子温度・速度 ,電子密度 ,磁場・電場 ,高エネルギー電子・イオンの高精細 2 次元計測の開発に研究資金を集中し ,予定を上回る速さで ,最初にドップラー型イオン温度・流速画像 ,次に 2 次元トムソン散乱の電子温度・密度画像、新型プリント基板型高精細磁気プローブによる 2 次元磁場・電場 ( 含揺動 ) の画像計測 ,最後に 2 次元・3 次元 X 線計測による高エネルギー電子画像を完成した。これらを順次投入して ,加速・加熱機構を一つずつ検証し ,(1)MHD 的解釈 ,(2)運動論的解釈,(3)非熱的粒子加速の相互関係と全体像を明らかにできた。

実験は東京大学の小野・井・田辺・Cheng(理論担当の連携研究者)の4教員を中心に20名の学生が,3つの合体実験装置:小型高磁場のTS-3(大半径R=0.2m),中型TS-4(R=0.5m),更新が容易な外部コイルのみから成るUTST(R=0.4m)を用い,英国カラム研MAST(R=0.9m),ベンチャー企業トカマクエナジー研のST-40(R=0.5m)(連携研究者Gryaznevich)にも東京大学開発のイオンドップラー計測を設置して,イオン加熱の再結合磁場に対する比例則の確立に活用した。粒子シミュレーションとの連携は,分担者の核融合科学研究所堀内,太陽衛星観測との連携は,宇宙研・清水,国立天文台・原と大学院生数名が担当し,分野融合,国際連携したリコネクション加熱・加速研究組織を立ち上げ,ひので・実験室会議を毎年行って分野融合を広げた。粒子シミュレーションを担当する堀内らは東大院生と共に,合体実験の境界条件を生かした粒子シミュレーションを担当する堀内らは東大院生と共に,合体実験の境界条件を生かした粒子シミュレーションを担当する堀内らは東大院生と共に,合体実験の境界条件を生かしたたが子シミュレーションを担当する堀内らは東大院生と共に,合体実験の境界条件を生かしたたが子シミュレーションを行い,物理の解明を進めた。太陽コロナの観測については「ひので」衛星等のドップラー観測,紫外光観測,X線観測で得られた2次元観測画像と直接比較を行って,分野に共通する謎:A)磁気エネルギーに匹敵する巨大加熱,B)局部的にイオンや電子に偏った加熱,C)熱平衡を外れた高エネルギー粒子発生を解明し,分野間で一貫性のある学理を求め,最後に巨大かつ急速な加熱・加速の核融合応用開拓を行った。

## 4. 研究成果

高磁場実験によるイオン加熱スケーリング則の機構解明:まず,合体トカマクのポロイダル磁場

向上のためコンデンサー電源系も 40kV, 20kV, 10kV の合計 1MJ のコンデンサーを再整備し,総 エネルギー1.4MJ のシステムを自作を含めて完了 した。コイルも高磁場用に更新して,まず0.5T以 上の高ポロイダル磁場を得てから,高磁場合体実 験を進めて , 0.2T, 1keV までで検出したすべての 粒子加速・加熱効果のパワー>>損失パワーという 本研究の高磁場実験の目標が満たされ、小パワー の X 線セパラトリクス加熱(後述)もクリアに観 測できた。 小型で高磁場の TS-3(R=0.2m), 大型で 閉じ込めに優れた TS-4(R=0.5m). 高ガイド磁場 の UTST(R=0.4m)の特徴を生かした実験を完成し た。内部コイル位置の最適化によって生成効率が 30%上昇することが判明し, 当初計画を変更して コイル系,電源系に反映させ,論文化した。その結 果、リコネクションのイオン加熱が再結合磁場の 2 乗に比例するスケーリング則は,図1のように 2keV 超と従来の 10 倍の温度領域まで ,10 倍のデ ータ点で有効性が確認できた。スケーリング則の 機構解明も進展し、電流シートをイオンラーマ径 程度まで圧縮すると大きな異常抵抗を発生するた め,高速リコネクションによる(再結合磁場の)ア ルベーン速度並みのアウトフローが発生して,概 ねイオン加熱は再結合磁場の2乗で決まることが わかった。この研究は PIC シミュレーションとタ イアップして行い,図 1(b)の実験そっくりのスケ ーリングを確認した。図 2 のゼロに近い低 q(低 ガイド磁場)領域で 1.5 倍程度の加熱が大きくな るマイナー効果は見られるものの,図 2(a)赤点線 の q 値>1.5 領域(ガイド磁場比 1.5 以上)で加熱は q値によらないことが判明した。プラズモイド放 出があると大きくイオンが加熱されるため、高ガ イド磁場で間欠的に発生するプラズモイド放出を 考慮にいれると、プラズモイド放出前の黒点線が 放出後の赤点線となり , q 値>1.5 領域でガイド磁 場依存性がかなり弱くなることが判明した。この 点は図2(b)のPICとの統一見解が得られた。

2 次元ドップラー温度・流速計の超高精細化とイ オンのアウトフロー加熱現象に関する 4 つの実 **験・PIC・太陽観測の統一解釈確立**:従来 35 点で あった計測点を 9 6 点,さらに 500 点へ高精細化 を1年程度で完了し,高精細・広範囲の2次元イ オン温度計測が実現し,連携する英国の超大型 (R=0.9m)の MAST ,強磁場の ST-40 合体実験にも 東大のドップラートモグラフィ計測を持ち込み、 X点からの両方向アウトフローが再結合した磁力 線に衝突して熱化するイオン加熱について全合体 実験が一致し,加熱スケーリング則のデータも拡 大した。 図3のように実験, PIC, 太陽観測でX点 下流 2 ヶ所のイオン加熱が結論できた。PIC ,太陽 観測との比較は論文となり , フレア上空の EUV 分光観測でもループ上部で 1,000 km/s のフロ-やイオン温度が電子温度の5倍程度の約1億度 の加熱が見つかった。磁場構造の違いも考えれ ば、3分野の統一解釈が得られた。電流シート内の イオンの乱流加熱も認められた。独自開発の2次 元イオン温度計測はプラズマ核融合学会学術奨励 賞,第37回若手学会発表賞となった。

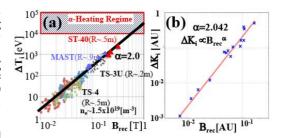


図 1(a)イオン加熱の再結合磁場 B<sub>rec</sub><sup>2</sup> 比例則の検証 (TS-3, TS-4, MAST, 電子密度~1.5x10<sup>19</sup>m<sup>-3</sup>) と(b)PIC シミュレーションでの同様の検証

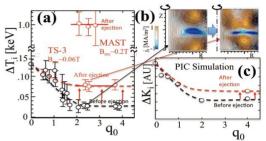


図 2 再結合磁場一定下におけるリコネクション 加熱によるイオン温度の q 値( 概ねガイド磁場  $B_t$  / 再結合磁場  $B_r$  に比例) 依存性: 左が実験で, 右下は PIC シミュレーション。いずれも黒点線はプラズモイド放出前の依存性で赤点線はプラズモイド放出後の依存性。プラズモイド放出前,後の磁気面( 黒線 )とトロイダル電流密度(カラー)を右上に示す。

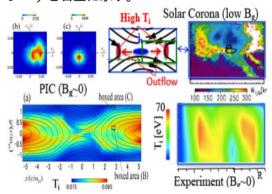


図3 ガイド磁場  $B_{t\sim}0$  のリコネクション時のイオン温度分布(右下)と対応する PIC シミュレーション(左下)とその x,y 方向速度分布(左上) ,太陽コロナのフレアのイオン温度分布(上右)

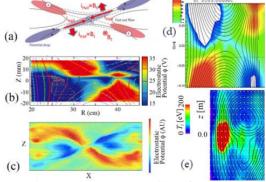


図 4 高 Bt リコネクションの静電ポテンシャル分布(a)(d):実験, (c) PIC と(d)イオン温度(実験)

ポテンシャル計測によれば電子はリコネクション電場でイオンに先行して加速され,図4(b)のようにリコネクション下流に負電位領域を形成して,イオンはその静電場で加速されるとわかった。図4(c)の2次元PICシミュレーションとも一致する。

新発見は ,(1)負電位領域によってイオンが加速される ため,速度成分が均等になることで,図3左上のよう に x, y 方向速度分布を描くと円環状になり, ピックア ップ運動に類似することが判明した。再結合磁場を上 げると円環が大きくなり、擬似的 Maxwell 分布の形成 を見出した。(2) 負電位領域は図 4(d)のようにリコネ クション下流から巨視的に広がり,図 4(e)に示すイオ ン加熱領域も巨視的に広がる。リコネクションはもは や局所的な現象でなく、巨視的な磁束管全体を考える 必要があると判明した。X 点周辺を模擬する MRX 等の 多くの実験は負電位が壁に達し,加熱の把握が困難と わかり、本合体実験の最適であると結論される。負電 位形成によるイオン加速は PIC シミュレーションも-致する統一解釈となり,これらの知見は,運動論的リ コネクションとしては初めての基本理論モデルの構築 につながった。

2次元トムソン散乱による高精細電子温度計測と X 点ベータトロン加速の発見:東大独自の 2次元トムソン散乱計測の解像度を上げ ,図 6 上の UTST の 2次元電子温度計測ではオーム加熱に乱流加熱が加わった電子温度計測ではオーム加熱に乱流加熱が加わった電流シート加熱 , ダウンストリーム加熱に加え , X 点にでいることが明られてであることが明らまであることが明らまずであった。これはスラブモデルを採用した PIC シミコンと一致しない。速度分布計測から実験では X 点近傍のベータトロン的な電子加速と考えてションに成功し , この X 点に局在化した加熱が初めて再に が , 最近 , 堀内らが磁束管合体の PIC シミュレーションに成功し , この X 点に局在化した加熱が初めて再に できた。その結果 , 二流体不安定もピークした分布に 寄与することが判明し , 実験の磁場揺動計測と比較して統一解釈となった。

2次元X線画像計測とPICによるセパラトリクスに局 在した高エネルギー電子の発見: UTST, TS-6 の X 線 計測でX点からのセパラトリクス周辺の電子加熱がは じめて観測された。 対応する PIC シミュレーションは 図7のようにセパラトリクス周辺の強い静電場が形成 されて,磁気モーメントの保存の破れが磁力線垂直方 向の電子加熱に結びつくと判明した。粒子加速に焦点 を合わせたフィルタ付マイクロチャンネルプレートに よる6方向X線画像計測を開発し,これにトモグラフ ィー逆変換を加えることによって, 例えば図 8(a)(b)の ようにX点のセパラトリクス付近で高エネルギー粒子 (>>バルク温度)の検出に成功した。セパラトリクス 付近の電子加速を検出し, PIC と連携してセパラトリ クス付近にホール効果で強められた静電場の存在を見 出し,統一解釈となった。セパラトリクス上では磁場 波動も認められ,波乗り加速との関連が示唆される。 図8(c)に示す高磁場時の同様のX線画像についても, 波動が励起された 460μs は多数の高エネルギー粒子領 域が見られるのに対して、リコネクション後半の 470μs では急に波動が収まり,高エネルギー電子領域 も前述のアウトフロー加熱による高エネルギー電子領 域は左右の2つのX点下流領域のみになることがわか る。さらにリコネクション初期には定常状態をもたら

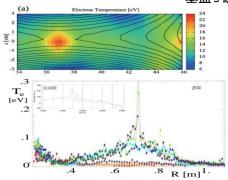


図 6 2次元高精細トムソン散乱計測による X 点に強くピークした 2次元(上)および 1次元(下)電子温度分布

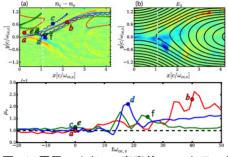


図 7(a)電子・イオンの密度差 n<sub>i</sub>-n<sub>e</sub> とテスト 粒子軌道 (b)パラレル電場の 2 次元分布, (下)各テスト粒子の磁気モーメント変化

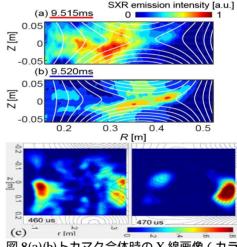


図 8(a)(b)トカマク合体時の X 線画像 (カラー) と磁力線 (白線) と (c)高磁場時の  $t=460\mu s$ ,  $170\mu s$  の同様の X 線画像 (カラー) と磁力線 (黒線)

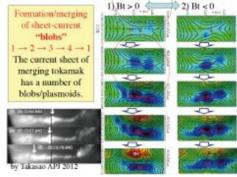


図9 太陽フレア時の電流シートの X 線画像の Blob 構造 (左)と合体トカマクの電流シートの電流密度の Blob 構造 (右)はガイド磁場(B<sub>t</sub>)の極性によって傾きが逆になる

す面内電場が成長しておらず、過渡的にも広い下流域で電子加速が起こることもわかってきた。 そこで、面内電場の発生要因である荷電分離が生じないように実験装置内側の下流域の磁力線 を短絡するような導体を新たに設置したところ、下流域から X 線発光の持続時間が伸長した。磁力線の境界条件によって電子加速が決まる点も新発見といえる。新型コロナウィルス感染と大型実験休止の影響で主要部分はまだ投稿中であるが、合体実験の高磁場化による成果といえ、海外の 10eV レベルの多くのリコネクション実験とは一線を画した高エネルギー領域のリコネクション加速・加熱研究を確立できたといえよう。

 $\frac{\Delta \epsilon}{\epsilon} \approx \left(\frac{V_{\Lambda}}{c}\right)$   $52\mu s$   $55\mu s$ 

図 10 プラズモイド列の複数アウトフローによるイオン加速効果の概念(上)とイオン温度計測結果

PCB 型磁気プローブによる 2 次元高精細磁気計測による電流シートの Blob 群の発見と実験室・太陽フレア観

測の連携:プリント基板を用いた超高精細磁気プローブの開発に成功し,高磁場合体によりレイノルズ数も向上した合体トカマクの電流シートが図9右のように多数の Blob からなることが判明した。スケール差があるにも係わらず,図9左の太陽フレア時の電流シートと酷似している。 Blob は電子密度が高いが,詳しく検証すると,磁気面を持つ磁気島である Blob,単に電流・密度が集まっただけの Blob から構成され,原因もインフローとアウトフローの差によるパルアップによる磁気島形成,インフローや磁場の偏りによる電流・密度の Blob 形成が判明した。磁力線の曲がりは例えばホール効果による図9右の両端の Blob に対応し,太陽の電流シートもフローの影響と思われる Blob の存在がわかる。プラズモイドが並んだ磁場構造は,フェルミ加速より効率のよい加速になり得るとの理論があり,高磁場化により十分な S/N を確保して検証すると 図10 のようにリコネクション下流で起こるイオン温度上昇に若干の相乗効果が確認できた。

実験と粒子シミュレーションのタイアップ:理論・シミュレーション・実験・観測の3分野間連携の進展:トカマク合体実験とPICシミュレーションのタイアップは成功し、PICに実験を取り込み、リコネクション電場で加速される電子がイオンに先行して静電場を形成し、イオンを加速する機構、電子がセパラトリクス上で加速される機構、X点に局在する電子加熱、加熱スケーリング則などの解明に成功した。太陽フレア観測ともドップラー計測同士の連携、分光データの活用の連携により、実験に対応するEIS分光やX線画像の比較は進み、X点下流のアウトフロー加速・加熱、Blobの発生原因の分類研究が進んだ。図10で効果を確認したBlob列のX点下流の相乗加速もまだ検証が必要で、太陽観測から提案のスローショック構造・加熱は確認できなかった。太陽の巨視的観測と実験室プラズマ診断を相補的に用いる本研究の手法はひので・IRIS衛星連携による光球と彩層の波動計測、実験室で発光の基礎過程を検証して観測に役立てるなど高感度太陽紫外線分光観測衛星Solar-C(EUVST)に生かされている。

リコネクション加熱の核融合炉応用の急進展:図 1 で再結合磁場 $B_{rec}$ を0.6Tへ増加させるとアルファ加熱が期待できる10keV以上に達するはずである。核融合炉では通常,プラズマ電流のオーム加熱は電子温度が高くなると抵抗が低下して加熱も低下するので,中性粒子ビームなどの追加熱を用いるが,追加熱無しの合体・リコネクションだけで核融合反応がオンできれば,大きなメリットがある。合体・リコネクション加熱の核融合プラズマ加熱への応用は,リコネクションだけで核融合反応を開始できる可能性が高く,大幅に簡略化した核融合点火実験が可能になるとして新聞報道2回,英国チャンネル4のTV放映等により社会へのインパクトは大きかった。この提案を紹介すると大きな反響があり,英国での提携先に資金が集まって核融合ベンチャー企業における球状トカマクST-40の高磁場合体実験につながり,小野もアドバイザーとなり,予測通り,10keVの核融合反応のスタートを狙っている。2016年日本政府主催のInternational Cool Earth Forum(ICEF)会議で初の核融合セッションに小野が招聘され,"Merging/Reconnection Heating for Direct Access to Fusion Reaction"の講演を行うなどリコネクション核融合加熱が社会的に注目された。リコネクション加熱など核融合ベンチャー企業の核融合研究を紹介した。新聞,英国チャンネル4でも報道され,電気評論の解説記事となった。

以上の成果は内外の注目を集め,アジア太平洋物理学会(AAPPS), ICPP国際会議の基調講演、米国物理学会(APS)年会, IPELS2015国際会議,MR2016, 2017, 2019国際会議, ISSS国際会議, 韓国物理学会等における小野,井,田辺,宇佐見,堀内,原,清水,Cheng, Gryaznevichらによる多数の招待講演,基調講演, Physics of Plasma誌の招待論文等によって内外から高く評価されている。Physics of Plasma誌にもこの分野連携の試みが注目され,2020年リコネクション論文特集を小野,Jiがeditorとなって担当し,成果を公表した。開発した独自の2次元計測も,イオンドップラートモグラフィー計測がプラズマ核融合学会の学術奨励賞,高精度プローブ計測をはじめ複数がプラズマ核融合学会論文発表賞,電気学会奨励賞,2次元トムソン散乱計測,高精細磁気プローブは東京大学研究科長賞に選定され,最終的に磁気リコネクションのイオン加熱物理の解明や分野間・国際連携を選定理由として2019年米国物理学会から小野へAPS Fellowの授与があった。核融合ベンチャー企業の核融合点火プロジェクトも順調に進んでいる。初めて太陽観測のHINODE会議と3分野連携会のIPELS会議が2019年融合したHINODE13/IPELS2019会議を小野,櫻井が東京大学で開催し,300名の参加者を集め,2020年AAPPS会議もリコネクションセッションを企画して成果を公表し,本研究の3分野連携は新しい研究の流れを形成することができた。

## 5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計93件(うち査読付論文 89件/うち国際共著 51件/うちオープンアクセス 4件)

[雑誌論文] 計93件(うち査読付論文 89件/うち国際共著 51件/うちオープンアクセス 4件)	
1 . 著者名	4 . 巻
Y. Ono, M. Inomoto, H. Tanabe, H. Yamaguchi, M. Gryaznevich, S. McNamara, P. Buxton, J.	1
	'
Kompulla, J. Wood, V. Nemytov, K. G. McCrements, C. Z. Cheng, H. Hara, S. Usami, R. Horiuchi	
2 . 論文標題	5.発行年
Overview of Merging Spherical Tokamak Experiments and Simulations for Burning, High-Beta and/or	2020年
Absolute Minimum-B Plasma Formation	
	C = 171 = 14 o =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Fusion Energy 2020	IAC/P4-3
G.	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本はの大畑
	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
オーノンデク ピス こはない、 又はオーノンデク ピスか 凶難	談当りる
1.著者名	4 . 巻
H. Tanabe, Q. Cao, H. Tanaka, T. Ahmadi, A. Sawada, C. Z. Cheng and Y. Ono	1
Tanabe, w. ode, ii. Tanaha, i. Aimadi, A. Odrada, V. Z. Ulidiy and I. Ulio	'
A A NEW	- 74 (- 4-
2.論文標題	5 . 発行年
Global ion heating/transport during merging spherical tokamak formation	2020年
5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5	
그 사람 수건	6 見知し見後の古
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Fusion Energy 2020	EX/P7-20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
	A
4 # # # #	4 344
1 . 著者名	4 . 巻
1. 著者名 M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori	4.巻
	_
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori	1
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori 2.論文標題	5.発行年
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori	1
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2 . 論文標題 Controlof Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak	1 5.発行年 2020年
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori 2.論文標題	5.発行年
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2 . 論文標題 Control of Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3 . 雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2 . 論文標題 Controlof Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak	1 5.発行年 2020年
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2 . 論文標題 Control of Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3 . 雑誌名	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2. 論文標題 Controlof Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3. 雑誌名 Fusion Energy 2020	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2. 論文標題 Control of Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3. 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2 . 論文標題 Controlof Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2020	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2. 論文標題 Control of Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3. 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2. 論文標題 Control of Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3. 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無 有
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2. 論文標題 Controlof Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3. 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2. 論文標題 Control of Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3. 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無 有
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2. 論文標題 Controlof Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3. 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無 有
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2. 論文標題 Controlof Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3. 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無 有 国際共著
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2. 論文標題 Controlof Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3. 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無 有 国際共著
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2. 論文標題 Control of Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3. 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無 有 国際共著
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2. 論文標題 Controlof Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3. 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 M. Akimitsu, Q. Cao, Y. Cai, K. Miki, H. Yamaguchi, S. Kamiya, R. Someya, H. Tanaka and Y. Ono	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無 有 国際共著
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2. 論文標題 Controlof Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3. 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無 有 国際共著
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2. 論文標題 Controlof Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3. 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 M. Akimitsu, Q. Cao, Y. Cai, K. Miki, H. Yamaguchi, S. Kamiya, R. Someya, H. Tanaka and Y. Ono  2. 論文標題	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無 有 国際共著
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2 . 論文標題 Controlof Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 M. Akimitsu, Q. Cao, Y. Cai, K. Miki, H. Yamaguchi, S. Kamiya, R. Someya, H. Tanaka and Y. Ono	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2.論文標題 Controlof Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 M. Akimitsu, Q. Cao, Y. Cai, K. Miki, H. Yamaguchi, S. Kamiya, R. Someya, H. Tanaka and Y. Ono  2.論文標題 Multiple Plasmoid Formation and Ejection in TS-3U and TS-4U Merging Tokamaks Experiments	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2020年
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2 . 論文標題 Control of Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 M. Akimitsu, Q. Cao, Y. Cai, K. Miki, H. Yamaguchi, S. Kamiya, R. Someya, H. Tanaka and Y. Ono  2 . 論文標題 Multiple Plasmoid Formation and Ejection in TS-3U and TS-4U Merging Tokamaks Experiments  3 . 雑誌名	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2.論文標題 Controlof Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 M. Akimitsu, Q. Cao, Y. Cai, K. Miki, H. Yamaguchi, S. Kamiya, R. Someya, H. Tanaka and Y. Ono  2.論文標題 Multiple Plasmoid Formation and Ejection in TS-3U and TS-4U Merging Tokamaks Experiments	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2020年
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2 . 論文標題 Control of Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 M. Akimitsu, Q. Cao, Y. Cai, K. Miki, H. Yamaguchi, S. Kamiya, R. Someya, H. Tanaka and Y. Ono  2 . 論文標題 Multiple Plasmoid Formation and Ejection in TS-3U and TS-4U Merging Tokamaks Experiments  3 . 雑誌名	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2 . 論文標題 Control of Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 M. Akimitsu, Q. Cao, Y. Cai, K. Miki, H. Yamaguchi, S. Kamiya, R. Someya, H. Tanaka and Y. Ono  2 . 論文標題 Multiple Plasmoid Formation and Ejection in TS-3U and TS-4U Merging Tokamaks Experiments  3 . 雑誌名	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2 .論文標題 Control of Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3 .雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 .著者名 M. Akimitsu, Q. Cao, Y. Cai, K. Miki, H. Yamaguchi, S. Kamiya, R. Someya, H. Tanaka and Y. Ono  2 .論文標題 Multiple Plasmoid Formation and Ejection in TS-3U and TS-4U Merging Tokamaks Experiments  3 .雑誌名 Fusion Energy 2020	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-7
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2 .論文標題 Controlof Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 M. Akimitsu, Q. Cao, Y. Cai, K. Miki, H. Yamaguchi, S. Kamiya, R. Someya, H. Tanaka and Y. Ono  2 .論文標題 Multiple Plasmoid Formation and Ejection in TS-3U and TS-4U Merging Tokamaks Experiments  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-7
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2 . 論文標題 Control of Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 M. Akimitsu, Q. Cao, Y. Cai, K. Miki, H. Yamaguchi, S. Kamiya, R. Someya, H. Tanaka and Y. Ono  2 . 論文標題 Multiple Plasmoid Formation and Ejection in TS-3U and TS-4U Merging Tokamaks Experiments  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2020	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-7
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2. 論文標題 Control of Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3. 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  1. 著者名 M. Akimitsu, Q. Cao, Y. Cai, K. Miki, H. Yamaguchi, S. Kamiya, R. Someya, H. Tanaka and Y. Ono  2. 論文標題 Multiple Plasmoid Formation and Ejection in TS-3U and TS-4U Merging Tokamaks Experiments  3. 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-7 査読の有無 有
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2 .論文標題 Controlof Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 M. Akimitsu, Q. Cao, Y. Cai, K. Miki, H. Yamaguchi, S. Kamiya, R. Someya, H. Tanaka and Y. Ono  2 .論文標題 Multiple Plasmoid Formation and Ejection in TS-3U and TS-4U Merging Tokamaks Experiments  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-7
M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, H. Kaneko, K. Kusano, S. Kamio, E. Kawamori  2 . 論文標題 Control of Electron Acceleration Process during Startup of Spherical Tokamak  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  1 . 著者名 M. Akimitsu, Q. Cao, Y. Cai, K. Miki, H. Yamaguchi, S. Kamiya, R. Someya, H. Tanaka and Y. Ono  2 . 論文標題 Multiple Plasmoid Formation and Ejection in TS-3U and TS-4U Merging Tokamaks Experiments  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2020  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-21 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 EX/P7-7 査読の有無 有

1 . 著者名 S. Usami, R. Horiuchi, T. Moritaka, Y. Ono, M. Inomoto, and H. Tanabe	4.巻 1
2.論文標題 Particle Simulation on Merging Processes of Two Spherical Tokamak-Type Plasmoids Confined in a Conducting Vessel	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Fusion Energy 2020	6.最初と最後の頁 TH/P3-3
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Y. Takase , A. Ejiri , T. Fujita , K. Hanada H. Idei M. Nagata, T. Onchi, Y. Ono, H. Tanaka, N. Tsujii, M. Uchida, K. Yasuda, Y. Kamada, H. Kasahara, S. Murakami, Y. Takeiri, Y. Todo, S. Tsuji-lio	4 . 巻 1
2 . 論文標題 Overview of Coordinated Spherical Tokamak Research in Japan	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Fusion Energy 2020	6.最初と最後の頁 OV/4-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 C. Z. Cheng, S. Inoue, Y. Ono, H. Tanabe, R. Horiuchi, S. Usami	4 . 巻 印刷中
2 . 論文標題 Plasma Heating and Current Sheet Structure in Anti-Parallel Magnetic Reconnection	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Physics of Plasmas	6.最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	直読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Ahmadi T.、Tanabe H.、Ono Y.	4.巻 61
2.論文標題 Two-dimensional resistive MHD simulation of the optimized plasma formation in the spherical tokamaks	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Nuclear Fusion	6.最初と最後の頁 066001~066001
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/abebce	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1 . 著者名	· · · · · ·
''19	4 . 巻
Ji Hantao、Ono Yasushi	27
2.論文標題	5 . 発行年
Preface to Special Topic: Advances in Magnetic Reconnection Research in Space and Laboratory	2020年
Plasmas, Part IV	2020 <del>1</del>
·	こ 目知し目ができ
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Physics of Plasmas	032103 ~ 032103
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1063/5.0002760	有
**	1
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
ク フンティ C A C I A A V I、 人 I A A フンティ ビ 人 J I PD共	<u>-</u>
1 菜耂々	<b>д</b> #
1 . 著者名	4.巻
H. Tanaka, H. Tanabe, Q. Cao, Y. Ono	16
2.論文標題	5.発行年
Global Ion Heating During ST Merging Driven By High Guide Field Reconnection Plasma and Fusion	2021年
Research	2021 <del>T</del>
	6 見知し見後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Plasma and Fusion Research	2402068
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1585/pfr.16.2402068	有
•	
ナープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
ク フファフ にん C はない 、 入はカーフファフ にんが 四栽	<u>-</u>
1 节44	4 <del>*</del>
1 . 著者名	4.巻
R. Someya, H. Tanaka, Y. Funato, Y. Cai, M. Akimitsu, H. Tanabe, Y. Ono	印刷中
2 . 論文標題	5 . 発行年
	5 . 発行年 2021年
2 .論文標題 Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement	
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement	2021年
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement 3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement	2021年
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement 3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3.雑誌名 Plasma and Fusion Research	2021年 6.最初と最後の頁 印刷中
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 印刷中 査読の有無
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3.雑誌名 Plasma and Fusion Research	2021年 6.最初と最後の頁 印刷中
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 印刷中 査読の有無 有
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  曷載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	2021年 6.最初と最後の頁 印刷中 査読の有無
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2021年 6.最初と最後の頁 印刷中 査読の有無 有
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  曷載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	2021年 6.最初と最後の頁 印刷中 査読の有無 有
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2021年 6.最初と最後の頁 印刷中  査読の有無 有  国際共著
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2021年 6.最初と最後の頁印刷中 - 査読の有無 有 - 国際共著 4.巻
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2021年 6.最初と最後の頁 印刷中  査読の有無 有  国際共著
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ono Y.、Inoue S.、Tanabe H.、Cheng C.Z.、Hara H.、Horiuchi R.	2021年 6.最初と最後の頁印刷中  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 59
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3. 雑誌名 Plasma and Fusion Research  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Ono Y.、Inoue S.、Tanabe H.、Cheng C.Z.、Hara H.、Horiuchi R.	2021年 6.最初と最後の頁 印刷中  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ono Y.、Inoue S.、Tanabe H.、Cheng C.Z.、Hara H.、Horiuchi R.	2021年 6.最初と最後の頁 印刷中  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 59
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ono Y.、Inoue S.、Tanabe H.、Cheng C.Z.、Hara H.、Horiuchi R.	2021年 6.最初と最後の頁印刷中 - 査読の有無 有 - 国際共著 - 4.巻 59
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research	2021年 6.最初と最後の頁 印刷中  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 59  5.発行年 2019年
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research	2021年 6.最初と最後の頁 印刷中  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 59  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ono Y.、Inoue S.、Tanabe H.、Cheng C.Z.、Hara H.、Horiuchi R.  2 . 論文標題 Reconnection heating experiments and simulations for torus plasma merging start-up	2021年 6.最初と最後の頁 印刷中  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 59  5.発行年 2019年
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement 3. 雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Ono Y.、Inoue S.、Tanabe H.、Cheng C.Z.、Hara H.、Horiuchi R.  2. 論文標題 Reconnection heating experiments and simulations for torus plasma merging start-up 3. 雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 印刷中  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 59  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ono Y.、Inoue S.、Tanabe H.、Cheng C.Z.、Hara H.、Horiuchi R.  2 . 論文標題 Reconnection heating experiments and simulations for torus plasma merging start-up  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion	2021年 6.最初と最後の頁印刷中  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 59  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 076025~076025
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ono Y.、Inoue S.、Tanabe H.、Cheng C.Z.、Hara H.、Horiuchi R.  2 . 論文標題 Reconnection heating experiments and simulations for torus plasma merging start-up  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion	2021年 6.最初と最後の頁 印刷中  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 59  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1 . 著者名 Ono Y.、Inoue S.、Tanabe H.、Cheng C.Z.、Hara H.、Horiuchi R.  2 . 論文標題 Reconnection heating experiments and simulations for torus plasma merging start-up  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion	2021年 6.最初と最後の頁印刷中  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 59  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 076025~076025
3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ono Y.、 Inoue S.、 Tanabe H.、 Cheng C.Z.、 Hara H.、 Horiuchi R.  2 . 論文標題 Reconnection heating experiments and simulations for torus plasma merging start-up  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion	2021年 6.最初と最後の頁 印刷中  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 59  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 076025~076025
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ono Y.、Inoue S.、Tanabe H.、Cheng C.Z.、Hara H.、Horiuchi R.  2 . 論文標題 Reconnection heating experiments and simulations for torus plasma merging start-up  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  場載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab14a4	2021年 6.最初と最後の頁印刷中  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 59  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 076025~076025
Development of Glass-Tube-Pair type Doppler Probe Array for 1D Ion-Flow Vector Measurement  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ono Y.、Inoue S.、Tanabe H.、Cheng C.Z.、Hara H.、Horiuchi R.  2 . 論文標題 Reconnection heating experiments and simulations for torus plasma merging start-up  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion	2021年 6.最初と最後の頁 印刷中  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 59  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 076025~076025

1.著者名	. "
	4 . 巻
TANABE Hiroshi, CAO Qinghong, TANAKA Haruaki, AHMADI Tara, AKIMITSU Moe, SAWADA Asuka, INOMOTO	14
Michiaki、 ONO Yasushi	
2.論文標題	5.発行年
Recent Progress in High Resolution 2D Imaging Measurements of Reconnection Heating during	2019年
Merging Plasma Startup in TS-3	-
3 · ##is 2	6.最初と最後の頁
Plasma and Fusion Research	3401110 ~ 3401110
Plasma and Fusion Research	3401110 ~ 3401110
	**************************************
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1585/pfr.14.3401110	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Tanabe H., Cao Q., Tanaka H., Ahmadi T., Akimitsu M., Sawada A., Inomoto M., Ono Y.	59
2 . 論文標題	5.発行年
	2019年
Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U	20194
	C 目知に目然の否
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Nuclear Fusion	086041 ~ 086041
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1088/1741-4326/ab1cdf	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
カーブンティ ころ こはない、 人はカーブンティ ころが 四無	N = 9 0
4 <del>*</del>	4 <del>*</del>
1 . 著者名	4.巻
Inomoto M., Ushiki T., Guo X., Sugawara T., Kondo K., Mihara T., Minami Y., Inai Y., Kaneko	59
H.、Yanai R.、Takahata Y.、Tanabe H.、Ono Y.、Sanpei A.、Kamio S.	
2 . 論文標題	5.発行年
· mar - marie	
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the	2019年
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the	2019年
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak	
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak	
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion	6 . 最初と最後の頁 086040~086040
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3.雑誌名 Nuclear Fusion 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	6 . 最初と最後の頁 086040~086040 査読の有無
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion	6 . 最初と最後の頁 086040~086040
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3.雑誌名 Nuclear Fusion 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1e0f	6 . 最初と最後の頁 086040 ~ 086040 査読の有無 有
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1e0f オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 086040~086040 査読の有無
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3.雑誌名 Nuclear Fusion 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1e0f	6 . 最初と最後の頁 086040 ~ 086040 査読の有無 有
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1e0f  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 086040~086040 査読の有無 有 国際共著
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1e0f  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 086040~086040 査読の有無 有 国際共著
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1e0f  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 086040 ~ 086040 査読の有無 有 国際共著
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1e0f  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 086040~086040 査読の有無 有 国際共著
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1e0f  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Horiuchi Ritoku、Usami Shunsuke、Moritaka Toseo、Ono Yasushi	6 . 最初と最後の頁 086040~086040 査読の有無 有 国際共著
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1e0f  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Horiuchi Ritoku、Usami Shunsuke、Moritaka Toseo、Ono Yasushi  2 . 論文標題	6 . 最初と最後の頁 086040~086040 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 26
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1e0f  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Horiuchi Ritoku、Usami Shunsuke、Moritaka Toseo、Ono Yasushi	6 . 最初と最後の頁 086040~086040 査読の有無 有 国際共著
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1e0f  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Horiuchi Ritoku、Usami Shunsuke、Moritaka Toseo、Ono Yasushi  2 . 論文標題 Particle simulation studies of merging processes of two spherical-tokamak-type plasmoids	6 . 最初と最後の頁 086040~086040 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 26 5 . 発行年 2019年
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1e0f  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Horiuchi Ritoku、Usami Shunsuke、Moritaka Toseo、Ono Yasushi  2 . 論文標題 Particle simulation studies of merging processes of two spherical-tokamak-type plasmoids  3 . 雑誌名	6 . 最初と最後の頁 086040~086040 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 26 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1e0f  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Horiuchi Ritoku、Usami Shunsuke、Moritaka Toseo、Ono Yasushi  2 . 論文標題 Particle simulation studies of merging processes of two spherical-tokamak-type plasmoids	6 . 最初と最後の頁 086040~086040 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 26 5 . 発行年 2019年
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1e0f  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Horiuchi Ritoku、Usami Shunsuke、Moritaka Toseo、Ono Yasushi  2 . 論文標題 Particle simulation studies of merging processes of two spherical-tokamak-type plasmoids  3 . 雑誌名	6 . 最初と最後の頁 086040~086040 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 26 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1e0f  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Horiuchi Ritoku、Usami Shunsuke、Moritaka Toseo、Ono Yasushi  2 . 論文標題 Particle simulation studies of merging processes of two spherical-tokamak-type plasmoids  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas	6 . 最初と最後の頁 086040~086040 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 26 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 092101~092101
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1e0f  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Horiuchi Ritoku、Usami Shunsuke、Moritaka Toseo、Ono Yasushi  2 . 論文標題 Particle simulation studies of merging processes of two spherical-tokamak-type plasmoids  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas	6 . 最初と最後の頁 086040~086040 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 26 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1e0f  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Horiuchi Ritoku、Usami Shunsuke、Moritaka Toseo、Ono Yasushi  2 . 論文標題 Particle simulation studies of merging processes of two spherical-tokamak-type plasmoids  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas	6 . 最初と最後の頁 086040~086040 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 26 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 092101~092101
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1e0f  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Horiuchi Ritoku、Usami Shunsuke、Moritaka Toseo、Ono Yasushi  2 . 論文標題 Particle simulation studies of merging processes of two spherical-tokamak-type plasmoids  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas	6 . 最初と最後の頁 086040~086040 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 26 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 092101~092101
Effects of reconnection downstream conditions on electron parallel acceleration during the merging start-up of a spherical tokamak  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1e0f  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Horiuchi Ritoku、Usami Shunsuke、Moritaka Toseo、Ono Yasushi  2 . 論文標題 Particle simulation studies of merging processes of two spherical-tokamak-type plasmoids  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas	6 . 最初と最後の頁 086040~086040 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 26 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 092101~092101

1.著者名	4 . 巻
Usami Shunsuke, Horiuchi Ritoku, Ohtani Hiroaki, Ono Yasushi, Inomoto Michiaki, Tanabe Hiroshi	26
Usami Granisano, nortaen Artona, Grani mitoan, Gro Tasasin, mometo mitoriari, Tanabe mitosin	20
AAN ITOT	_ = = = = = = = = = = = = = = = = = = =
2.論文標題	5 . 発行年
Dependence of the pickup-like ion effective heating on the poloidal and toroidal magnetic	2019年
fields during magnetic reconnection	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Physics of Plasmas	102103 ~ 102103
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1063/1.5099423	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1	4 <del>*</del>
1 . 著者名	4.巻
Tanaka Haruaki、Ono Yasushi、Tanabe Hiroshi、Cao Qinghong	139
2.論文標題	5 . 発行年
First Global Doppler Tomography Measurement of Ion Heating of Merging Tokamak Plasmas	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
IEEJ Transactions on Fundamentals and Materials	358 ~ 359
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	木芸の左毎
	査読の有無
10.1541/ieejfms.139.358	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
コーノファノ こハ こはらい 、 人はコーノファフ に 入が 四邦	M = 7 0
. #46	
1.著者名	4.巻
USAMI Shunsuke、HORIUCHI Ritoku、OHTANI Hiroaki	14
2.論文標題	5.発行年
······	
Horn-Shaped Structure Attached to the Ring-Shaped Ion Velocity Distribution during Magnetic	2019年
Reconnection with a Guide Field	
Reconnection with a Guide Field	6 . 最初と最後の頁
Reconnection with a Guide Field 3.雑誌名	6.最初と最後の頁 3401137~3401137
Reconnection with a Guide Field	6 . 最初と最後の頁 3401137~3401137
Reconnection with a Guide Field 3.雑誌名	
Reconnection with a Guide Field  3.雑誌名 Plasma and Fusion Research	3401137 ~ 3401137
Reconnection with a Guide Field  3.雑誌名 Plasma and Fusion Research	
Reconnection with a Guide Field  3.雑誌名 Plasma and Fusion Research	3401137~3401137 査読の有無
Reconnection with a Guide Field 3.雑誌名 Plasma and Fusion Research 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	3401137 ~ 3401137
Reconnection with a Guide Field 3.雑誌名 Plasma and Fusion Research 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137	3401137 ~ 3401137 査読の有無 有
Reconnection with a Guide Field 3.雑誌名 Plasma and Fusion Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137 オープンアクセス	3401137~3401137 査読の有無
Reconnection with a Guide Field 3.雑誌名 Plasma and Fusion Research 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137	3401137 ~ 3401137 査読の有無 有
Reconnection with a Guide Field 3.雑誌名 Plasma and Fusion Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137 オープンアクセス	3401137 ~ 3401137 査読の有無 有
Reconnection with a Guide Field  3.雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	3401137 ~ 3401137 査読の有無 有 国際共著
Reconnection with a Guide Field  3.雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	3401137~3401137 査読の有無 有 国際共著 -
Reconnection with a Guide Field  3.雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Pucci F.、Usami S.、Ji H.、Guo X.、Horiuchi R.、Okamura S.、Fox W.、Jara-Almonte J.、Yamada	3401137 ~ 3401137 査読の有無 有 国際共著
Reconnection with a Guide Field 3.雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Pucci F.、Usami S.、Ji H.、Guo X.、Horiuchi R.、Okamura S.、Fox W.、Jara-Almonte J.、Yamada M.、Yoo J.	3401137~3401137 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 25
Reconnection with a Guide Field 3.雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Pucci F.、Usami S.、Ji H.、Guo X.、Horiuchi R.、Okamura S.、Fox W.、Jara-Almonte J.、Yamada	3401137~3401137 査読の有無 有 国際共著 -
Reconnection with a Guide Field 3.雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Pucci F.、Usami S.、Ji H.、Guo X.、Horiuchi R.、Okamura S.、Fox W.、Jara-Almonte J.、Yamada M.、Yoo J. 2.論文標題	3401137~3401137 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 25
Reconnection with a Guide Field  3.雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Pucci F.、Usami S.、Ji H.、Guo X.、Horiuchi R.、Okamura S.、Fox W.、Jara-Almonte J.、Yamada M.、Yoo J.  2.論文標題 Energy transfer and electron energization in collisionless magnetic reconnection for different	3401137~3401137 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 25
Reconnection with a Guide Field  3.雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Pucci F.、Usami S.、Ji H.、Guo X.、Horiuchi R.、Okamura S.、Fox W.、Jara-Almonte J.、Yamada M.、Yoo J.  2.論文標題 Energy transfer and electron energization in collisionless magnetic reconnection for different guide-field intensities	3401137~3401137 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 25 5.発行年 2018年
Reconnection with a Guide Field  3.雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Pucci F.、Usami S.、Ji H.、Guo X.、Horiuchi R.、Okamura S.、Fox W.、Jara-Almonte J.、Yamada M.、Yoo J.  2.論文標題 Energy transfer and electron energization in collisionless magnetic reconnection for different guide-field intensities  3.雑誌名	3401137~3401137 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 25 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
Reconnection with a Guide Field  3.雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Pucci F.、Usami S.、Ji H.、Guo X.、Horiuchi R.、Okamura S.、Fox W.、Jara-Almonte J.、Yamada M.、Yoo J.  2.論文標題 Energy transfer and electron energization in collisionless magnetic reconnection for different guide-field intensities	3401137~3401137 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 25 5.発行年 2018年
Reconnection with a Guide Field  3.雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Pucci F.、Usami S.、Ji H.、Guo X.、Horiuchi R.、Okamura S.、Fox W.、Jara-Almonte J.、Yamada M.、Yoo J.  2.論文標題 Energy transfer and electron energization in collisionless magnetic reconnection for different guide-field intensities  3.雑誌名	3401137~3401137 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 25 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
Reconnection with a Guide Field  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Pucci F.、Usami S.、Ji H.、Guo X.、Horiuchi R.、Okamura S.、Fox W.、Jara-Almonte J.、Yamada M.、Yoo J.  2 . 論文標題 Energy transfer and electron energization in collisionless magnetic reconnection for different guide-field intensities  3 . 雑誌名	3401137~3401137 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 25 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
Reconnection with a Guide Field  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Pucci F.、Usami S.、Ji H.、Guo X.、Horiuchi R.、Okamura S.、Fox W.、Jara-Almonte J.、Yamada M.、Yoo J.  2 . 論文標題 Energy transfer and electron energization in collisionless magnetic reconnection for different guide-field intensities  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas	3401137~3401137 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 25 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 122111~122111
Reconnection with a Guide Field  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Pucci F.、Usami S.、Ji H.、Guo X.、Horiuchi R.、Okamura S.、Fox W.、Jara-Almonte J.、Yamada M.、Yoo J.  2 . 論文標題 Energy transfer and electron energization in collisionless magnetic reconnection for different guide-field intensities  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas	3401137~3401137  査読の有無 有 国際共著 - 4・巻 25 5・発行年 2018年 6・最初と最後の頁 122111~122111
Reconnection with a Guide Field  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Pucci F.、Usami S.、Ji H.、Guo X.、Horiuchi R.、Okamura S.、Fox W.、Jara-Almonte J.、Yamada M.、Yoo J.  2 . 論文標題 Energy transfer and electron energization in collisionless magnetic reconnection for different guide-field intensities  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas	3401137~3401137 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 25 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 122111~122111
Reconnection with a Guide Field  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Pucci F.、Usami S.、Ji H.、Guo X.、Horiuchi R.、Okamura S.、Fox W.、Jara-Almonte J.、Yamada M.、Yoo J.  2 . 論文標題 Energy transfer and electron energization in collisionless magnetic reconnection for different guide-field intensities  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.5050992	3401137~3401137  査読の有無 有 国際共著 - 4・巻 25 5・発行年 2018年 6・最初と最後の頁 122111~122111  査読の有無 有
Reconnection with a Guide Field  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Pucci F.、Usami S.、Ji H.、Guo X.、Horiuchi R.、Okamura S.、Fox W.、Jara-Almonte J.、Yamada M.、Yoo J.  2 . 論文標題 Energy transfer and electron energization in collisionless magnetic reconnection for different guide-field intensities  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas	3401137~3401137  査読の有無 有 国際共著 - 4・巻 25 5・発行年 2018年 6・最初と最後の頁 122111~122111
Reconnection with a Guide Field  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1585/pfr.14.3401137  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Pucci F.、Usami S.、Ji H.、Guo X.、Horiuchi R.、Okamura S.、Fox W.、Jara-Almonte J.、Yamada M.、Yoo J.  2 . 論文標題 Energy transfer and electron energization in collisionless magnetic reconnection for different guide-field intensities  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.5050992	3401137~3401137  査読の有無 有 国際共著 - 4・巻 25 5・発行年 2018年 6・最初と最後の頁 122111~122111  査読の有無 有

1.著者名	4 . 巻
1. 省省石	4 · 살
Oba T.、lida Y.、Shimizu T.	890
2 . 論文標題	5 . 発行年
Average Radial Structures of Gas Convection in the Solar Granulation	2020年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
The Astrophysical Journal	141~141
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3847/1538-4357/ab6a90	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Louise Harra, Sarah Matthews, David Long, Takahiro Hasegawa, Kyoung-Sun Lee, Katharine K. Reeves, Toshifumi Shimizu, Hirohisa Hara & Magnus Woods	4.巻 295
2 . 論文標題 Locating Hot Plasma in Small Flares using Spectroscopic Overlappogram Data from the Hinode EUV Imaging Spectrometer	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Solar Physics	34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s11207-020-01602-6	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著該当する
1 . 著者名 Hinode Review Team、Al-Janabi Khalid、Antolin Patrick、Baker Deborah、Bellot Rubio Luis R、 Bradley Louisa、Brooks David H、Centeno Rebecca、Culhane J Leonard、Del Zanna Giulio、Doschek George A、Fletcher Lyndsay、Hara Hirohisa	4.巻 71
2 . 論文標題	5 . 発行年
Achievements of Hinode in the first eleven years	2019年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Publications of the Astronomical Society of Japan	R1
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/pasj/psz084	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名 Quintero Noda C、lijima H、Katsukawa Y、Shimizu T、Carlsson M、 de la Cruz Rodriguez J、Ruiz Cobo B、Orozco Suarez D、Oba T、Anan T、Kubo M、Kawabata Y、Ichimoto K、Suematsu Y	4.巻 486
2. 論文標題 Chromospheric polarimetry through multiline observations of the 850 nm spectral region III: Chromospheric jets driven by twisted magnetic fields	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Monthly Notices of the Royal Astronomical Society	6.最初と最後の頁 4203~4215
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/mnras/stz1124	有
オーブンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する

1 学老夕	
1 . 著者名	4.巻
Hara Hirohisa	887
2 . 論文標題	5 . 発行年
Nonthermal Motions in a Polar Coronal Hole Measured with Hinode/EIS during an on-Orbit Partial	2019年
Solar Eclipse on 2017 August 21	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
The Astrophysical Journal	122 ~ 122
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3847/1538-4357/ab50bf	有
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Lee Kyoung-Sun、Hara Hirohisa、Watanabe Kyoko、Joshi Anand D.、Brooks David H.、Imada	895
Shinsuke, Prasad Avijeet, Dang Phillip, Shimizu Toshifumi, Savage Sabrina L., Moore Ronald,	
Panesar Navdeep K., Reep Jeffrey W.	
. allocal maradop my moop bottoy ii.	
2	F 整件
2. 論文標題	5.発行年
A Solar Magnetic-fan Flaring Arch Heated by Nonthermal Particles and Hot Plasma from an X-Ray	2020年
Jet Eruption	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
The Astrophysical Journal	42 ~ 42
The Netternyorean addition	12 12
日 おとなみ の DO 1 / デンタ 11 オーマング トーナ かりロフン	本芸の大価
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3847/1538-4357/ab8bce	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
13 JULY CINCION AND JULY CONTRACT	W1/0
4 笠女々	4 <del>*</del>
1 . 著者名	4 . 巻
Cao Qinghong、Cai Yunhan、Akimitsu Moe、Xiang Junguang、Ahmadi Tara、Tanaka Haruaki、Tanabe	15
Hiroshi、Ono Yasushi	
2.論文標題	5 . 発行年
Spontaneous Formation of Plasmoid during Early Magnetic Reconnection Phase of Two Merging	2020年
Tokamaks	2020
	6 早知と早後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	6.最初と最後の頁 1403~1404
3.雑誌名	
3 . 雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering	
3.雑誌名	
3.雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	1403~1404 査読の有無
3.雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering	1403 ~ 1404
3.雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/tee.23208	1403~1404 査読の有無 有
3.雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering  曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/tee.23208 オープンアクセス	1403~1404 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering  引載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/tee.23208	1403~1404 査読の有無 有
3.雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/tee.23208 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	1403~1404 査読の有無 有 国際共著 該当する
3.雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering  引載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/tee.23208 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	1403~1404 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/tee.23208 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	1403~1404 査読の有無 有 国際共著 該当する
3.雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering  引載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/tee.23208 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	1403~1404 査読の有無 有 国際共著 該当する
3.雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/tee.23208 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kawabata Y.、Inoue S.、Shimizu T.	1403~1404 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 895
3.雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering  引載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/tee.23208 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kawabata Y.、Inoue S.、Shimizu T.	1403~1404 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 895
3.雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering  曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/tee.23208 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kawabata Y.、Inoue S.、Shimizu T.  2.論文標題 Extrapolation of Three-dimensional Magnetic Field Structure in Flare-productive Active Regions	1403~1404 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 895
3.雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/tee.23208 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kawabata Y.、Inoue S.、Shimizu T.  2.論文標題 Extrapolation of Three-dimensional Magnetic Field Structure in Flare-productive Active Regions with Different Initial Conditions	1403~1404 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 895 5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/tee.23208 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kawabata Y.、Inoue S.、Shimizu T.  2.論文標題 Extrapolation of Three-dimensional Magnetic Field Structure in Flare-productive Active Regions with Different Initial Conditions	1403~1404 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 895
3.雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering  曷載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/tee.23208 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kawabata Y.、Inoue S.、Shimizu T.  2.論文標題 Extrapolation of Three-dimensional Magnetic Field Structure in Flare-productive Active Regions with Different Initial Conditions 3.雑誌名	1403~1404 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 895 5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/tee.23208 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kawabata Y.、Inoue S.、Shimizu T.  2.論文標題 Extrapolation of Three-dimensional Magnetic Field Structure in Flare-productive Active Regions with Different Initial Conditions	1403~1404  査読の有無 有  国際共著 該当する  4 . 巻 895  5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁
3.雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering  曷載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/tee.23208 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kawabata Y.、Inoue S.、Shimizu T.  2.論文標題 Extrapolation of Three-dimensional Magnetic Field Structure in Flare-productive Active Regions with Different Initial Conditions 3.雑誌名	1403~1404  査読の有無 有  国際共著 該当する  4 . 巻 895  5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁
3.雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/tee.23208  オープンアクセス	1403~1404 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 895 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 105~105
3 . 雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering  司載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/tee.23208  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kawabata Y.、Inoue S.、Shimizu T.  2 . 論文標題 Extrapolation of Three-dimensional Magnetic Field Structure in Flare-productive Active Regions with Different Initial Conditions 3 . 雑誌名 The Astrophysical Journal	1403~1404  査読の有無 有  国際共著 該当する  4 . 巻 895  5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁 105~105
3.雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/tee.23208  オープンアクセス	1403~1404 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 895 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 105~105
3 . 雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/tee.23208  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kawabata Y.、Inoue S.、Shimizu T.  2 . 論文標題 Extrapolation of Three-dimensional Magnetic Field Structure in Flare-productive Active Regions with Different Initial Conditions 3 . 雑誌名 The Astrophysical Journal	1403~1404  査読の有無 有  国際共著 該当する  4 . 巻 895  5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁 105~105
3 . 雑誌名 IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering  曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/tee.23208  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kawabata Y.、Inoue S.、Shimizu T.  2 . 論文標題 Extrapolation of Three-dimensional Magnetic Field Structure in Flare-productive Active Regions with Different Initial Conditions 3 . 雑誌名 The Astrophysical Journal	1403~1404  査読の有無 有  国際共著 該当する  4 . 巻 895  5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁 105~105

1 . 著者名	
	4 . 巻
佐竹真介,菅野龍太郎,本多充,宇佐見俊介	96
2.論文標題	5.発行年
	2020年
シミュレーションのための乱数入門	20204
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
プラズマ・核融合学会誌	290-299
INIDAE J AND	200 200
	<u> </u>
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
オープファクセスとはない、又はオープファクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Y. Ono, M. Akimitsu, S. Kamiya, H. Tanaka, S. Inoue, A. Sawada, A. Borade, Q. Cao, M.	EXP/P3-24
	2,1,1,0,2,1
Inomoto, H. Tanabe, C. Z. Cheng, R. Horiuchi, S. Usami	- 74 (- 4-
2.論文標題	5 . 発行年
Scaling study of reconnection/ merging heating of spherical tokamak plasmas for direct access	2018年
to burning plasmas	
	6 早加レ里悠の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Fusion Energy 2018	1-8
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
コープンプラビスではない、 大阪コープンプラビスが 四条	m = 7 0
4 ***	4 344
1.著者名	4.巻
H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono	EXP/P3-22
H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono	EXP/P3-22
2 . 論文標題	5.発行年
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma	
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak	5.発行年 2018年
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma	5.発行年 2018年
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak 3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak	5.発行年 2018年
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak 3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2018	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2018	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2018 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2018	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有
2. 論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3. 雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有
2. 論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3. 雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有 国際共著 該当する
2. 論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3. 雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有 国際共著 該当する
2 . 論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有 国際共著 該当する
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 S. Usami, R. Horiuchi, H. Ohtani, Y. Ono, M. Inomoto, H. Tanabe	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有 国際共著 該当する
2 . 論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有 国際共著 該当する
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 S. Usami, R. Horiuchi, H. Ohtani, Y. Ono, M. Inomoto, H. Tanabe  2.論文標題	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 TH/P4-9
2 . 論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 S. Usami, R. Horiuchi, H. Ohtani, Y. Ono, M. Inomoto, H. Tanabe	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有 国際共著 該当する
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 S. Usami, R. Horiuchi, H. Ohtani, Y. Ono, M. Inomoto, H. Tanabe  2.論文標題 Particle Simulation Studies on Ion Effective Heating through Merging Plasmas	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 TH/P4-9 5 . 発行年 2018年
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 S. Usami, R. Horiuchi, H. Ohtani, Y. Ono, M. Inomoto, H. Tanabe  2.論文標題 Particle Simulation Studies on Ion Effective Heating through Merging Plasmas  3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 TH/P4-9 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 S. Usami, R. Horiuchi, H. Ohtani, Y. Ono, M. Inomoto, H. Tanabe  2.論文標題 Particle Simulation Studies on Ion Effective Heating through Merging Plasmas	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 TH/P4-9 5 . 発行年 2018年
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 S. Usami, R. Horiuchi, H. Ohtani, Y. Ono, M. Inomoto, H. Tanabe  2.論文標題 Particle Simulation Studies on Ion Effective Heating through Merging Plasmas  3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 TH/P4-9 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 S. Usami, R. Horiuchi, H. Ohtani, Y. Ono, M. Inomoto, H. Tanabe  2.論文標題 Particle Simulation Studies on Ion Effective Heating through Merging Plasmas  3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 TH/P4-9 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
2 . 論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 S. Usami, R. Horiuchi, H. Ohtani, Y. Ono, M. Inomoto, H. Tanabe  2 . 論文標題 Particle Simulation Studies on Ion Effective Heating through Merging Plasmas  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2018	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 TH/P4-9 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 S. Usami, R. Horiuchi, H. Ohtani, Y. Ono, M. Inomoto, H. Tanabe  2.論文標題 Particle Simulation Studies on Ion Effective Heating through Merging Plasmas  3.雑誌名 Fusion Energy 2018	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 TH/P4-9 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 S. Usami, R. Horiuchi, H. Ohtani, Y. Ono, M. Inomoto, H. Tanabe  2.論文標題 Particle Simulation Studies on Ion Effective Heating through Merging Plasmas  3.雑誌名 Fusion Energy 2018	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 TH/P4-9 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 S. Usami, R. Horiuchi, H. Ohtani, Y. Ono, M. Inomoto, H. Tanabe  2.論文標題 Particle Simulation Studies on Ion Effective Heating through Merging Plasmas  3.雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 TH/P4-9 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  1.著者名 S. Usami, R. Horiuchi, H. Ohtani, Y. Ono, M. Inomoto, H. Tanabe  2.論文標題 Particle Simulation Studies on Ion Effective Heating through Merging Plasmas  3.雑誌名 Fusion Energy 2018	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 TH/P4-9 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8
2.論文標題 Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 S. Usami, R. Horiuchi, H. Ohtani, Y. Ono, M. Inomoto, H. Tanabe  2.論文標題 Particle Simulation Studies on Ion Effective Heating through Merging Plasmas  3.雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 TH/P4-9 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-8

1 . 著者名 USAMI Shunsuke、HORIUCHI Ritoku、OHTANI Hiroaki、ONO Yasushi、TANABE Hiroshi	4.巻 13
2.論文標題 Effective Proton Heating through Collisionless Driven Reconnection in the Presence of Guide Field	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Plasma and Fusion Research	6.最初と最後の頁 3401025~3401025
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1585/pfr.13.3401025	査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 YAMAZAKI Hibiki、FURUI Hirokazu、YAMASAKI Kotaro、USHIKI Tomohiko、EJIRI Akira、INOMOTO Michiaki、TAKASE Yuichi、ONO Yasushi、TSUJII Naoto、UTST group、TST-2 group	4.巻 13
2. 論文標題 Measurement of the Local Current Density Inside a Current Sheet Using a Rogowski Coil Array on UTST Merging Plasmas	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Plasma and Fusion Research	6.最初と最後の頁 1202093~1202093
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1585/pfr.13.1202093	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 NISHIDA Kento、GUO Xuehan、HORIUCHI Ritoku、ONO Yasushi	4.巻 13
2.論文標題 Particle-In-Cell Simulation of Field-Reversed Configuration with Adaptive Particle Management	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Plasma and Fusion Research	6.最初と最後の頁 3401060~3401060
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1585/pfr.13.3401060	査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1 . 著者名 Tanabe H.、Yamada T.、Watanabe T.、Gi K.、Inomoto M.、Imazawa R.、Gryaznevich M.、Michael C.、Crowley B.、Conway N. J.、Scannell R.、Harrison J.、Fitzgerald I.、Meakins A.、Hawkes N.、McClements K. G.、O'Gorman T.、Cheng C. Z.、Ono Y.、MAST Team	4 . 巻 24
2. 論文標題 Recent progress of magnetic reconnection research in the MAST spherical tokamak	5 . 発行年 2017年
3.雑誌名 Physics of Plasmas	6.最初と最後の頁 056108~056108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4977922	査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

Kaninou Yasuhira, Guo Xuehan, Inomoto Michiaki, Ono Yasushi, Horiuchi Ritoku   24   2. 論文を題   14   15   15   15   17   17   17   17   17		
2. 論文極麗 Numerical study of Hall effects on counter-helicity spheromak merging by two-dimensional Hall-MPO simulations	1 . 著者名 Kaminou Yasuhiro, Guo Xuehan, Inomoto Michiaki, Ono Yasushi, Horiuchi Ritoku	4.巻 24
Numerical study of Hall effects on counter-helicity spheronak merging by two-dinensional Hall MIND simulations   1 回答		
Physics of Plasmas	Numerical study of Hall effects on counter-helicity spheromak merging by two-dimensional Hall-	
1. 1.1063/1.4973785 有		
1. 1.1063/1.4973785 有		
A - ブンアクセス   国際共著   設計する   国際共著   設計する   日際共著   設計する   日際共著   設計する   日際共著   設計する   日原共著   設計する   日原共著   設計する   日原共著   設計する   日原共著   日原共和   日原共著   日原共和   日原和   日原和   日原和   日原和   日原和   日原和   日原和   日和   日	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	10.1063/1.4978785	有
1. 著名名   Tanabe H., Yanada T., Watanabe T., Gi K., Inonoto M., Imazawa R., Gryaznevich M., Scannel I R., Conway N.J., Witchael C., Crowley B., Fitzgerald I., Meakins A., Hawkes N., McClements K.G., Harrison J., O'Gorman T., Cheng C.Z., Cho Y., The MAST Team   5 . 飛行年		
Tanabe H., Yanada T., Watanabe T., Gi K., Innonto M., Inazawa R., Gryaznevich M., Scannell R., Conway N.J., Wichael C., Crowley B., Fitzperald I., Meakins A., Hawkes N., McClements K.G., Harrison J., 0 'Gorman T., Cheng C.Z., Ono Y., The MAST Team 2017年 2 : 論文標題 2 : 論文標題 2 : 論文標題 2 : 論文標題 2 : 為文標題 2 : 為文標理 2 : 為文標理 2 : 為文標題 2 : 為文標題 2 : 為文標理 2 : 為文標題 2 : 為文標題 2 : 為文標題 2 : 為文標理 2 : 為文標題 2 : 為文標題 2 : 為文標題 2 : 為文標理 2 : 為文제	カープンテアと人にはない、人はカープンテアと人が四無	以当りる
Investigation of merging/reconnection heating during solenoid-free startup of plasmas in the MAST Spherical Tokamak	Tanabe H., Yamada T., Watanabe T., Gi K., Inomoto M., Imazawa R., Gryaznevich M., Scannell R., Conway N.J., Michael C., Crowley B., Fitzgerald I., Meakins A., Hawkes N., McClements K.G.,	_
MAST Spherical Tokanak  3 ・ 雑誌名 Muclear Fusion  6 ・最初と最後の頁 056037 - 056037  10.1088/1741-4326/aa6608  7 - ブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1 ・ 著名名 Kirk A、 Adamek J.、 Akers R.J.、 Allan S.、 Inomoto M.、 Imazawa R.、 Ono Y.、 Tanabe H.、 the MAST Team and the EUMOtusion MST1 Team and the EUMOtusion MST1 Team  2 ・ 論文構題 Nuclear Fusion  6 ・最初と最後の頁 10.2007 - 102007  相義論文のD01(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/aa65e0  7 - ブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  複当する  1 ・著名名 Guo X.、 Horiuchi R.、 Cheng C. Z.、 Kaminou Y.、 Ono Y. 2 ・ 論文構題 Energy conversion mechanism for electron perpendicular energy in high reconnection 3 ・雑誌名 Physics of Plasmas  6 ・最初と最後の頁 032901 - 032901  第 の32901 - 032901  1 ・	2 . 論文標題	5 . 発行年
Nuclear Fusion	MAST Spherical Tokamak	
1. 著者名		
1. 著者名	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   該当する   4 . 巻   57	10.1088/1741-4326/aa6608	
Kirk A., Adamek J., Akers R.J., Allan S., Inomoto M., Imazawa R., Ono Y., Tanabe H., the MAST Team and the EUROfusion MST1 Team       57         2 . 論文標題 Overview of recent physics results from MAST       5 . 発行年 2017年         3 . 雜誌名 Nuclear Fusion       6 . 最初と最後の頁 102007~102007         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/aa65e0       査読の有無 有         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 該当する         1 . 著者名 Guo X., Horiuchi R., Cheng C. Z., Kaminou Y., Ono Y.       4 . 巻 24         2 . 論文標題 Energy conversion mechanism for electron perpendicular energy in high reconnection       guide-field 2017年         3 . 雜誌名 Physics of Plasmas       6 . 最初と最後の頁 032901~032901         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4977908       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著		
Kirk A., Adamek J., Akers R.J., Allan S., Inomoto M., Imazawa R., Ono Y., Tanabe H., the MAST Team and the EUROfusion MST1 Team       57         2 . 論文標題 Overview of recent physics results from MAST       5 . 発行年 2017年         3 . 雜誌名 Nuclear Fusion       6 . 最初と最後の頁 102007~102007         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/aa65e0       査読の有無 有         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 該当する         1 . 著者名 Guo X., Horiuchi R., Cheng C. Z., Kaminou Y., Ono Y.       4 . 巻 24         2 . 論文標題 Energy conversion mechanism for electron perpendicular energy in high reconnection       guide-field 2017年         3 . 雜誌名 Physics of Plasmas       6 . 最初と最後の頁 032901~032901         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4977908       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	1	<b>A</b>
Overview of recent physics results from MAST       2017年         3 . 雑誌名 Nuclear Fusion       6 . 最初と最後の頁 102007~102007         掲載論文の00I (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/aa65e0       査読の有無 有         オープンアクセス	Kirk A., Adamek J., Akers R.J., Allan S., Inomoto M., Imazawa R., Ono Y., Tanabe H., the MAST Team and the EUROfusion MST1 Team	57
Nuclear Fusion		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/aa65e0	3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
10.1088/1741-4326/aa65e0 有 国際共著	Nuclear Fusion	102007 ~ 102007
オープンアクセス 国際共著 該当する  1 . 著者名 Guo X.、Horiuchi R.、Cheng C. Z.、Kaminou Y.、Ono Y.  2 . 論文標題 Energy conversion mechanism for electron perpendicular energy in high reconnection  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas  6 . 最初と最後の頁 032901 ~ 032901  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1063/1.4977908  有  オープンアクセス  国際共著	掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する  1 . 著者名 Guo X.、Horiuchi R.、Cheng C. Z.、Kaminou Y.、Ono Y.  2 . 論文標題 Energy conversion mechanism for electron perpendicular energy in high reconnection  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas  「超動論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4977908  本ープンアクセス  国際共著	10.1088/1741-4326/aa65e0	有
1 . 著者名 Guo X.、Horiuchi R.、Cheng C. Z.、Kaminou Y.、Ono Y.  2 . 論文標題 Energy conversion mechanism for electron perpendicular energy in high reconnection 3 . 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4977908  本ープンアクセス  4 . 巻 24  5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 032901~032901		
Guo X.、Horiuchi R.、Cheng C. Z.、Kaminou Y.、Ono Y.242.論文標題 Energy conversion mechanism for electron perpendicular energy in high reconnectionguide-field3.雑誌名 Physics of Plasmas6.最初と最後の頁 032901~032901掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4977908査読の有無 有オープンアクセス国際共著	<b>オーノンアクセスではない、又はオーノンアクセスが</b> 困難	該当りる
2.論文標題 Energy conversion mechanism for electron perpendicular energy in high reconnectionguide-field5.発行年 2017年3.雑誌名 Physics of Plasmas6.最初と最後の頁 032901~032901掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4977908査読の有無 有オープンアクセス国際共著	1.著者名	4 . 巻
Energy conversion mechanism for electron perpendicular energy in high reconnection  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4977908  有  オープンアクセス  Energy conversion mechanism for electron perpendicular energy in high guide-field  2017年 6 . 最初と最後の頁 032901~032901  査読の有無 有	Guo X.、Horiuchi R.、Cheng C. Z.、Kaminou Y.、Ono Y.	24
reconnection6.最初と最後の頁 032901~0329013.雑誌名 Physics of Plasmas6.最初と最後の頁 032901~032901掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4977908査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
Physics of Plasmas       032901 ~ 032901         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4977908       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	reconnection	
10.1063/1.4977908有オープンアクセス国際共著		
10.1063/1.4977908有オープンアクセス国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
クーフファフにかくiskys 人はクーフファフにカルippi要性 し isが書する	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著名名  (shiki Tronchiko, Ironoto Michiaki, Itagaki Masafumi  2. 論文機器  **Become fruction of plasma shape and eddy current profile based on modified cauchy condition  5. 発行年  2017年  2017年  2017年  3. 参数名  Fusion Engineering and Design  35 - 41    ###		
122   123   124   125   12	1.著者名	4 . 巻
2 . 熱文権地 Reconstruction of plasms shape and eddy current profile based on modified cauchy condition 2017年 2017年 2017年 2017年 2017年 2017年 2017年 2017年 3. 議話名 1. 記述の Engineering and Design		122
8econstruction of plasma shape and oddy current profile based on modified cauchy condition 2017年 3 . 納熱名 5 . 最初名 5 . 最初名 5 . 最初名 5 . 日本のと関係の目 155-41 8 . 最初名 6 . 最初と関係の目 35-41 8 . 最初名 7 . 10.1016/j. fusengdes 2017.09.012 8 . 10.1016	control to mornio to miletta att. Tragati macarami	
8econstruction of plasma shape and oddy current profile based on modified cauchy condition 2017年	- AA \	_ 7/ /- /-
Surface method in merging spherical tokanak   1	2.論文標題	5 . 発行年
Surface method in merging spherical tokanak   1	Reconstruction of plasma shape and eddy current profile based on modified cauchy condition	2017年
6 . 最初と最後の頁 35-41		•
R載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子)   直読の有無   1		6 早知し早後の百
接続論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   型読の有無 有	*****	
1. 著者名 (MDNO Kyohei, NDMOTO Michiaki, GUO Xuehan, USHIKI Tomohiko, SUGANARA Takumichi, MIHARA 1. 著者名 (MDNO Kyohei, NDMOTO Michiaki, GUO Xuehan, USHIKI Tomohiko, SUGANARA Takumichi, MIHARA 1. 著者名 (MDNO Kyohei, NDMOTO Michiaki, GUO Xuehan, USHIKI Tomohiko, SUGANARA Takumichi, MIHARA 1. 著者名 (MDNO Kyohei, NDMOTO Michiaki, GUO Xuehan, USHIKI Tomohiko, SUGANARA Takumichi, MIHARA 1. 著名名 (MDNO Kyohei, NDMOTO Michiaki, GUO Xuehan, USHIKI Tomohiko, SUGANARA Takumichi, MIHARA 1. 著名名 (MDNO Kyohei, NDMOTO Michiaki, GUO Xuehan, USHIKI Tomohiko, SUGANARA Takumichi, MIHARA 1. 著者名 (MDNO MIHARA 1. 新社と (MDNO MIHARA 1. 新社と (MDNO MIHARA 1. 新社を (MDNO MIHARA 1. 新社を (MDNO MIHARA 1. 新社を (MDNO MIHARA 1. 新生を (MDNO MIHARA 1. TERMICA 1. 新生を (MDNO MIHARA 1. TERMICA 1. TERMIC	Fusion Engineering and Design	35 ~ 41
1. 著者名 (MDNO Kyohei, NOMOTO Michiaki, SUO Xuehan, LSHIKI Tonohiko, SUGAWARA Takumichi, WIHARA 1. 著者名 (MDNO Kyohei, NOMOTO Michiaki, SUO Xuehan, LSHIKI Tonohiko, SUGAWARA Takumichi, WIHARA 1. 著者名 (MDNO Kyohei, NOMOTO Michiaki, SUO Xuehan, LSHIKI Tonohiko, SUGAWARA Takumichi, WIHARA 1. 著者名 (MDNO Kyohei, NOMOTO Michiaki, SUO Xuehan, LSHIKI Tonohiko, SUGAWARA Takumichi, WIHARA 1. 著名名 (MDNO Kyohei, NOMOTO Michiaki, SUO Xuehan, LSHIKI Tonohiko, SUGAWARA Takumichi, WIHARA 1. 著名名 (MDNO Kyohei, NOMOTO Michiaki, SUO Xuehan, LSHIKI Tonohiko, SUGAWARA Takumichi, WIHARA 1. 著者名 (MDNO Kyohei, NOMOTO Michiaki, SUO Xuehan, LSHIKI Tonohiko, SUGAWARA Takumichi, WIHARA 1. 著者名 (MDNO MICHIARA TAKUMICHIARA) 1. 著者名 (MDNO MICHIARA TAKUMICHIARA TA		
1. 著者名 (MDNO Kyohei, NOMOTO Michiaki, SUO Xuehan, LSHIKI Tonohiko, SUGAWARA Takumichi, WIHARA 1. 著者名 (MDNO Kyohei, NOMOTO Michiaki, SUO Xuehan, LSHIKI Tonohiko, SUGAWARA Takumichi, WIHARA 1. 著者名 (MDNO Kyohei, NOMOTO Michiaki, SUO Xuehan, LSHIKI Tonohiko, SUGAWARA Takumichi, WIHARA 1. 著者名 (MDNO Kyohei, NOMOTO Michiaki, SUO Xuehan, LSHIKI Tonohiko, SUGAWARA Takumichi, WIHARA 1. 著名名 (MDNO Kyohei, NOMOTO Michiaki, SUO Xuehan, LSHIKI Tonohiko, SUGAWARA Takumichi, WIHARA 1. 著名名 (MDNO Kyohei, NOMOTO Michiaki, SUO Xuehan, LSHIKI Tonohiko, SUGAWARA Takumichi, WIHARA 1. 著者名 (MDNO Kyohei, NOMOTO Michiaki, SUO Xuehan, LSHIKI Tonohiko, SUGAWARA Takumichi, WIHARA 1. 著者名 (MDNO MICHIARA TAKUMICHIARA) 1. 著者名 (MDNO MICHIARA TAKUMICHIARA TA		
1. 著者名 (MDNO Kyohei, NOMOTO Michiaki, SUO Xuehan, LSHIKI Tonohiko, SUGAWARA Takumichi, WIHARA 1. 著者名 (MDNO Kyohei, NOMOTO Michiaki, SUO Xuehan, LSHIKI Tonohiko, SUGAWARA Takumichi, WIHARA 1. 著者名 (MDNO Kyohei, NOMOTO Michiaki, SUO Xuehan, LSHIKI Tonohiko, SUGAWARA Takumichi, WIHARA 1. 著者名 (MDNO Kyohei, NOMOTO Michiaki, SUO Xuehan, LSHIKI Tonohiko, SUGAWARA Takumichi, WIHARA 1. 著名名 (MDNO Kyohei, NOMOTO Michiaki, SUO Xuehan, LSHIKI Tonohiko, SUGAWARA Takumichi, WIHARA 1. 著名名 (MDNO Kyohei, NOMOTO Michiaki, SUO Xuehan, LSHIKI Tonohiko, SUGAWARA Takumichi, WIHARA 1. 著者名 (MDNO Kyohei, NOMOTO Michiaki, SUO Xuehan, LSHIKI Tonohiko, SUGAWARA Takumichi, WIHARA 1. 著者名 (MDNO MICHIARA TAKUMICHIARA) 1. 著者名 (MDNO MICHIARA TAKUMICHIARA TA	掲載絵文のDOL(デジタルオブジェクト辨別ス)	本芸の右無
オープンアクセス  1 ・著名名  KONDO Kyohei、INMOTO Michiaki、GUO Xuehan、USHIKI Temehiko、SUGAWARA Takumichi、MIHARA Takumi、KAMIO Shuji、TANABE Hiroshi、CNO Yasushi 2 ・	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
1 著名名   KONDO Kyohei、INCMOTO Michiaki、GUO Xushan、USHIKI Tomohiko、SUGAMARA Takumichi、MIHARA   1.2   加水機能	10.1016/j.fusengdes.2017.09.012	有
1 著名名   KONDO Kyohei、INCMOTO Michiaki、GUO Xushan、USHIKI Tomohiko、SUGAMARA Takumichi、MIHARA   1.2   加水機能		
1 著名名   KONDO Kyohei、INCMOTO Michiaki、GUO Xushan、USHIKI Tomohiko、SUGAMARA Takumichi、MIHARA   1.2   加水機能	オープンアクセス	国際共著
1 ※著名名 (NDMO Nyohei、 NDMOTO Michiaki、 GUO Xuehan、 USHIKI Tomohiko、SUGAWARA Takumichi、MIHARA Takumichi、MIHARA Takumichi、MMIO Shuji、TANASE Hiroshi、 CNO Yasushi (2 ) 施文理館 (2 )	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
XONDO Kyohei, INDIOTO Michiaki, GUO Xueshan, USHIKI Tomohiko, SUGAWARA Takumichi, MIHARA Takumi, KANIO Shuji, TANABE Hiroshi, ONO Yasushi Separated Double-Current Layers in a High-Guide-Field Reconnection Experiment	オープンテクで入てはない、又はオープンテクで入が凶無	-
XONDO Kyohei, INDIOTO Michiaki, GUO Xueshan, USHIKI Tomohiko, SUGAWARA Takumichi, MIHARA Takumi, KANIO Shuji, TANABE Hiroshi, ONO Yasushi Separated Double-Current Layers in a High-Guide-Field Reconnection Experiment		
XONDO Kyohei, INDIOTO Michiaki, GUO Xueshan, USHIKI Tomohiko, SUGAWARA Takumichi, MIHARA Takumi, KANIO Shuji, TANABE Hiroshi, ONO Yasushi Separated Double-Current Layers in a High-Guide-Field Reconnection Experiment	1.著者名	4 . 巻
Takuni, KMMO Shuji, TANABE Hiroshi, ONO Yasushi 2. 論文標題		12
2 . 論文標題		12
Separated Double-Current Layers in a High-Guide-Field Reconnection Experiment   2017年   2017年   3 . 雑誌名		
3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  6 . 最初と最後の頁 1202033 - 1202033  1	2 . 論文標題	5 . 発行年
3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  6 . 最初と最後の頁 1202033 - 1202033  1	Separated Double-Current Layers in a High-Guide-Field Reconnection Experiment	
Plasma and Fusion Research   1202033 ~ 1202033   120	Transfer Team 2011 St. Layers and Tright States From Note that Experiment	
Plasma and Fusion Research   1202033 ~ 1202033   120	2 1844-67	C 目初1.目後で五
掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) 1. 著者名 Takase Y., Ejiri A., Fujita T., Fukunoto N., Fukuyama A., Hanada K., Idei H., Nagata M., Cono Y., Tanaka H., Ulohida M., Horiuchi R., Kamada Y., Kasahara H., Masuzaki S., Nagayama Y., Oishi T., Saito K., Takeiri Y., Tsuji-lio S.  2. 論文標題 Overview of spherical tokamak research in Japan  3. 雑誌名 Nuclear Fusion  4. 巻 3. 雑誌名 Nuclear Fusion  5. 発行年 2017年  2. 論文序程 オープンアクセス  国際共著  第 4 7		6. 最例と最後の貝
10.1585/ptr.12.1202033   有	Plasma and Fusion Research	1202033 ~ 1202033
10.1585/ptr.12.1202033   有		
10.1585/ptr.12.1202033   有		
10.1585/ptr.12.1202033   有		<b>+</b> +-+
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		<b></b>
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   該当する   4 . 巻   57   7   7   7   7   7   7   7   7	10.1585/pfr.12.1202033	有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   該当する   4 . 巻   57   7   7   7   7   7   7   7   7	'	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   該当する   4 . 巻   57   7   7   7   7   7   7   7   7	オープンマクヤフ	国際井茎
1 . 著書名	* * * * * = * *	
Takase Y., Ejiri A., Fujita T., Fukumoto N., Fukuyama A., Hanada K., Idei H., Nagata M., Ono Y., Tanaka H., Uchida M., Horiuchi R., Kamada Y., Kasahara H., Masuzaki S., Nagayama Y., Oishi T., Saito K., Takeiri Y., Tsuji-lio S.  2 . 論文標題 Overview of spherical tokamak research in Japan  3 . 雜誌名 Nuclear Fusion  6 . 最初と最後の頁 102005~102005  18載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/aa62c1  7 ープンアクセス  1 . 著名名 Oba T., Iida Y., Shimizu T.  2 . 論文標題	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
Takase Y., Ejiri A., Fujita T., Fukumoto N., Fukuyama A., Hanada K., Idei H., Nagata M., Ono Y., Tanaka H., Uchida M., Horiuchi R., Kamada Y., Kasahara H., Masuzaki S., Nagayama Y., Oishi T., Saito K., Takeiri Y., Tsuji-lio S.  2 . 論文標題 Overview of spherical tokamak research in Japan  3 . 雜誌名 Nuclear Fusion  6 . 最初と最後の頁 102005~102005  18載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/aa62c1  7 ープンアクセス  1 . 著名名 Oba T., Iida Y., Shimizu T.  2 . 論文標題		
Takase Y., Ejiri A., Fujita T., Fukumoto N., Fukuyama A., Hanada K., Idei H., Nagata M., Ono Y., Tanaka H., Uchida M., Horiuchi R., Kamada Y., Kasahara H., Masuzaki S., Nagayama Y., Oishi T., Saito K., Takeiri Y., Tsuji-lio S.  2 . 論文標題 Overview of spherical tokamak research in Japan  3 . 雜誌名 Nuclear Fusion  6 . 最初と最後の頁 102005~102005  18載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/aa62c1  7 ープンアクセス  1 . 著名名 Oba T., Iida Y., Shimizu T.  2 . 論文標題	1 莱老夕	/1
Y.、Tanaka H.、Uchida M.、Horiuchi R.、Kamada Y.、Kasahara H.、Masuzaki S.、Nagayama Y.、Oishi T.、Saito K.、Takeiri Y.、Tsuji-lio S.       5.発行年 2017年         2.論文標題 Overview of spherical tokamak research in Japan       5.発行年 2017年         3.雑誌名 Nuclear Fusion       6.最初と最後の頁 102005~102005         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/aa62c1       宣読の有無 有         オープンアクセス       国際共著 該当する         1.著者名 Oba T.、Iida Y.、Shimizu T.       4.巻 836         2.論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular Lanes withHinode/SOT       5.発行年 2017年         3.雑誌名 The Astrophysical Journal       6.最初と最後の頁 40~40         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/836/1/40       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著		_
T.、Saito K.、Takeiri Y.、Tsuji-lio S.       5 . 発行年 2017年         2 . 論文標題 Overview of spherical tokamak research in Japan       6 . 最初と最後の頁 102005~102005         3 . 雑誌名 Nuclear Fusion       6 . 最初と最後の頁 102005~102005         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/aa62c1       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著 該当する         1 . 著者名 Oba T.、Lida Y.、Shimizu T.       4 . 巻 836         2 . 論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular Lanes withHinode/SOT       5 . 発行年 2017年         3 . 雑誌名 The Astrophysical Journal       6 . 最初と最後の頁 40~40         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/836/1/40       査読の有無 10.3847/1538-4357/836/1/40         オープンアクセス       国際共著	Takase Y., Ejiri A., Fujita I., Fukumoto N., Fukuyama A., Hanada K., Idei H., Nagata M., Ono	5/
2 . 論文標題 Overview of spherical tokamak research in Japan  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  指載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/aa62c1  オープンアクセス  1 . 著者名 Oba T.、 lida Y.、 Shimizu T.  2 . 論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular Lanes withHinode/SOT  3 . 雑誌名 The Astrophysical Journal  指載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/836/1/40  2 . 論文標題		
2 . 論文標題 Overview of spherical tokamak research in Japan  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  指載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/aa62c1  オープンアクセス  1 . 著者名 Oba T.、 lida Y.、 Shimizu T.  2 . 論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular Lanes withHinode/SOT  3 . 雑誌名 The Astrophysical Journal  指載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/836/1/40  2 . 論文標題	T.、Saito K.、Takeiri Y.、Tsuji-lio S.	
Overview of spherical tokamak research in Japan       2017年         3 . 雑誌名 Nuclear Fusion       6 . 最初と最後の頁 102005~102005         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/aa62c1       査読の有無 有         オープンアクセス		
Overview of spherical tokamak research in Japan       2017年         3 . 雑誌名 Nuclear Fusion       6 . 最初と最後の頁 102005~102005         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/aa62c1       査読の有無 有         オープンアクセス	2 绘文描明	5
3 . 雑誌名 Nuclear Fusion 6 . 最初と最後の頁 102005~102005 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 .1088/1741-4326/aa62c1		
Nuclear Fusion 102005~102005 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/aa62c1 有 有	Overview of spherical tokamak research in Japan	2017年
Nuclear Fusion 102005~102005 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/aa62c1 有 有		
Nuclear Fusion 102005~102005 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/aa62c1 有 有	3、雑誌夕	6 最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/aa62c1		
10.1088/1741-4326/aa62c1 有 国際共著	Nuclear Fusion	102005 ~ 102005
10.1088/1741-4326/aa62c1 有 国際共著		
10.1088/1741-4326/aa62c1 有 国際共著		
10.1088/1741-4326/aa62c1 有 国際共著	掲載論文のNOI(デジタルオブジェクト識別子)	杏誌の有無
オープンアクセス    国際共著   該当する   1 . 著者名   0ba T.、Lida Y.、Shimizu T.   836		<u></u>
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する  1 . 著者名 Oba T.、 lida Y.、 Shimizu T. 836  2 . 論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular Lanes withHinode/SOT  3 . 雑誌名 The Astrophysical Journal 6 . 最初と最後の頁 40~40  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/836/1/40 有  オープンアクセス 国際共著	10.1000/1/41-4320/aa62C1	1月
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する  1 . 著者名 Oba T.、 lida Y.、 Shimizu T. 836  2 . 論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular Lanes withHinode/SOT  3 . 雑誌名 The Astrophysical Journal 6 . 最初と最後の頁 40~40  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/836/1/40 有  オープンアクセス 国際共著		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する  1 . 著者名 Oba T.、 lida Y.、 Shimizu T. 836  2 . 論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular Lanes withHinode/SOT  3 . 雑誌名 The Astrophysical Journal 6 . 最初と最後の頁 40~40  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/836/1/40 有  オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名 Oba T.、 lida Y.、 Shimizu T.  2 . 論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular 2017年 Lanes withHinode/SOT  3 . 雑誌名 The Astrophysical Journal  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/836/1/40 有  オープンアクセス  国際共著		
Oba T.、lida Y.、Shimizu T.8362.論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular Lanes withHinode/SOT5.発行年 2017年3.雑誌名 The Astrophysical Journal6.最初と最後の頁 40~40掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/836/1/40査読の有無 有オープンアクセス国際共著	コーノファラ にからない 人には フファラ に入り 四衆	₩X — 1 2 Ø
Oba T.、lida Y.、Shimizu T.8362.論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular Lanes withHinode/SOT5.発行年 2017年3.雑誌名 The Astrophysical Journal6.最初と最後の頁 40~40掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/836/1/40査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
Oba T.、lida Y.、Shimizu T.8362.論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular Lanes withHinode/SOT5.発行年 2017年3.雑誌名 The Astrophysical Journal6.最初と最後の頁 40~40掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/836/1/40査読の有無 有オープンアクセス国際共著	1 . 著者名	4.巻
2 . 論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular 2017年  3 . 雑誌名 The Astrophysical Journal  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/836/1/40  有  国際共著		926
Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular 2017年  3.雑誌名 The Astrophysical Journal  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/836/1/40  有  国際共著	Oba T., lida Y., Shimizu T.	030
Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular 2017年  3.雑誌名 The Astrophysical Journal  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/836/1/40  有  国際共著	Oba T.、lida Y.、Shimizu T.	630
Lanes withHinode/SOT       6.最初と最後の頁         3.雑誌名       6.最初と最後の頁         The Astrophysical Journal       40~40         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.3847/1538-4357/836/1/40       有         オープンアクセス       国際共著		
Lanes withHinode/SOT       6.最初と最後の頁         3.雑誌名       6.最初と最後の頁         The Astrophysical Journal       40~40         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.3847/1538-4357/836/1/40       有         オープンアクセス       国際共著	2 . 論文標題	5 . 発行年
3.雑誌名 The Astrophysical Journal       6.最初と最後の頁 40~40         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/836/1/40       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	2 . 論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular	5 . 発行年
The Astrophysical Journal 40~40	2 . 論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular	5 . 発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.3847/1538-4357/836/1/40 有	2 . 論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular Lanes withHinode/SOT	5 . 発行年 2017年
10.3847/1538-4357/836/1/40有オープンアクセス国際共著	2.論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular Lanes withHinode/SOT 3.雑誌名	5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
10.3847/1538-4357/836/1/40有オープンアクセス国際共著	2.論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular Lanes withHinode/SOT 3.雑誌名	5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
10.3847/1538-4357/836/1/40有オープンアクセス国際共著	2.論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular Lanes withHinode/SOT 3.雑誌名	5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
10.3847/1538-4357/836/1/40有オープンアクセス国際共著	2.論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular Lanes withHinode/SOT 3.雑誌名	5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	2.論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular Lanes withHinode/SOT  3.雑誌名 The Astrophysical Journal	5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 40~40
	2. 論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular Lanes withHinode/SOT  3. 雑誌名 The Astrophysical Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 40~40 査読の有無
	2. 論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular Lanes withHinode/SOT  3. 雑誌名 The Astrophysical Journal 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 40~40 査読の有無
	2.論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular Lanes withHinode/SOT  3.雑誌名 The Astrophysical Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 40~40 査読の有無
<b>⊿ーノノアソ ヒ人 ℂはない、 メは⊿ーノノアソ ヒ人か函</b> 舞	2.論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular Lanes withHinode/SOT  3.雑誌名 The Astrophysical Journal  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/836/1/40	5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 40~40 査読の有無 有
-	2. 論文標題 Height-dependent Velocity Structure of Photospheric Convection in Granules and Intergranular Lanes withHinode/SOT  3. 雑誌名 The Astrophysical Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/836/1/40 オープンアクセス	5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 40~40 査読の有無 有

	1
1 . 著者名	4 . 巻
Kawabata Y., Inoue S., Shimizu T.	842
2	F 琴/二左
2.論文標題	5.発行年
Non-potential Field Formation in the X-shaped Quadrupole Magnetic Field Configuration	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
The Astrophysical Journal	106 ~ 106
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3847/1538-4357/aa71a0	有
10.00 17.1000 1007/447140	T T
<b>オ − プンアクセス</b>	国際共著
· · · · · <del>-</del> · ·	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Harra Louise K., Hara Hirohisa, Doschek George A., Matthews Sarah, Warren Harry, Culhane J.	842
	J 12
Leonard, Woods Magnus M.	
2. 論文標題	5.発行年
Measuring Velocities in the Early Stage of an Eruption: Using "Overlappogram" Data from	2017年
Hinode EIS	2011
	て 目知に目後の苦
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
The Astrophysical Journal	58 ~ 58
  載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.3847/1538-4357/aa7411	有
<sup>†</sup> ープンアクセス	国際共著
・・・・・ ユン、 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
オーノンアプロス にはない、 又はオーノンアフロスが 四無	m 1 / 0
.著者名	4 . 巻
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita	
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita	4 . 巻
I.著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki	4. 巻 842
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki 2論文標題	4.巻 842 5.発行年
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki . 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging	4. 巻 842
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki . 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS)	4.巻 842 5.発行年
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki : . 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS)	4.巻 842 5.発行年 2017年
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki . 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS)	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki 2. 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS)	4.巻 842 5.発行年 2017年
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki . 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) . 雑誌名	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki . 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) . 雑誌名 The Astrophysical Journal	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki . 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) . 雑誌名 The Astrophysical Journal	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki . 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) . 雑誌名 The Astrophysical Journal	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki . 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) . 雑誌名 The Astrophysical Journal	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki . 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) 3. 雑誌名 The Astrophysical Journal	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無 有
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki . 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) 3. 雑誌名 The Astrophysical Journal 郵輸論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/aa7386	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki . 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) . 雑誌名 The Astrophysical Journal	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無 有
. 著者名   Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita   Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki   2. 論文標題   Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging   Spectrometer (EIS)   3. 雑誌名   The Astrophysical Journal	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無 有
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki . 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) 3. 雑誌名 The Astrophysical Journal 『載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/aa7386 「一プンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無 有 国際共著
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki . 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) . 雑誌名 The Astrophysical Journal    本記	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無 有 国際共著
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki . 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) . 雑誌名 The Astrophysical Journal    載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/aa7386  - プンアクセス	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無 有 国際共著
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) 3. 雑誌名 The Astrophysical Journal	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 855
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki . 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) . 雑誌名 The Astrophysical Journal    本元プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   ・著者名   Long David M.、Harra Louise K.、Matthews Sarah A.、Warren Harry P.、Lee Kyoung-Sun、Doschek George A.、Hara Hirohisa、Jenkins Jack M.	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無 有 国際共著
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki . 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) . 雑誌名 The Astrophysical Journal    載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/aa7386  - プンアクセス	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 855 5 . 発行年
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki . 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) . 雑誌名 The Astrophysical Journal    本元プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   ・著者名   Long David M.、Harra Louise K.、Matthews Sarah A.、Warren Harry P.、Lee Kyoung-Sun、Doschek George A.、Hara Hirohisa、Jenkins Jack M.	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 855
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki . 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) . 雑誌名 The Astrophysical Journal    載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/aa7386  - プンアクセス	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 855 5 . 発行年 2018年
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki - 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) - 雑誌名 The Astrophysical Journal - 一プンアクセス - オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 著者名 Long David M.、Harra Louise K.、Matthews Sarah A.、Warren Harry P.、Lee Kyoung-Sun、Doschek George A.、Hara Hirohisa、Jenkins Jack M 論文標題 Plasma Evolution within an Erupting Coronal Cavity - 雑誌名	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 855 5 . 発行年
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki . 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) . 雑誌名 The Astrophysical Journal    最載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/aa7386  「一プンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  . 著者名 Long David M.、Harra Louise K.、Matthews Sarah A.、Warren Harry P.、Lee Kyoung-Sun、Doschek George A.、Hara Hirohisa、Jenkins Jack M 論文標題 Plasma Evolution within an Erupting Coronal Cavity	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 855 5 . 発行年 2018年
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki P. 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) B. 雑誌名 The Astrophysical Journal  Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Jenkins Jack M. P. 論文標題 Plasma Evolution within an Erupting Coronal Cavity	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 855 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki . 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) . 雑誌名 The Astrophysical Journal    最載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/aa7386  「一プンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  . 著者名 Long David M.、Harra Louise K.、Matthews Sarah A.、Warren Harry P.、Lee Kyoung-Sun、Doschek George A.、Hara Hirohisa、Jenkins Jack M 論文標題 Plasma Evolution within an Erupting Coronal Cavity	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 855 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
. 著者名 Watanabe Tetsuya, Hara Hirohisa, Murakami Izumi, Kato Daiji, Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru, Suzuki Chihiro, Tamura Naoki, Yamamoto Norimasa, Nakamura Nobuyuki 2. 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) 3. 雑誌名 The Astrophysical Journal  『載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/aa7386  「ープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  「著者名 Long David M.、Harra Louise K.、Matthews Sarah A.、Warren Harry P.、Lee Kyoung-Sun、Doschek George A.、Hara Hirohisa、Jenkins Jack M. 2. 論文標題 Plasma Evolution within an Erupting Coronal Cavity 3. 雑誌名 The Astrophysical Journal	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 855 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 74~74
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) a. 雑誌名 The Astrophysical Journal  B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/aa7386  「一ブンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  . 著者名 Long David M.、Harra Louise K.、Matthews Sarah A.、Warren Harry P.、Lee Kyoung-Sun、Doschek George A.、Hara Hirohisa、Jenkins Jack M. 2. 論文標題 Plasma Evolution within an Erupting Coronal Cavity 3. 雑誌名 The Astrophysical Journal	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 855 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 74~74
. 著者名 Watanabe Tetsuya, Hara Hirohisa, Murakami Izumi, Kato Daiji, Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru, Suzuki Chihiro, Tamura Naoki, Yamamoto Norimasa, Nakamura Nobuyuki 2. 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) 3. 雑誌名 The Astrophysical Journal    本記	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 855 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 74~74
. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki 2. 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) 3. 雑誌名 The Astrophysical Journal  書載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/aa7386  「一ブンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  . 著者名 Long David M.、Harra Louise K.、Matthews Sarah A.、Warren Harry P.、Lee Kyoung-Sun、Doschek George A.、Hara Hirohisa、Jenkins Jack M. 2. 論文標題 Plasma Evolution within an Erupting Coronal Cavity 3. 雑誌名 The Astrophysical Journal	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 855 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 74~74
. 著者名   Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki P 論文標題   Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS)   3. 雑誌名   The Astrophysical Journal   The Astro	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 855 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 74~74 査読の有無 有
1. 著者名 Watanabe Tetsuya、Hara Hirohisa、Murakami Izumi、Kato Daiji、Sakaue Hiroyuki A.、Morita Shigeru、Suzuki Chihiro、Tamura Naoki、Yamamoto Norimasa、Nakamura Nobuyuki 2. 論文標題 Neon-like Iron Ion Lines Measured in NIFS/Large Helical Device (LHD) and Hinode/EUV Imaging Spectrometer (EIS) 3. 雑誌名 The Astrophysical Journal  『最載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/aa7386  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  「. 著者名 Long David M.、Harra Louise K.、Matthews Sarah A.、Warren Harry P.、Lee Kyoung-Sun、Doschek George A.、Hara Hirohisa、Jenkins Jack M. 2. 論文標題 Plasma Evolution within an Erupting Coronal Cavity 3. 雑誌名 The Astrophysical Journal	4 . 巻 842 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 12~12 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 855 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 74~74

│ 1.著者名	
AKIMITSU Moe、ONO Yasushi、CAO Qinghong、TANABE Hiroshi	4.巻 13
, ,	
2.論文標題 High-Resolution 2D Magnetic Field Measurement of Magnetic Reconnection Using Printed-Circuit Board Coils	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Plasma and Fusion Research	6.最初と最後の頁 1202108~1202108
<u> </u>	<u></u> 査読の有無
10.1585/pfr.13.1202108	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名 Trujillo Bueno J.、Stenpan J.、Belluzzi L.、Ramos A. Asensio、Sainz R. Manso、Alem?n T. del Pino、Casini R.、Ishikawa R.、Kano R.、Winebarger A.、Auch?re F.、Narukage N.、Kobayashi K.、 Bando T.、Katsukawa Y.、Kubo M.、Ishikawa S.、Giono G.、Hara H.、Suematsu Y.、Shimizu T.	4.巻 866
2.論文標題 CLASP Constraints on the Magnetization and Geometrical Complexity of the Chromosphere-Corona Transition Region	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 The Astrophysical Journal	6 . 最初と最後の頁 L15~L15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3847/2041-8213/aae25a	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1 . 著者名 Kawabata Yusuke、lida Yusuke、Doi Takafumi、Akiyama Sachiko、Yashiro Seiji、Shimizu Toshifumi	4.巻 869
2 . 論文標題	= 7v./= <del>/=</del>
Statistical Relation between Solar Flares and Coronal Mass Ejections with Respect to Sigmoidal Structures in Active Regions	5 . 発行年 2018年
Statistical Relation between Solar Flares and Coronal Mass Ejections with Respect to Sigmoidal	
Statistical Relation between Solar Flares and Coronal Mass Ejections with Respect to Sigmoidal Structures in Active Regions  3.雑誌名 The Astrophysical Journal	2018年 6 . 最初と最後の頁 99~99
Statistical Relation between Solar Flares and Coronal Mass Ejections with Respect to Sigmoidal Structures in Active Regions 3.雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
Statistical Relation between Solar Flares and Coronal Mass Ejections with Respect to Sigmoidal Structures in Active Regions  3.雑誌名 The Astrophysical Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/aaebfc オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 99~99 査読の有無
Statistical Relation between Solar Flares and Coronal Mass Ejections with Respect to Sigmoidal Structures in Active Regions  3.雑誌名 The Astrophysical Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/aaebfc	2018年 6.最初と最後の頁 99~99 査読の有無 有
Statistical Relation between Solar Flares and Coronal Mass Ejections with Respect to Sigmoidal Structures in Active Regions  3.雑誌名 The Astrophysical Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/aaebfc オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 99~99 査読の有無 有
Statistical Relation between Solar Flares and Coronal Mass Ejections with Respect to Sigmoidal Structures in Active Regions  3.雑誌名 The Astrophysical Journal  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/aaebfc  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Stepan J.、Bueno J. Trujillo、Belluzzi L.、Ramos A. Asensio、Sainz R. Manso、Alem?n T. del Pino、Casini R.、Kano R.、Winebarger A.、Auch?re F.、Ishikawa R.、Narukage N.、Kobayashi K.、	2018年 6.最初と最後の頁 99~99  査読の有無 有  国際共著
Statistical Relation between Solar Flares and Coronal Mass Ejections with Respect to Sigmoidal Structures in Active Regions  3.雑誌名 The Astrophysical Journal  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/aaebfc  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Stepan J.、Bueno J. Trujillo、Belluzzi L.、Ramos A. Asensio、Sainz R. Manso、Alem?n T. del Pino、Casini R.、Kano R.、Winebarger A.、Auch?re F.、Ishikawa R.、Narukage N.、Kobayashi K.、Bando T.、Katsukawa Y.、Kubo M.、Ishikawa S.、Giono G.、Hara H.、Suematsu Y.、Shimizu T.	2018年 6.最初と最後の頁 99~99  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 865
Statistical Relation between Solar Flares and Coronal Mass Ejections with Respect to Sigmoidal Structures in Active Regions  3.雑誌名 The Astrophysical Journal  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/aaebfc  オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 99~99  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 865  5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁

1.著者名	4 . 巻
Mulay Sargam M., Matthews Sarah, Hasegawa Takahiro, DelZanna Giulio, Mason Helen, Shimizu	293
	200
Toshifumi	
2. 論文標題	5.発行年
Flare-related Recurring Active Region Jets: Evidence for Very Hot Plasma	2018年
3 . 雑誌名	6 早知レ早後の百
	6.最初と最後の頁
Solar Physics	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
10.1007/s11207-018-1376-4	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
4 英基权	1 4 <del>**</del>
1.著者名	4 . 巻
TAKAHATA Yoshifumi、YANAI Ryoma、INOMOTO Michiaki	14
•	
2.論文標題	5.発行年
Experimental Study of Magnetic Reconnection in Partially Ionized Plasmas Using Rotating	2019年
Magnetic Field	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Plasma and Fusion Research	3401054 ~ 3401054
Tradilla and Tadron Neddaron	0401004 0401004
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1585/pfr.14.3401054	有
	'3
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
1. 著者名	4 . 巻
1 . 著者名 Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.	4.巻 59
Tanabe H., Cao Q., Tanaka H., Ahmadi T., Akimitsu M., Sawada A., Inomoto M., Ono Y.	59
—	_
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2 . 論文標題	59 59 59 55 . 発行年
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma	59
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U	59 5.発行年 2019年
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma	59 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U	59 5.発行年 2019年
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3 . 雑誌名	59 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2. 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3. 雑誌名	59 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2. 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3. 雑誌名 Nuclear Fusion	59 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 086041 ~ 086041
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2. 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3. 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	59 5. 発行年 2019年 6. 最初と最後の頁 086041~086041
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion	59 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 086041 ~ 086041
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2. 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3. 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	59 5. 発行年 2019年 6. 最初と最後の頁 086041~086041
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2. 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3. 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	59 5. 発行年 2019年 6. 最初と最後の頁 086041~086041 査読の有無 有
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2. 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3. 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1cdf	59 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 086041~086041 査読の有無 有
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2. 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3. 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1cdf	59 5. 発行年 2019年 6. 最初と最後の頁 086041~086041 査読の有無 有
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2. 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3. 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1cdf  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	59 5. 発行年 2019年 6. 最初と最後の頁 086041~086041 査読の有無 有 国際共著 該当する
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2. 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3. 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1cdf	59 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 086041~086041 査読の有無 有
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2. 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3. 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1cdf  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	59 5. 発行年 2019年 6. 最初と最後の頁 086041~086041 査読の有無 有 国際共著 該当する
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2. 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3. 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1cdf  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	59 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 086041~086041  査読の有無 有 国際共著 該当する
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2.論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1cdf  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Akimitsu Moe、Ono Yasushi、Cao Qinghong、Masuki Ryota、Tanabe Hiroshi	59 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 086041~086041  査読の有無 有 国際共著  該当する  4 . 巻 138
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2.論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1cdf  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Akimitsu Moe、Ono Yasushi、Cao Qinghong、Masuki Ryota、Tanabe Hiroshi  2.論文標題	59 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 086041~086041 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 138
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2. 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3. 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1cdf  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Akimitsu Moe、Ono Yasushi、Cao Qinghong、Masuki Ryota、Tanabe Hiroshi  2. 論文標題 Development of High-resolution Two-dimensional Magnetic Field Measurement System by Use of	59 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 086041~086041  査読の有無 有 国際共著  該当する  4 . 巻 138
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2.論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1cdf  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Akimitsu Moe、Ono Yasushi、Cao Qinghong、Masuki Ryota、Tanabe Hiroshi  2.論文標題	59  5. 発行年 2019年  6. 最初と最後の頁 086041~086041  査読の有無 有  国際共著 該当する  4. 巻 138  5. 発行年 2018年
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1cdf  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akimitsu Moe、Ono Yasushi、Cao Qinghong、Masuki Ryota、Tanabe Hiroshi  2 . 論文標題 Development of High-resolution Two-dimensional Magnetic Field Measurement System by Use of Printed-circuit Technology	59  5. 発行年 2019年  6. 最初と最後の頁 086041~086041  査読の有無 有  国際共著 該当する  4. 巻 138  5. 発行年 2018年
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1cdf  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akimitsu Moe、Ono Yasushi、Cao Qinghong、Masuki Ryota、Tanabe Hiroshi  2 . 論文標題 Development of High-resolution Two-dimensional Magnetic Field Measurement System by Use of Printed-circuit Technology  3 . 雑誌名	59  5. 発行年 2019年  6. 最初と最後の頁 086041~086041  査読の有無 有  国際共著 該当する  4. 巻 138  5. 発行年 2018年  6. 最初と最後の頁
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1cdf  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akimitsu Moe、Ono Yasushi、Cao Qinghong、Masuki Ryota、Tanabe Hiroshi  2 . 論文標題 Development of High-resolution Two-dimensional Magnetic Field Measurement System by Use of Printed-circuit Technology	59  5. 発行年 2019年  6. 最初と最後の頁 086041~086041  査読の有無 有  国際共著 該当する  4. 巻 138  5. 発行年 2018年
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1cdf  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akimitsu Moe、Ono Yasushi、Cao Qinghong、Masuki Ryota、Tanabe Hiroshi  2 . 論文標題 Development of High-resolution Two-dimensional Magnetic Field Measurement System by Use of Printed-circuit Technology  3 . 雑誌名	59  5. 発行年 2019年  6. 最初と最後の頁 086041~086041  査読の有無 有  国際共著 該当する  4. 巻 138  5. 発行年 2018年  6. 最初と最後の頁
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1cdf  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akimitsu Moe、Ono Yasushi、Cao Qinghong、Masuki Ryota、Tanabe Hiroshi  2 . 論文標題 Development of High-resolution Two-dimensional Magnetic Field Measurement System by Use of Printed-circuit Technology  3 . 雑誌名 IEEJ Transactions on Fundamentals and Materials	59 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 086041~086041  査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 138 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 480~481
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1cdf  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akimitsu Moe、Ono Yasushi、Cao Qinghong、Masuki Ryota、Tanabe Hiroshi  2 . 論文標題 Development of High-resolution Two-dimensional Magnetic Field Measurement System by Use of Printed-circuit Technology  3 . 雑誌名	59 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 086041~086041  査読の有無 有 国際共著 該当する  4 . 巻 138 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1cdf  オープンアクセス  オープンアクセスとしている (また、その予定である)  1 . 著者名 Akimitsu Moe、Ono Yasushi、Cao Qinghong、Masuki Ryota、Tanabe Hiroshi  2 . 論文標題 Development of High-resolution Two-dimensional Magnetic Field Measurement System by Use of Printed-circuit Technology  3 . 雑誌名 IEEJ Transactions on Fundamentals and Materials	59  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 086041 ~ 086041  查読の有無  有  国際共著 該当する  4 . 巻 138  5 . 発行年 2018年  6 . 最初と最後の頁 480~481  査読の有無
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1cdf  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akimitsu Moe、Ono Yasushi、Cao Qinghong、Masuki Ryota、Tanabe Hiroshi  2 . 論文標題 Development of High-resolution Two-dimensional Magnetic Field Measurement System by Use of Printed-circuit Technology  3 . 雑誌名 IEEJ Transactions on Fundamentals and Materials	59 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 086041~086041  査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 138 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 480~481
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1cdf  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akimitsu Moe、Ono Yasushi、Cao Qinghong、Masuki Ryota、Tanabe Hiroshi  2 . 論文標題 Development of High-resolution Two-dimensional Magnetic Field Measurement System by Use of Printed-circuit Technology  3 . 雑誌名 IEEJ Transactions on Fundamentals and Materials  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1541/ieejfms.138.480	59 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 086041~086041  査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 138 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 480~481  査読の有無 有
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-4326/ab1cdf  オープンアクセス  オープンアクセスとしている (また、その予定である)  1 . 著者名 Akimitsu Moe、Ono Yasushi、Cao Qinghong、Masuki Ryota、Tanabe Hiroshi  2 . 論文標題 Development of High-resolution Two-dimensional Magnetic Field Measurement System by Use of Printed-circuit Technology  3 . 雑誌名 IEEJ Transactions on Fundamentals and Materials  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1541/ieejfms.138.480	59 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 086041 ~ 086041  査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 138 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 480~481  査読の有無 有
Tanabe H.、Cao Q.、Tanaka H.、Ahmadi T.、Akimitsu M.、Sawada A.、Inomoto M.、Ono Y.  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 .1088/1741-4326/ab1cdf  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Akimitsu Moe、Ono Yasushi、Cao Qinghong、Masuki Ryota、Tanabe Hiroshi  2 . 論文標題 Development of High-resolution Two-dimensional Magnetic Field Measurement System by Use of Printed-circuit Technology  3 . 雑誌名 IEEJ Transactions on Fundamentals and Materials  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 .1541/ieejfms.138.480	59 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 086041 ~ 086041  査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 138 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 480~481  査読の有無 有

1 ・ 著名名		
2 ・論文標題 小特集 プラズマが作る時8トポロジー:磁気働とプラズモイド:5 ・リコネクションにおけるプラズモ イド 3 ・雑誌名 プラズマ・核融合学会誌	1.著者名	4 . 巻
小特集 プラズマが作る時8トポロジー: 磁気島とブラズモイド: 5 . リコネクションにおけるプラズモ イド       2018年         3 . 献誌名 プラズマ・核磁合学会誌       5 . 是初と最後の頁 410-413         掲載論文の2001(デジタルオプジェクト識別子) なし       直藤の有脈 無         オープンアクセス       回際共著         1 . 著名名 小野靖       4 . 巻 2019         2 . 論文標題 核融合の現状と動向: 核融合ペンチャー企業設立の動き - 国際協力から国際競争への流れー       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 電気評論       6 . 最初と最後の頁 77-81         増裁論文の2001(デジタルオプジェクト識別子) なし       直続の有脈 無         オープンアクセス       国際共著 - 2019年         1 . 著名名 N. Inneroto, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugasara, K. Kondo, T. Mihara, Y. Minami, Y. Inai, R. Yanai, Y. Tachata, H. Tanabe, Y. Ono, X. Sarpei, S. Kamio       5 . 発行年 2018年         2 . 論文標題 Effects of Recompection Downstream Conditions on Electron Parallel Acceleration during Nerging Start-up of Spherical Tokamak       6 . 最初と最後の頁 EXP/P7-17         お . 経過名 (デジタルオプジェクト識別子) なし       五読の有無 有 2 . 一プンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       4 . 巻 1         1 . 著名名 H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inonoto and Y. Ono       1 . 巻 名 . 長 . 長 . 長 . 長 . 長 . 長 . 長 . 長 . 長 .	小野靖,田辺博士	94
小特案 プラズマが作る時8トポロジー: 磁気能とプラズモイド: 5 . リコネクションにおけるプラズモ イド       2018年         3 . 触該名 プラズマ・核融合学会誌       5 . 是初と最後の頁 410-413         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし       直続の有無 無		
イド	2.論文標題	5.発行年
イド	小特集 プラズマが作る時Bトポロジー:磁気鳥とプラズモイド:5 リコネクションにおけるプラズモ	2018年
3 別誌名 プラズマ・核配合学会誌		2010
# (410-413		6 見知し見後の百
据数論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 著者名 小野埼 2019 2 論文標題 核総合の現状と動向:核融合ペンチャー企業設立の動き - 国際協力から国際競争への流れ - 3 . 離試名 電気評論  第 世界 -		
### ### ### ### #####################	ブラズマ・核融合学会誌	410-413
### オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)		
### オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)		
### オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
1 . 著者名		
1. 著者名		<del>////</del>
1. 著者名		<b>国際共</b> 芸
1. 著者名 小野靖 2. 論文標題 核総合の現状と動向: 核融合ペンチャー企業設立の動き - 国際協力から国際競争への流れ - 2019年 3. 雑誌名 電気評論		
2019  2 . 論文標題	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
2019  2 . 論文標題		
2019  2 . 論文標題	1.著者名	4 . 巻
2. 論文標題		2019
核融合の現状と動向:核融合ベンチャー企業設立の動き~国際協力から国際競争への流れ~  3.雑誌名 電気評論  おープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著書名 M. Inomoto, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Kondo, T. Mihara, Y. Minami, Y. Inai, R. Yanai, Y. Takahata, H. Tanabe, Y. Ono, A. Sanpei, S. Kanio  2.論文標題 Effects of Reconnection Downstream Conditions on Electron Parallel Acceleration during Merging Start-up of Spherical Tokamak  3.键話名 Fusion Energy 2018  1. 著書名 H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono  1. 著書名 H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono  2.論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3. 雑誌名 Fusion Energy 2018  超談表 Fusion Energy 2018  西読の有無  6. 最初と最後の頁 EXP/P3-22  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)  直読の有無  2 語の有無  2 語の有無  2 記述の音	1.21.34	
核融合の現状と動向:核融合ベンチャー企業設立の動き~国際協力から国際競争への流れ~  3.雑誌名 電気評論  おープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著書名 M. Inomoto, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Kondo, T. Mihara, Y. Minami, Y. Inai, R. Yanai, Y. Takahata, H. Tanabe, Y. Ono, A. Sanpei, S. Kanio  2.論文標題 Effects of Reconnection Downstream Conditions on Electron Parallel Acceleration during Merging Start-up of Spherical Tokamak  3.键話名 Fusion Energy 2018  1. 著書名 H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono  1. 著書名 H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono  2.論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3. 雑誌名 Fusion Energy 2018  超談表 Fusion Energy 2018  西読の有無  6. 最初と最後の頁 EXP/P3-22  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)  直読の有無  2 語の有無  2 語の有無  2 記述の音	2	F 整件
名。記録と最後の頁 77-81		
審気評論 77-81  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 コープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) コ際共著 - 1、著者名 M. Inomoto, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Kondo, T. Mihara, Y. Minami, Y. Inai, R. Yanai, Y. Takahata, H. Tanabe, Y. Ono, A. Sanpei, S. Kanio 2・論文標題 Effects of Reconnection Downstream Conditions on Electron Parallel Acceleration during Merging Start-up of Spherical Tokamak 3・雑誌名 Fusion Energy 2018	<b>核融台の垷状と動向:核融合ベンチャー企業設立の動き~国際協力から国際競争への流れ~</b>	2019年
審気評論 77-81  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 コープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) コ際共著 - 1、著者名 M. Inomoto, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Kondo, T. Mihara, Y. Minami, Y. Inai, R. Yanai, Y. Takahata, H. Tanabe, Y. Ono, A. Sanpei, S. Kanio 2・論文標題 Effects of Reconnection Downstream Conditions on Electron Parallel Acceleration during Merging Start-up of Spherical Tokamak 3・雑誌名 Fusion Energy 2018		
電気評論 77-81  掲載論文のDDI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 無 コープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) コ際共著 - コープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) - コープンアクセスとしている(また、その予定である) - コープンアクセスとしている(また、その予定である) - コープンアクセスとしている(また、その予定である) - コープンアクセス・	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著名名 M. Inomoto, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Kondo, T. Mihara, Y. Minami, Y. Inai, R. Yanai, Y. Takahata, H. Tanabe, Y. Ono, A. Sanpei, S. Kamio 2. 論文標題 Effects of Reconnection Downstream Conditions on Electron Parallel Acceleration during Merging Start-up of Spherical Tokamak 3. 雑誌名 Fusion Energy 2018  おープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著名名 H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono 2. 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
## オープンアクセス 国際共著 「国際共著 「Aープンアクセスとしている(また、その予定である) 「国際共著 「Aープンアクセスとしている(また、その予定である) 「Aープンアクセスとしている(また、その予定である) 「Aープンアクセスとしている(また、その予定である) 「Aープンアクセスとしている(また、その予定である) 「Aープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 「国際共著 「国際共著 「Aープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 「Aー参 「A・参 「A・参 「A・参 「A・参 「A・参 「A・参 「A・参 「A・	センルロ間	11-01
## オープンアクセス 国際共著 「国際共著 「Aープンアクセスとしている(また、その予定である) 「国際共著 「Aープンアクセスとしている(また、その予定である) 「Aープンアクセスとしている(また、その予定である) 「Aープンアクセスとしている(また、その予定である) 「Aープンアクセスとしている(また、その予定である) 「Aープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 「国際共著 「国際共著 「Aープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 「Aー参 「A・参 「A・参 「A・参 「A・参 「A・参 「A・参 「A・参 「A・		
## オープンアクセス 国際共著 「国際共著 「Aープンアクセスとしている(また、その予定である) 「国際共著 「Aープンアクセスとしている(また、その予定である) 「Aープンアクセスとしている(また、その予定である) 「Aープンアクセスとしている(また、その予定である) 「Aープンアクセスとしている(また、その予定である) 「Aープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 「国際共著 「国際共著 「Aープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 「Aー参 「A・参 「A・参 「A・参 「A・参 「A・参 「A・参 「A・参 「A・	19#24A - 200 ( 1982 E 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	*****
オープンアクセス  1 . 著者名 M. Inomoto, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Kondo, T. Mihara, Y. Minami, Y. Inai, R. Yanai, Y. Takahata, H. Tanabe, Y. Ono, A. Sanpei, S. Kamio  2 . 論文標題	掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 M. Inomoto, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Kondo, T. Mihara, Y. Minami, Y. Inai, R. Yanai, Y. Takahata, H. Tanabe, Y. Ono, A. Sanpei, S. Kamio  2 . 論文標題	なし	無
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 M. Inomoto, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Kondo, T. Mihara, Y. Minami, Y. Inai, R. Yanai, Y. Takahata, H. Tanabe, Y. Ono, A. Sanpei, S. Kamio  2 . 論文標題		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 M. Inomoto, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Kondo, T. Mihara, Y. Minami, Y. Inai, R. Yanai, Y. Takahata, H. Tanabe, Y. Ono, A. Sanpei, S. Kamio  2 . 論文標題 Effects of Reconnection Downstream Conditions on Electron Parallel Acceleration during Merging Start-up of Spherical Tokamak  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無  1 . 著者名 H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono  1 . 蓋者名 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2018  #表述表表示  4 . 養	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名 M. Inomoto, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Kondo, T. Mihara, Y. Minami, Y. Inai, R. Yanai, Y. Takahata, H. Tanabe, Y. Ono, A. Sanpei, S. Kanio  2 . 論文標題	· · · · · · =· ·	
M. Inomoto, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Kondo, T. Mihara, Y. Minami, Y. Inai, R. Yanai, Y. Takahata, H. Tanabe, Y. Ono, A. Sanpei, S. Kamio  2. 論文標題 Effects of Reconnection Downstream Conditions on Electron Parallel Acceleration during Merging Start-up of Spherical Tokamak  3. 雑誌名 Fusion Energy 2018	オープファクセスとしている(また、その予定である)	-
M. Inomoto, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Kondo, T. Mihara, Y. Minami, Y. Inai, R. Yanai, Y. Takahata, H. Tanabe, Y. Ono, A. Sanpei, S. Kamio  2. 論文標題 Effects of Reconnection Downstream Conditions on Electron Parallel Acceleration during Merging Start-up of Spherical Tokamak  3. 雑誌名 Fusion Energy 2018		
Y. Takahata, H. Tanabe, Y. Ono, A. Sanpei, S. Kamio5. 発行年 Effects of Reconnection Downstream Conditions on Electron Parallel Acceleration during Merging Start-up of Spherical Tokamak5. 発行年 2018年3. 雑誌名 Fusion Energy 20186. 最初と最後の頁 EXP/P7-17掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無1. 著者名 H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono4. 巻 12. 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U5. 発行年 2018年3. 雑誌名 Fusion Energy 20186. 最初と最後の頁 EXP/P3-22掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)査読の有無		│ 4 . 巻
Y. Takahata, H. Tanabe, Y. Ono, A. Sanpei, S. Kamio5. 発行年 2018年2. 論文標題 Start-up of Spherical Tokamak5. 発行年 2018年3. 雑誌名 Fusion Energy 20186. 最初と最後の頁 EXP/P7-17掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無1. 著者名 H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono4. 巻 1. 整計 1. 整計 1. 整計 1. 整計 1. 整計 2. 論文標題 1. Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U5. 発行年 2018年3. 雑誌名 Fusion Energy 20186. 最初と最後の頁 EXP/P3-22掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)査読の有無	M. Inomoto, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Kondo, T. Mihara, Y. Minami, Y. Inai, R. Yanai,	1
2.論文標題 Effects of Reconnection Downstream Conditions on Electron Parallel Acceleration during Merging Start-up of Spherical Tokamak  3.雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  1.著者名 H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono  2.論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3.雑誌名 Fusion Energy 2018  5.発行年 2018年  5.発行年 2018年  5.発行年 2018年  6.最初と最後の頁 EXP/P3-22  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)  査読の有無	Y Takahata H Tanabe Y Ono A Sannei S Kamio	
Effects of Reconnection Downstream Conditions on Electron Parallel Acceleration during Merging Start-up of Spherical Tokamak  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  1 . 著者名 H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2018  和		c
Start-up of Spherical Tokamak  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)  査読の有無  査読の有無		
3 . 雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2018  4 . 巻 2018年  5 . 発行年 2018年  6 . 最初と最後の頁 EXP/P3-22		2018年
Fusion Energy 2018 EXP/P7-17 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 有	Start-up of Spherical Tokamak	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono 2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U 3 . 雑誌名 Fusion Energy 2018 「6 . 最初と最後の頁 EXP/P3-22	Fusion Energy 2018	FXP/P7-17
すープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2018  有  4 . 巻 1 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 EXP/P3-22	Tuoton Energy 2010	L/11/11/11/
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono 1 2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U 3 . 雑誌名 Fusion Energy 2018 「表初と最後の頁 EXP/P3-22 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)  査読の有無		
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono 1 2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U 3 . 雑誌名 Fusion Energy 2018 「表初と最後の頁 EXP/P3-22 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)  査読の有無	相乗込みのハノブジカルナブジュカー効のフン	大芸の左仰
オープンアクセス		
コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono 1 1 2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U 5 . 発行年 2018年 2018年 5 . 発行年 2018年 Fusion Energy 2018 6 . 最初と最後の頁 EXP/P3-22 目載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無	なし	有 有
コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono 1 1 2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U 5 . 発行年 2018年 2018年 5 . 発行年 2018年 Fusion Energy 2018 6 . 最初と最後の頁 EXP/P3-22 目載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無		
コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono 1 1 2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U 5 . 発行年 2018年 2018年 5 . 発行年 2018年 5 . 報誌名 Fusion Energy 2018 6 . 最初と最後の頁 EXP/P3-22	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名 H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono  2 . 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)  査読の有無		_
H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono  2. 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3. 雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)  査読の有無	コンシンとハミはのマハスはコンシンとハル四番	<u>I</u>
H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono  2. 論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U  3. 雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)  査読の有無	. #46	
2.論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U5.発行年 2018年3.雑誌名 Fusion Energy 20186.最初と最後の頁 EXP/P3-22掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)査読の有無		4.巻
2.論文標題 Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma startup of spherical tokamak in TS-3U5.発行年 2018年3.雑誌名 Fusion Energy 20186.最初と最後の頁 EXP/P3-22掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)査読の有無	H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono	1
Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma 2018年 startup of spherical tokamak in TS-3U  3.雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)  査読の有無		
Investigation of fine structure formation of guide field reconnection during merging plasma 2018年 startup of spherical tokamak in TS-3U  3.雑誌名 Fusion Energy 2018  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)  査読の有無	2. 論立種類	5 発行任
startup of spherical tokamak in TS-3U3.雑誌名 Fusion Energy 20186.最初と最後の頁 EXP/P3-22掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)査読の有無		
3.雑誌名       6.最初と最後の頁         Fusion Energy 2018       EXP/P3-22         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無		ZU10年
Fusion Energy 2018       EXP/P3-22         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無		
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無	Fusion Energy 2018	EXP/P3-22
	<del>.</del>	
	掲載絵立のDOL (デジタルオブジェクト辨別ス)	本性の右無
なし 有		
	なし	有
オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する	カーノファフ ヒヘ C はない、 X はカーノファフ ヒヘル 凶無	

1.著者名	4 . 巻
S. Kamio, M. Inomoto, K. Yamasaki, T. Yamada, C. Z. Cheng, and Y. Ono	25
2 . 論文標題	5 . 発行年
Magnetic island dynamics in magnetic reconnection in UTST experiments	2018年
magnetre island dynamics in magnetre reconnection in ordinapperments	2010—
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Physics of Plasmas	12126
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1063/1.5006092	有
<b>「オープンアクセス</b>	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
3 22 7 EXCIDION XION 22 7 EXN EXE	10.70
4 节44	4 <del>**</del>
1 . 著者名	4.巻
H. Itagaki, T. Asai, M. Inomoto, and Ts. Takahashi	24
2.論文標題	5 . 発行年
Flux amplification of a field-reversed configuration by double-sided plasmoid injection	2017年
,,	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Physics of Plasmas	82551
Thysics of Flashias	02001
	1 + bt a + m
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1063/1.4996570	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
	56
Yamada T., Tanabe H., Watanabe T.G., Hayashi Y., Imazawa R., Inomoto M., Ono Y., Gryaznevich	56
M.、Scannell R.、Michael C.、The MAST Team	
	= 7V./= <del>/-</del>
2.論文標題	5.発行年
2.論文標題 Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST	5 . 発行年 2016年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 .雑誌名	2016年 6.最初と最後の頁
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST	2016年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 .雑誌名	2016年 6.最初と最後の頁
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion	2016年 6 . 最初と最後の頁 106019~106019
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2016年 6.最初と最後の頁 106019~106019 査読の有無
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion	2016年 6 . 最初と最後の頁 106019~106019
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019	2016年 6.最初と最後の頁 106019~106019 査読の有無 有
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス	2016年  6.最初と最後の頁 106019~106019  査読の有無 有
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019	2016年 6.最初と最後の頁 106019~106019 査読の有無 有
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス	2016年  6.最初と最後の頁 106019~106019  査読の有無 有
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス	2016年  6.最初と最後の頁 106019~106019  査読の有無 有
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2016年  6.最初と最後の頁 106019~106019  査読の有無 有 国際共著 該当する
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2016年  6.最初と最後の頁 106019~106019  査読の有無 有  国際共著 該当する
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 G. A. Doschek, H. P. Warren, L. K. Harra, J. L. Culhane, T. Watanabe, H. Hara	2016年  6.最初と最後の頁 106019~106019  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 G. A. Doschek, H. P. Warren, L. K. Harra, J. L. Culhane, T. Watanabe, H. Hara  2.論文標題	2016年  6.最初と最後の頁 106019~106019  査読の有無 有  国際共著  該当する  4.巻 853  5.発行年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 G. A. Doschek, H. P. Warren, L. K. Harra, J. L. Culhane, T. Watanabe, H. Hara	2016年  6.最初と最後の頁 106019~106019  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 G. A. Doschek, H. P. Warren, L. K. Harra, J. L. Culhane, T. Watanabe, H. Hara  2.論文標題 Photospheric and Coronal Abundances in an X8.3 Class Limb Flare	2016年 6.最初と最後の頁 106019~106019  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 853  5.発行年 2018年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 G. A. Doschek, H. P. Warren, L. K. Harra, J. L. Culhane, T. Watanabe, H. Hara  2.論文標題 Photospheric and Coronal Abundances in an X8.3 Class Limb Flare  3.雑誌名	2016年  6.最初と最後の頁 106019~106019  査読の有無 有  国際共著  該当する  4.巻 853  5.発行年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 G. A. Doschek, H. P. Warren, L. K. Harra, J. L. Culhane, T. Watanabe, H. Hara  2.論文標題 Photospheric and Coronal Abundances in an X8.3 Class Limb Flare	2016年  6.最初と最後の頁 106019~106019  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 853  5.発行年 2018年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 G. A. Doschek, H. P. Warren, L. K. Harra, J. L. Culhane, T. Watanabe, H. Hara  2.論文標題 Photospheric and Coronal Abundances in an X8.3 Class Limb Flare  3.雑誌名	2016年 6.最初と最後の頁 106019~106019  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 853  5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 G. A. Doschek, H. P. Warren, L. K. Harra, J. L. Culhane, T. Watanabe, H. Hara  2.論文標題 Photospheric and Coronal Abundances in an X8.3 Class Limb Flare  3.雑誌名	2016年 6.最初と最後の頁 106019~106019  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 853  5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 G. A. Doschek, H. P. Warren, L. K. Harra, J. L. Culhane, T. Watanabe, H. Hara  2 . 論文標題 Photospheric and Coronal Abundances in an X8.3 Class Limb Flare  3 . 雑誌名 Astrophysical Journal	2016年 6.最初と最後の頁 106019~106019  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 853  5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 178
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 G. A. Doschek, H. P. Warren, L. K. Harra, J. L. Culhane, T. Watanabe, H. Hara  2.論文標題 Photospheric and Coronal Abundances in an X8.3 Class Limb Flare  3.雑誌名 Astrophysical Journal	2016年 6.最初と最後の頁 106019~106019  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 853  5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 178
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 G. A. Doschek, H. P. Warren, L. K. Harra, J. L. Culhane, T. Watanabe, H. Hara  2.論文標題 Photospheric and Coronal Abundances in an X8.3 Class Limb Flare  3.雑誌名 Astrophysical Journal	2016年 6.最初と最後の頁 106019~106019  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 853  5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 178
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 G. A. Doschek, H. P. Warren, L. K. Harra, J. L. Culhane, T. Watanabe, H. Hara  2 . 論文標題 Photospheric and Coronal Abundances in an X8.3 Class Limb Flare  3 . 雑誌名 Astrophysical Journal  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/aaa4f5	2016年  6.最初と最後の頁 106019~106019  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 853  5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 178  査読の有無 有
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 . 1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 G. A. Doschek, H. P. Warren, L. K. Harra, J. L. Culhane, T. Watanabe, H. Hara  2 . 論文標題 Photospheric and Coronal Abundances in an X8.3 Class Limb Flare  3 . 雑誌名 Astrophysical Journal  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 .3847/1538-4357/aaa4f5  オープンアクセス	2016年  6.最初と最後の頁 106019   査読の有無 有
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 G. A. Doschek, H. P. Warren, L. K. Harra, J. L. Culhane, T. Watanabe, H. Hara  2 . 論文標題 Photospheric and Coronal Abundances in an X8.3 Class Limb Flare  3 . 雑誌名 Astrophysical Journal  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3847/1538-4357/aaa4f5	2016年  6.最初と最後の頁 106019~106019  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 853  5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 178  査読の有無 有

Y. Ono, T. Yamada, S. Inoue, M. Inomoto, C. Z. Cheng, M. Gryaznavich, R. Scannell, N. J. Conway, B. Crowley, C. Michael, H. Hara, S. Usami and R. Horiuchi  2. 論文標題 Reconnection Heating Experiments and Simulations for Torus Plasma Merging Startup  3. 雑誌名 Fusion Energy 2016  看載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	巻 1 発行年 2016年 最初と最後の頁 EX/P3-38 (8pp) 読の有無 有 養
Conway, B. Crowley, C. Michael, H. Hara, S. Usami and R. Horiuchi  2. 論文標題 Reconnection Heating Experiments and Simulations for Torus Plasma Merging Startup  3. 雑誌名 Fusion Energy 2016  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, K. Kadowaki, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	<ul><li>発行年 2016年</li><li>最初と最後の頁 EX/P3-38 (8pp)</li><li>読の有無 有</li><li>調際共著 該当する</li></ul>
Conway, B. Crowley, C. Michael, H. Hara, S. Usami and R. Horiuchi  2. 論文標題 Reconnection Heating Experiments and Simulations for Torus Plasma Merging Startup  3. 雑誌名 Fusion Energy 2016  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, K. Kadowaki, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	2016年
2.論文標題 Reconnection Heating Experiments and Simulations for Torus Plasma Merging Startup  3.雑誌名 Fusion Energy 2016  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, K. Kadowaki, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	2016年
Reconnection Heating Experiments and Simulations for Torus Plasma Merging Startup  3 . 雑誌名 Fusion Energy 2016  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, K. Kadowaki, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	2016年
3.雑誌名 Fusion Energy 2016  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, K. Kadowaki, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	. 最初と最後の頁 EX/P3-38 (8pp) 読の有無 有 国際共著 該当する
Fusion Energy 2016  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, K. Kadowaki, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	EX/P3-38 (8pp) 読の有無 有 国際共著 該当する
Fusion Energy 2016  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, K. Kadowaki, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	EX/P3-38 (8pp) 読の有無 有 国際共著 該当する
Fusion Energy 2016  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, K. Kadowaki, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	EX/P3-38 (8pp) 読の有無 有 国際共著 該当する
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, K. Kadowaki, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	読の有無 有 国際共著 該当する
なし オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, K. Kadowaki, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	有 間際共著 該当する
なし オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, K. Kadowaki, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	有 間際共著 該当する
なし オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, K. Kadowaki, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	有 間際共著 該当する
なし オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, K. Kadowaki, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	有 間際共著 該当する
オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, K. Kadowaki, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	間際共著 該当する
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, K. Kadowaki, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	該当する
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, K. Kadowaki, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	該当する
1.著者名 H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, K. Kadowaki, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	
1.著者名 H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, K. Kadowaki, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	
H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, K. Kadowaki, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	
H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, K. Kadowaki, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	类
Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	' . 它
Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G.	1
	·
MCCIEMENTS, I. U'Gorman, C. Z. Cheng Y. Uno and the MASI team	
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
2 . 論文標題 5	. 発行年
Investigation of Merging/reconnection Heating during Solenoid-free Startup of Plasmas in the	2016年
MAST Spherical Tokamak	
3.雑誌名 6	. 最初と最後の頁
Fusion Energy 2016	EX/P4-32, (8pp)
Tuston Lifetyy 2010	LX/14-32, (Opp)
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) │ ₫	₹読の有無
なし	有
74 U	н
	ann II ++-
	際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名 4	*
	巻
T. Yamada, H. Tanabe, T.G. Watanabe, Y. Hayashi, R. Imazawa, M. Inomoto, Y. Ono, M.	56
Gryaznevich, R. Scannell, C. Michael and The MAST Team	
	<b>整仁</b> 左
2. 論文 標則	
	. 発行年
2.論文標題 Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST	2016年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST	2016年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名	2016年 . 最初と最後の頁
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST	2016年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名	2016年 . 最初と最後の頁
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名  Nuclear Fusion	2016年 . 最初と最後の頁 106019
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名  Nuclear Fusion	2016年 . 最初と最後の頁
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  a  a  a  a  a  a  b  c  c  c  c  c  c  c  c  c  c  c  c	2016年 . 最初と最後の頁 106019 読の有無
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名  Nuclear Fusion	2016年 . 最初と最後の頁 106019
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  8載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019	2016年 . 最初と最後の頁 106019
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  8載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019	2016年 . 最初と最後の頁 106019 . 読の有無 有
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  8載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019	2016年 . 最初と最後の頁 106019
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3.雑誌名 Nuclear Fusion  8載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019	2016年 . 最初と最後の頁 106019 . 読の有無 有
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  看載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2016年 最初と最後の頁 106019 - 読の有無 - 有 - 有 - 1際共著 - 該当する
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  4載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2016年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  看載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2016年 最初と最後の頁 106019 - 読の有無 - 有 - 有 - 1際共著 - 該当する
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  4載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2016年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  8載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 R. Yanai, A. Kuwahata, and M. Inomoto	2016年 最初と最後の頁 106019 - 読の有無 - 有 - 有 - 1際共著 - 該当する 巻 11
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  日載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 R. Yanai, A. Kuwahata, and M. Inomoto  2 . 論文標題	2016年 最初と最後の頁 106019 - 読の有無 有
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 R. Yanai, A. Kuwahata, and M. Inomoto  2 . 論文標題 Characteristics of Magnetic Fluctuations during Magnetic Reconnection in Counter-Helicity	2016年 最初と最後の頁 106019 - 読の有無 - 有 - 有 - 1際共著 - 該当する 巻 11
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 R. Yanai, A. Kuwahata, and M. Inomoto  2 . 論文標題 Characteristics of Magnetic Fluctuations during Magnetic Reconnection in Counter-Helicity Spheromak Merging Experiment	2016年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 R. Yanai, A. Kuwahata, and M. Inomoto  2 . 論文標題 Characteristics of Magnetic Fluctuations during Magnetic Reconnection in Counter-Helicity Spheromak Merging Experiment	2016年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 R. Yanai, A. Kuwahata, and M. Inomoto  2 . 論文標題 Characteristics of Magnetic Fluctuations during Magnetic Reconnection in Counter-Helicity Spheromak Merging Experiment  3 . 雑誌名	2016年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 R. Yanai, A. Kuwahata, and M. Inomoto  2 . 論文標題 Characteristics of Magnetic Fluctuations during Magnetic Reconnection in Counter-Helicity Spheromak Merging Experiment	2016年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 R. Yanai, A. Kuwahata, and M. Inomoto  2 . 論文標題 Characteristics of Magnetic Fluctuations during Magnetic Reconnection in Counter-Helicity Spheromak Merging Experiment  3 . 雑誌名	2016年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  日載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1 . 著者名 R. Yanai, A. Kuwahata, and M. Inomoto  2 . 論文標題 Characteristics of Magnetic Fluctuations during Magnetic Reconnection in Counter-Helicity Spheromak Merging Experiment  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research	2016年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  電載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 R. Yanai, A. Kuwahata, and M. Inomoto  2 . 論文標題 Characteristics of Magnetic Fluctuations during Magnetic Reconnection in Counter-Helicity Spheromak Merging Experiment  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research	2016年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  日載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 R. Yanai, A. Kuwahata, and M. Inomoto  2 . 論文標題 Characteristics of Magnetic Fluctuations during Magnetic Reconnection in Counter-Helicity Spheromak Merging Experiment  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  日本記録	2016年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  日載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1 . 著者名 R. Yanai, A. Kuwahata, and M. Inomoto  2 . 論文標題 Characteristics of Magnetic Fluctuations during Magnetic Reconnection in Counter-Helicity Spheromak Merging Experiment  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research	2016年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  書載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 R. Yanai, A. Kuwahata, and M. Inomoto  2 . 論文標題 Characteristics of Magnetic Fluctuations during Magnetic Reconnection in Counter-Helicity Spheromak Merging Experiment  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  電載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1585/pfr.11.2401069	2016年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST  3 . 雑誌名 Nuclear Fusion  書載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0029-5515/56/10/106019  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 R. Yanai, A. Kuwahata, and M. Inomoto  2 . 論文標題 Characteristics of Magnetic Fluctuations during Magnetic Reconnection in Counter-Helicity Spheromak Merging Experiment  3 . 雑誌名 Plasma and Fusion Research  電載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1585/pfr.11.2401069	2016年

1	
1.著者名	4.巻
T. Ushiki, M. Inomoto, K. Yamasaki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, H. Koguchi, T. Yamada	11
2.論文標題	5.発行年
Generation of Energetic Electrons during Spherical Tokamak Merging in UTST	2016年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Plasma and Fusion Research	2402100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1585/pfr.11.2402100	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4.巻
A. Kuwahata, M. Inomoto, R. Yanai and Y. Ono	11
2.論文標題	5.発行年
Energy Flux due to Electromagnetic Fluctuations during Guide Field Magnetic Reconnection	2016年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Plasma and Fusion Research	1301087
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
10.1585/pfr.11.1301087	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
L. K. Harra, C. J. Schrijver, M. Janvier, S. Toriumi, H. Hudson, S. Matthews, M. H. Woods, H.	291
Hara, M. Guedel, A. Kowalski, R. Osten, K. Kusano, T. Lueftinger	
2 . 論文標題	5.発行年
The Characteristics of Solar X-Class Flares and CMEs: A Paradigm for Stellar Superflares and	2016年
Eruptions?	6 早初と早後の百
3.雑誌名 Solar Physics	6.最初と最後の頁 1761
501a1 11y5165	1701
日井公立のDOI(ごごクリナブご) クし並のフト	木芸の左無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11207-016-0923-0	査読の有無
10.1007/511207-010-0923-0	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
1 . 著者名 R. Kanoh, T. Shimizu, S. Imada	4.巻 831
R. Kanoh, T. Shimizu, S. Imada	831
R. Kanoh, T. Shimizu, S. Imada 2.論文標題	831 5 . 発行年
R. Kanoh, T. Shimizu, S. Imada 2 . 論文標題 Hinode and IRIS observations of the magnetohydrodynamic waves propagating from the photosphere	831 5 . 発行年
R. Kanoh, T. Shimizu, S. Imada  2. 論文標題 Hinode and IRIS observations of the magnetohydrodynamic waves propagating from the photosphere to the chromosphere in a sunspot	831 5.発行年 2016年
R. Kanoh, T. Shimizu, S. Imada  2. 論文標題 Hinode and IRIS observations of the magnetohydrodynamic waves propagating from the photosphere to the chromosphere in a sunspot	831 5 . 発行年
R. Kanoh, T. Shimizu, S. Imada  2 . 論文標題 Hinode and IRIS observations of the magnetohydrodynamic waves propagating from the photosphere to the chromosphere in a sunspot  3 . 雑誌名	831 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
R. Kanoh, T. Shimizu, S. Imada  2 . 論文標題 Hinode and IRIS observations of the magnetohydrodynamic waves propagating from the photosphere to the chromosphere in a sunspot  3 . 雑誌名 Astrophysical Journal	831 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24
R. Kanoh, T. Shimizu, S. Imada  2 . 論文標題 Hinode and IRIS observations of the magnetohydrodynamic waves propagating from the photosphere to the chromosphere in a sunspot  3 . 雑誌名 Astrophysical Journal	831 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
R. Kanoh, T. Shimizu, S. Imada  2. 論文標題 Hinode and IRIS observations of the magnetohydrodynamic waves propagating from the photosphere to the chromosphere in a sunspot  3. 雑誌名 Astrophysical Journal  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3847/0004-637X/831/1/24	831 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24 査読の有無
2. 論文標題 Hinode and IRIS observations of the magnetohydrodynamic waves propagating from the photosphere to the chromosphere in a sunspot  3. 雑誌名 Astrophysical Journal	831 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 24 査読の有無

1.著者名	4.巻
Kuwahata Akihiro、Kaminou Yasuhiro、Yanai Ryoma、Inomoto Michiaki、Ono Yasushi	136
2.論文標題	5 . 発行年
The Profiles of Ion Temperature and Flow in Counter-helicity Plasma Merging	2016年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
IEEJ Transactions on Fundamentals and Materials	212~213
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1541/ieejfms.136.212	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4.巻
Kadowaki Kazutake、Ishida Shunsuke、Ono Yasushi	136
2.論文標題	5 . 発行年
The Novel Reconstruction Method for Laser Interferometer with Local Measurement	2016年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
IEEJ Transactions on Fundamentals and Materials	535~540
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1541/ieejfms.136.535	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4.巻
Y. Ono, H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe , T. Ii, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. Conway, B. Crowley, C. Michael	22
2.論文標題	5 . 発行年
High Power Heating of Magnetic Reconnection in Merging Tokamak Experiments (Invited)	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Physics of Plasmas	55708
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4920944	   査読の有無   有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名 Tanabe H.、Yamada T.、Watanabe T.、Gi K.、Kadowaki K.、Inomoto M.、Imazawa R.、Gryaznevich M.、Michael C.、Crowley B.、Conway N.?J.、Scannell R.、Harrison J.、Fitzgerald I.、Meakins A.、Hawkes N.、McClements K.?G.、O'Gorman T.、Cheng C.?Z.、Ono Y.、The MAST Team	4.巻 115
2.論文標題 Electron and Ion Heating Characteristics during Magnetic Reconnection in the MAST Spherical Tokamak	5 . 発行年 2015年
3.雑誌名 Physical Review Letters	6.最初と最後の頁 215004
掲載論文のD0I(デジタルオブジェクト識別子) 10.1103/PhysRevLett.115.215004	   査読の有無   有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する

1. 著者名 M. Inomoto, T.G. Watanabe, K. Gi, K. Yamasaki, S. Kamio, R. Imazawa, T. Yamada, X. Guo, T. Ushiki, H. Ishikawa, H. Nakamata, N. Kawakami, T. Sugawara, K. Matsuyama, K. Noma, A. Kuwahata and H. Tanabe	4.巻 44
2.論文標題	5 . 発行年
Centre-solenoid-free merging start-up of spherical tokamak plasmas in UTST	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Nuclear Fusion	33013
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1088/0029-5515/55/3/033013	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4.巻
Keii Gi, Yasushi Ono, Makoto Nakamura, Youji Someya, Hiroyasu Utoh, Kenji Tobita, Masayuki Ono	55
2.論文標題	5 . 発行年
Conceptual design of the moderateoderate size superconducting spherical tokamak power plant	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Nuclear Fusion	63036
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1088/0029-5515/55/6/063036	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4.巻
S. Inoue, Y. Ono, H. Tanabe, R. Horiuchi and C. Z. Cheng	55
2.論文標題 Numerical study of energy conversion mechanism of magnetic reconnection in the presence of high guide field	
3.雑誌名 Nuclear Fusion	6.最初と最後の頁 82014
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1088/0029-5515/55/8/083014	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1. 著者名	4.巻
C. Z. Cheng, S. Inoue, Y. Ono, and R. Horiuchi	22
2.論文標題 Physical processes of driven magnetic reconnection in collisionless plasmas: Zero guide field case	5 . 発行年 2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Physics of Plasmas	101205
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1063/1.4932337	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する

Yasushi Ono, Hantao Ji  2 : 龍文標題 Preface to Special Topic: Advances in Magnetic Reconnection Research in Space and Laboratory Plasmas III  3 : 根証券 Physics of Plasmas  日本		
2 . 論文権題 Preface to Special Topic: Advances in Nagnetic Reconnection Research in Space and Laboratory Plasmas III 3 . 結結名 Physics of Plasmas	1.著者名	4 . 巻
2 : 論文標題 Preface to Special Topic: Advances in Magnetic Reconnection Research in Space and Laboratory 2015年 2015年 1918ams 11 3 . 総註名 Physics of Plasmas	Yasushi Ono, Hantao Ji	22
Preface to Special Topic: Advances in Nagnetic Reconnection Research in Space and Laboratory Plasmas IP Plasmas III 3. 終該名 Physics of Plasmas	Laboration of the control of the con	
Preface to Special Topic: Advances in Nagnetic Reconnection Research in Space and Laboratory Plasmas IP Plasmas III 3. 終該名 Physics of Plasmas	2 * 5 + 4 = 1 =	F 38/-/-
Plasmas III		
# 語論文の001 (デジタルオブジェクト機別子)	Preface to Special Topic: Advances in Magnetic Reconnection Research in Space and Laboratory	2015年
Physics of Plasmas	Plasmas III	
Physics of Plasmas	3、雑誌名	6 最初と最後の百
指数数文の001(デジタルオブジェクト識別子)   国際共著		
1. 著名名 Xuehan Guo, Michiaki Inonoto, Takunichi Sugawara, Kotaro Yanasaki, Tomohiko Ushiki, Yasushi Ono 2. 論文課題 Localized electron heating by strong guide-field magnetic reconnection 3. 雑誌名 Physics of Plasmas 6. 最初と最後の頁 101201 四級対象 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 6. 悪初と最後の頁 101201 1. 著名名 K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kanio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Karakami, T. Yamada, M. Inonoto, Y. Ono 2. 論文理題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field recomnection 3. 維護名 Physics of Plasmas 6. 最初と最後の頁 101202 5. 発行年 2015年 22 23 24 高文理題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field recomnection 3. 維護名 カープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 6. 最初と最後の頁 101202 1. 著名名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O' Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Sumers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 1. 著名名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O' Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Sumers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 2. 1. 論文程態 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST 3. 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion 5. 発行年 2015年 6. 最初と最後の頁 95001 5. 発行年 2015年 2015年 6. 最初と最後の頁 95001 6. 最初と最後の頁 95001 6. 最初と最後の頁 95001 6. 最初と最後の頁 95001	Physics of Plasmas	101101
1. 著名名 Xuehan Guo, Michiaki Inonoto, Takunichi Sugawara, Kotaro Yanasaki, Tomohiko Ushiki, Yasushi Ono 2. 論文課題 Localized electron heating by strong guide-field magnetic reconnection 3. 雑誌名 Physics of Plasmas 6. 最初と最後の頁 101201 四級対象 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 6. 悪初と最後の頁 101201 1. 著名名 K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kanio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Karakami, T. Yamada, M. Inonoto, Y. Ono 2. 論文理題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field recomnection 3. 維護名 Physics of Plasmas 6. 最初と最後の頁 101202 5. 発行年 2015年 22 23 24 高文理題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field recomnection 3. 維護名 カープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 6. 最初と最後の頁 101202 1. 著名名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O' Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Sumers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 1. 著名名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O' Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Sumers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 2. 1. 論文程態 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST 3. 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion 5. 発行年 2015年 6. 最初と最後の頁 95001 5. 発行年 2015年 2015年 6. 最初と最後の頁 95001 6. 最初と最後の頁 95001 6. 最初と最後の頁 95001 6. 最初と最後の頁 95001		
1. 著名名 Xuehan Guo, Michiaki Inonoto, Takunichi Sugawara, Kotaro Yanasaki, Tomohiko Ushiki, Yasushi Ono 2. 論文課題 Localized electron heating by strong guide-field magnetic reconnection 3. 雑誌名 Physics of Plasmas 6. 最初と最後の頁 101201 四級対象 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 6. 悪初と最後の頁 101201 1. 著名名 K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kanio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Karakami, T. Yamada, M. Inonoto, Y. Ono 2. 論文理題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field recomnection 3. 維護名 Physics of Plasmas 6. 最初と最後の頁 101202 5. 発行年 2015年 22 23 24 高文理題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field recomnection 3. 維護名 カープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 6. 最初と最後の頁 101202 1. 著名名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O' Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Sumers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 1. 著名名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O' Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Sumers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 2. 1. 論文程態 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST 3. 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion 5. 発行年 2015年 6. 最初と最後の頁 95001 5. 発行年 2015年 2015年 6. 最初と最後の頁 95001 6. 最初と最後の頁 95001 6. 最初と最後の頁 95001 6. 最初と最後の頁 95001		
1. 著名名 Xuehan Guo, Michiaki Inonoto, Takunichi Sugawara, Kotaro Yanasaki, Tomohiko Ushiki, Yasushi Ono 2. 論文課題 Localized electron heating by strong guide-field magnetic reconnection 3. 雑誌名 Physics of Plasmas 6. 最初と最後の頁 101201 四級対象 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 6. 悪初と最後の頁 101201 1. 著名名 K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kanio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Karakami, T. Yamada, M. Inonoto, Y. Ono 2. 論文理題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field recomnection 3. 維護名 Physics of Plasmas 6. 最初と最後の頁 101202 5. 発行年 2015年 22 23 24 高文理題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field recomnection 3. 維護名 カープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 6. 最初と最後の頁 101202 1. 著名名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O' Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Sumers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 1. 著名名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O' Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Sumers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 2. 1. 論文程態 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST 3. 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion 5. 発行年 2015年 6. 最初と最後の頁 95001 5. 発行年 2015年 2015年 6. 最初と最後の頁 95001 6. 最初と最後の頁 95001 6. 最初と最後の頁 95001 6. 最初と最後の頁 95001	「掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
コープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 著名名 Xuehan Guo, Michiaki Inomoto, Takumichi Sugawara, Kotaro Yamasaki, Tomohiko Ushiki, Yasushi Ono 2 論文標題 Local izad electron heating by strong guide-field magnetic reconnection  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas  6 . 最初と最後の頁 101201    一方ンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著名名 K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyana, N. Kawakani, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono 2 . 論文標證 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  1 . 著名名 Physics of Plasmas  6 . 最初と最後の頁 101202  1 . 経路名 Physics of Plasmas  6 . 最初と最後の頁 101202  1 . 経路名 Physics of Plasmas  6 . 最初と最後の頁 101202  1 . 経路名 Physics of Plasmas  6 . 最初と最後の頁 101202  1 . 著名名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O' Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MSST team  1 . 著名名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O' Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MSST team  1 . 新文語 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST  3 . 雑誌名 Physics and Controlled Fusion  8 . 蘇和と最後の頁 101088/07041-3335/57/9/095001		右
3 - オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   接当する	10.1003/1.4332343	F
3 - オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   接当する		<b>同咖井</b> 茶
1 ・ 著名名		
Xuehan Guo, Michiaki Inomoto, Takumichi Sugawara, Kotaro Yanasaki, Tomohiko Ushiki, Yasushi Ono   22   . 論文標題	オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難	該当する
Xuehan Guo, Michiaki Inomoto, Takumichi Sugawara, Kotaro Yanasaki, Tomohiko Ushiki, Yasushi Ono   22   . 論文標題		
Xuehan Guo, Michiaki Inomoto, Takumichi Sugawara, Kotaro Yanasaki, Tomohiko Ushiki, Yasushi Ono   22   . 論文標題	1 苯字夕	/
2 . 論文標題 Localized electron heating by strong guide-field magnetic reconnection  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas  6 . 最初と最後の頁 101201  掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932339  7 オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 K. Yanasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono 2 . 論文才題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection 3 . 雑誌名 Physics of Plasmas  6 . 最初と最後の頁 101202  5 . 発行年 2015年  7 . 景行年 2015年  1 . 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 2 . 論文様題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST 2 . 論文様題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST 3 . 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  8 最初の有無 6 . 最初と最後の頁 95001  1 表初の有無 7 . 2 . 記文様題 1 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 .	—	_
Localized electron heating by strong guide-field magnetic reconnection 2015年  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas 6 . 最初と最後の頁 101201  掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 7	Xuehan Guo, Michiaki Inomoto, lakumichi Sugawara, Kotaro Yamasaki, lomohiko Ushiki, Yasushi Uno	22
Localized electron heating by strong guide-field magnetic reconnection 2015年  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas 6 . 最初と最後の頁 101201  掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 7		
Localized electron heating by strong guide-field magnetic reconnection 2015年  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas 6 . 最初と最後の頁 101201  掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 7	2 . 論文標題	5 . 発行年
3 ・雑誌名 Physics of Plasmas  6 ・ 最初と最後の頁 101201  提覧論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932339  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 ・著者名 K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono 2 ・論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection 3 ・雑誌名 Physics of Plasmas  6 ・最初と最後の頁 101202  提載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345  オープンアクセス  国際共著  1 ・著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 2 ・論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST  3 ・雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  超談ののDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001  東京の有無 有 オープンアクセス  国際共著		
日報論文のDDI(デジタルオブジェクト識別子)	Localized electron heating by Strong guide-frend magnetic reconnection	2010 <del>11</del>
日報論文のDDI(デジタルオブジェクト識別子)		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 直読の有無 有	3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 直読の有無 有	Physics of Plasmas	101201
10.1063/1.4932339 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono 2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection 3. 雑誌名 Physics of Plasmas  6. 最初と最後の頁 101202  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1063/1.4932345  7ープンアクセス  1.著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 2. 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST 3. 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  看読の有無 10.1088/0741-3335/57/9/095001  素素論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001	)	
10.1063/1.4932339 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono 2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection 3. 雑誌名 Physics of Plasmas  6. 最初と最後の頁 101202  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1063/1.4932345  7ープンアクセス  1.著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 2. 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST 3. 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  看読の有無 10.1088/0741-3335/57/9/095001  素素論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001		
10.1063/1.4932339 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono 2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection 3. 雑誌名 Physics of Plasmas  6. 最初と最後の頁 101202  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1063/1.4932345  7ープンアクセス  1.著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 2. 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST 3. 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  看読の有無 10.1088/0741-3335/57/9/095001  素素論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001	日本公立の1011/2011 ナブジーター 幼田リフト	本誌の左仰
オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 - 1 著者名 K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono 2. imacy 標題 5. 発行年 2015年 reconnection 3. 雑誌名 Physics of Plasmas 6. 最初と最後の頁 101202		<b></b>
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -  1. 著者名 K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono 2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection 3. 雑誌名 Physics of Plasmas 6. 最初と最後の頁 101202  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1063/1.4932345 7ープンアクセス 1. 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 2. 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST 3. 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001 2 国際共著	10.1063/1.4932339	有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -  1. 著者名 K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono 2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection 3. 雑誌名 Physics of Plasmas 6. 最初と最後の頁 101202  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1063/1.4932345 7ープンアクセス 1. 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 2. 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST 3. 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001 2 国際共著		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -  1. 著者名 K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono 2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection 3. 雑誌名 Physics of Plasmas 6. 最初と最後の頁 101202  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1063/1.4932345 7ープンアクセス 1. 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 2. 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST 3. 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001 2 国際共著	オープンアクセス	国際共著
1.著者名 K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono 2.論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection 3.雑誌名 Physics of Plasmas  「表者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 2.論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST  「表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表		
K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2		
K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2		
Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection5. 発行年 2015年3. 雑誌名 Physics of Plasmas6. 最初と最後の頁 101202掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345査読の有無 有オープンアクセス *** オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難国際共著1. 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team4. 巻 572. 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST5. 発行年 2015年3. 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion6. 最初と最後の頁 95001掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001査読の有無 有オープンアクセス国際共著	1.著者名	4 . 巻
2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection 3. 雑誌名 Physics of Plasmas 6. 最初と最後の頁 101202  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有  1. 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 2. 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST 3. 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  「表現の方法」の表現の方式を表現しています。 「表現の方式を表現しています。」の表現を表現しています。 「表現の方式を表現しています。」の表現を表現しています。 「表現と最後の頁の表現の方式を表現しています。」の表現を表現しています。 「表現と最後の頁の表現の方式を表現しています。」の表現を表現しています。 「表現と最後の頁の表現の方式を表現しています。」を表現しています。 「表現と最後の頁の表現の方式を表現しています。」を表現しています。 「表現と最後の頁の表現の方式を表現しています。」を表現しています。 「表現と最後の頁の表現の方式を表現しています。」を表現しています。 「表現と最後の頁の表現の方式を表現しています。」を表現しています。 「表現と最後の頁の方式を表現しています。」を表現しています。 「表現と最後の頁の方式を表現しています。」を表現しています。 「表現と最後の頁の方式を表現しています。」を表現しています。 「表現と最後の頁の方式を表現しています。」を表現しています。 「表現と最後の頁の方式を表現しています。」を表現しています。 「表現しています。」を表現しています。 「またます。」を表現しています。 「表現しています。」を表現しています。 「表現しています。」を表現しています。 「またます。」を表現しています。 「表現しています。」を表現しています。 「またます。」を表現しています。 「またます。」を表現しています。 「またまする。」を表現しています。 「またます。」を表現しています。 「またまする。」を表現しています。 「またまする。」を表現しています。 「またまする。」を表現しています。 「またまする。」を表現しています。 「またまする。		
Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3 . 雑誌名	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N.	
reconnection 3 . 雑誌名 Physics of Plasmas 6 . 最初と最後の頁 101202  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono	22
reconnection  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas 6 . 最初と最後の頁 101202  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono	22
3 . 雑誌名 Physics of Plasmas 6 . 最初と最後の頁 101202  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 .1063/1 .4932345  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -  1 . 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 2 . 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST 3 . 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  毎 . 最初と最後の頁 95001  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 .1088/0741-3335/57/9/095001  査読の有無 有 オープンアクセス  国際共著	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono 2.論文標題	5 . 発行年
Physics of Plasmas 101202  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono 2.論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field	5 . 発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team  2.論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST  3.雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001  査読の有無 有  オープンアクセス  国際共著	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection	22 5.発行年 2015年
10.1063/1.4932345 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 2 . 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST 2015年 3 . 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion 6 . 最初と最後の頁 95001 「デジタルオプジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001 有 10.1088/0741-3335/57/9/095001 国際共著	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3. 雑誌名	22 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
10.1063/1.4932345 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 2 . 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST 2015年 3 . 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion 6 . 最初と最後の頁 95001 「デジタルオプジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001 有 10.1088/0741-3335/57/9/095001 国際共著	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3. 雑誌名	22 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
10.1063/1.4932345 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 2 . 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST 2015年 3 . 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion 6 . 最初と最後の頁 95001 「デジタルオプジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001 有 10.1088/0741-3335/57/9/095001 国際共著	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3. 雑誌名	22 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
10.1063/1.4932345 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team 2 . 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST 2015年 3 . 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion 6 . 最初と最後の頁 95001 「デジタルオプジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001 有 10.1088/0741-3335/57/9/095001 国際共著	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3. 雑誌名	22 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス a	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2 . 論文標題    Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3 . 雑誌名    Physics of Plasmas	22 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 101202
1 . 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team  2 . 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST  3 . 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  お表現の方式を表現します。 「おおりと最後の頁の方式を表現します。」 「おおりと最後の頁の方式を表現します。」 「おおりと最後の頁の方式を表現します。」 「おおりには、アンドン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3. 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	22 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 101202 査読の有無
1 . 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team  2 . 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST  3 . 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  お表現の方式を表現します。 「おおりと最後の頁の方式を表現します。」 「おおりと最後の頁の方式を表現します。」 「おおりと最後の頁の方式を表現します。」 「おおりには、アンドン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2 . 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	22 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 101202 査読の有無
1 . 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team  2 . 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST  3 . 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001  直読の有無 オープンアクセス  国際共著	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3. 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345	22 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 101202 査読の有無 有
1 . 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team  2 . 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST  3 . 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001  直読の有無 オープンアクセス  国際共著	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3. 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345	22 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 101202 査読の有無 有
S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team  2. 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST  3. 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  4 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001  第 本一プンアクセス  5 発行年 2015年  6 . 最初と最後の頁 95001	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3. 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345	22 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 101202 査読の有無 有
S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team  2. 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST  3. 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  4 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001  第 本一プンアクセス  5 発行年 2015年  6 . 最初と最後の頁 95001	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2 . 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345	22 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 101202 査読の有無 有
H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team  2. 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST  3. 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001  本プンアクセス  国際共著	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2 . 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	22 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 101202 査読の有無 有 国際共著
2.論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST5.発行年 2015年3.雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion6.最初と最後の頁 95001掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001査読の有無 有オープンアクセス国際共著	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2 . 論文標題   Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3 . 雑誌名   Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   10.1063/1.4932345  オープンアクセス   オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	22 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 101202 査読の有無 有 国際共著 -
2.論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST5.発行年 2015年3.雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion6.最初と最後の頁 95001掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001査読の有無 有オープンアクセス国際共著	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2 . 論文標題   Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3 . 雑誌名   Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   10.1063/1.4932345  オープンアクセス   オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名   S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach,	22 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 101202 査読の有無 有 国際共著 -
Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST 2015年  3.雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001  有  オープンアクセス  国際共著	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2 . 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach,	22 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 101202 査読の有無 有 国際共著 -
3 . 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001  本プンアクセス  「国際共著	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2 . 論文標題   Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3 . 雑誌名   Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   10.1063/1.4932345  オープンアクセス   オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名   S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team	22 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 101202 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 57
Plasma Physics and Controlled Fusion       95001         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1088/0741-3335/57/9/095001       有         オープンアクセス       国際共著	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3. 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1063/1.4932345  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team  2. 論文標題	22 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 101202 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 57
Plasma Physics and Controlled Fusion       95001         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1088/0741-3335/57/9/095001       有         オープンアクセス       国際共著	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3. 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1063/1.4932345  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team  2. 論文標題	22 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 101202 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 57
Plasma Physics and Controlled Fusion       95001         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1088/0741-3335/57/9/095001       有         オープンアクセス       国際共著	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2 . 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team  2 . 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST	22 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 101202 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 57 5.発行年 2015年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2 . 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team  2 . 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST	22 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 101202 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 57 5.発行年 2015年
10.1088/0741-3335/57/9/095001有オープンアクセス国際共著	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3. 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team  2. 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST	22 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 101202 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 57 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁
10.1088/0741-3335/57/9/095001有オープンアクセス国際共著	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2 . 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3 . 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team  2 . 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST	22 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 101202 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 57 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁
10.1088/0741-3335/57/9/095001有オープンアクセス国際共著	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3. 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team  2. 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST	22 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 101202 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 57 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3. 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team  2. 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST  3. 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion	22 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 101202 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 57 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 95001
	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3. 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team  2. 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST  3. 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion	22 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 101202 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 57 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 95001
	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3. 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team  2. 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST  3. 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion	22 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 101202 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 57 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 95001
	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3. 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team  2. 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST  3. 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion	22 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 101202 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 57 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 95001
カーノファクヒスではない、Xはカーノファクヒ人が凶難   談当9 o	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3. 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team  2. 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST  3. 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001	22 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 101202 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 57 5 . 発行年 2015年 6 . 最初と最後の頁 95001 査読の有無 有
	K. Yamasaki, S. Inoue, S. Kamio, TG. Watanabe, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, T. Yamada, M. Inomoto, Y. Ono  2. 論文標題 Laboratory study of diffusion region with electron energization during high guide field reconnection  3. 雑誌名 Physics of Plasmas  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1063/1.4932345  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 S. S. Henderson, L. Garzotti, F. J. Casson, D. Dickinson, M. O'Mullane, A. Patel, C. M. Roach, H. P. Summers, H. Tanabe, M. Valovi and the MAST team  2. 論文標題 Charge dependence of neoclassical and turbulent transport of light impurities on MAST  3. 雑誌名 Plasma Physics and Controlled Fusion  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/0741-3335/57/9/095001	22 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 101202 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 57 5.発行年 2015年 6.最初と最後の頁 95001 査読の有無 有

	1 . w
1 . 著者名 I.T. Chapman, J. Adamek, R.J. Akers, S. Allan , T. O'Gorman, Y. Ono H. Oliver, S. Pamela, J. Storrs, Y. Takase, H. Tanabe, H. Tanaka, D. Taylor, T. Yamada, S. Zoletnik and MAST and MAST	4 . 巻 55
Upgrade Teams,	
2.論文標題	5.発行年
Overview of MAST results	2015年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Nuclear Fusion	104008
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
10.1088/0029-5515/55/10/104008	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名 X. Guo, M. Inomoto, T. Sugawara, T. G. Watanabe, K. Yamasaki, T. Ushiki, Y. Ono	4.巻 10
2 . 論文標題 Two-Dimensional Electron Temperature and Density Measurement during Strong Guide-Field	5 . 発行年 2015年
Reconnection by using Slide-Type Thomson Scattering System	
3.雑誌名 Plasma and Fusion Research	6.最初と最後の頁 3402017
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1585/pfr.10.3402017	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4 . 巻
西田賢人,桑波田晃弘,斎藤航哉,小野靖	135A
2.論文標題	5 . 発行年
外部平衡磁場分布を用いた電流シート内のプラズモイド生成実験	2015年
3.雑誌名 - 気学会論文誌 A	6.最初と最後の頁 498,499
以子云謂又祕 ^	490, 499
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u>   査読の有無
10.1541/ieejfms.135.498	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
桑波田晃弘,神納康宏,矢内亮馬,井通暁,小野靖	136
2 . 論文標題	5 . 発行年
異極性プラズマ合体におけるイオン温度とイオンフロー	2016年
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
電気学会論文誌 A	212. 213
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
司車Xmm文のDOT(ナンタルオングエット・auxのリー) 10.1541/ieejfms.136.21	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1. 著者名 T. Varrada, H. Tanaha, T. C. Watanaha, V. Hayaahi, P. Imazawa, M. Inamata, V. One, M.	4.巻 56
T. Yamada, H. Tanabe, T.G. Watanabe, Y. Hayashi, R. Imazawa, M. Inomoto, Y. Ono, M. Gryaznevich, R. Scannell, C. Michael and The MAST Team	30
2.論文標題	5.発行年
Localized electron heating during magnetic reconnection in MAST	2016年
	6.最初と最後の頁
Nuclear Fusion	106019
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u> </u>
10.1088/0029-5515/56/10/106019	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
	4 44
1.著者名 H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, M. Inomoto, R. Imazawa, M. Gryaznevich, R. Scannell,	4.巻   57
N. Conway, C. Michael, B. Crowley, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. McClements, J. Harrison, T. O'Gorman, C. Z. Cheng, Y. Ono	31
2 . 論文標題	5 . 発行年
Investigation of Merging/reconnection Heating during Solenoid-free Startup of Plasmas in the MAST Spherical Tokamak	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Nuclear Fusion	56037
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	│ │ 査読の有無
均載im 又のDOT ( デンタルオフシェクト i	直硫の有無   有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
H. Tanabe, T. Yamada, T. Watanabe, K. Gi, K. Kadowaki, M. Inomoto, R. Imazawa, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, B. Crowley, K. G. McClements, I. Fitzgerald, C. Michael, J. Harrison, A. Meakins, N. Hawkes, T. O'Gorman, C. Z. Cheng, Y. Ono, and the MAST Team	11
2.論文標題	5.発行年
Application of Tomographic Ion Doppler Spectroscopy to Merging Plasma Startup in the MAST Spherical Tokamak	2016年
3.雑誌名	 6.最初と最後の頁
Plasma and Fusion Research	1302093
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1585/pfr.11.1302093	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1. 著者名	4 . 巻
Y. Ono, T. Yamada, S. Inoue, M. Inomoto, C. Z. Cheng, M. Gryaznavich, R. Scannell, N. J.	1
Conway, B. Crowley, C. Michael, H. Hara, S. Usami and R. Horiuchi 2.論文標題	5.発行年
Reconnection Heating Experiments and Simulations for Torus Plasma Merging Startup	2016年
	İ
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Fusion Energy 2016	6.最初と最後の頁 EX/P3-38 (8pp)
Fusion Energy 2016	EX/P3-38 (8pp)
Fusion Energy 2016 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	EX/P3-38 (8pp) 査読の有無
Fusion Energy 2016 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	EX/P3-38 (8pp) 査読の有無 有
Fusion Energy 2016 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	EX/P3-38 (8pp) 査読の有無

1 . 著者名 H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, T. Watanabe, K. Kadowaki, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G. McClements, T. O'Gorman, C. Z. Cheng and the MAST team	4.巻
2.論文標題	5.発行年
Investigation of Merging/reconnection Heating during Solenoid-free Startup of Plasmas in the MAST Spherical Tokamak	2016年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Fusion Energy 2016	EX/P4-32 (8pp)
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する

## 〔学会発表〕 計214件(うち招待講演 107件/うち国際学会 157件)

## 1.発表者名

Y. Ono, H. Tanabe, C. Z. Chemg, H. Hara, R. Horiuchi, S. Usami

# 2 . 発表標題

Interdisciplinary Study of Reconnection Heating for Space and Laboratory Plasmas (Invited)

## 3 . 学会等名

4th Asia-Pacific Conference on Plasma Physics (招待講演) (国際学会)

#### 4.発表年

2020年

## 1.発表者名

M. Inomoto, T. Mihara, K. Kondo, K. Kusano, T. Tanabe, Y. Ono, S. Kamio

## 2 . 発表標題

Role of parallel electron current channel in high guide field magnetic reconnection (Invited)

## 3 . 学会等名

4th Asia-Pacific Conference on Plasma Physics (招待講演) (国際学会)

# 4 . 発表年

2020年

## 1.発表者名

C. Z. Cheng, S. Inoue, Y. Ono, H. Tanabe, R. Hiriuchi, S. Usami

## 2 . 発表標題

Highlights of magnetic reconnection physics (Invited)

# 3 . 学会等名

4th Asia-Pacific Conference on Plasma Physics (招待講演) (国際学会)

## 4 . 発表年

2020年

-	77 1 1 1
1	举夫老么

Ritoku Horiuchi, Shunsuke Usami, Toseo Moritaka, and Yasushi Ono

## 2 . 発表標題

Energy Partition and Temperature Anisotropy in Merging Processes (Invited)

#### 3.学会等名

4th Asia-Pacific Conference on Plasma Physics (招待講演)

## 4.発表年

2020年

## 1.発表者名

Hiroshi Tanabe, Qinghong Cao, Haruaki Tanaka, Tara Ahmadi, Moe Akimitsu, Ryo Someya, Mikhail Gryaznevich, Chio-Zong Cheng, Michiaki Inomoto and Yasushi Ono

## 2 . 発表標題

Global/micro-scale fine structure formation process of magnetic reconnection in high field plasma merging experiments (Invited)

#### 3. 学会等名

4th Asia-Pacific Conference on Plasma Physics (招待講演) (国際学会)

## 4 . 発表年

2020年

#### 1.発表者名

Mikhail Gryaznevich, Tokamak Energy Ltd and The University of Tokyo teams

#### 2 . 発表標題

Magnetic reconnection studies in High Field Spherical Tokamak (Invited)

#### 3.学会等名

4th Asia-Pacific Conference on Plasma Physics(招待講演)(国際学会)

## 4.発表年

2020年

## 1.発表者名

Shunsuke Usami, Ritoku Horiuchi, Hiroaki Ohtani

#### 2 . 発表標題

Non-Maxwellian Velocity Distribution Formed by Pick-Up-Like Behaviors of Protons during Magnetic Reconnection (Invited)

## 3.学会等名

4th Asia-Pacific Conference on Plasma Physics (招待講演)

## 4 . 発表年

2020年

1.発表者名 R. Someya, H. Tanaka, Q. Cao, Y. Cai, H. Tanabe, Y. Ono
2. 発表標題 Development of 1D ion flow vector measurement by use of Doppler probe array with two pairs of view-lines
3.学会等名 4th Asia-Pacific Conference on Plasma Physics(国際学会)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 Tara Ahmadi, Yasushi Ono
2. 発表標題 Development of 2D MHD simulation of the double null spherical tokamak formation in ST40 device
3.学会等名 4th Asia-Pacific Conference on Plasma Physics(国際学会)
4. 発表年 2020年
1. 発表者名 Moe Akimitsu, Qinghong Cao, Yunhan Cai, Keisuke Miki, Haruka Yamaguchi, Shun, Kamiya, Ryo Someya, Haruaki Tanaka, Yasushi Ono
2.発表標題 Plasmoid Formation and Ejection in TS-3U Merging Tokamaks Experiment
3.学会等名 4th Asia-Pacific Conference on Plasma Physics(国際学会)
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 Junguang Xiang, Shinjiro Takeda, Yunhan Cai, Qinghong Cao, Hiroshi Tanabe, Yasushi Ono
2 . 発表標題 Development of X-ray tomography diagnostic for TS-6 Tokamak Merging Experiment

3 . 学会等名

4 . 発表年 2020年

4th Asia-Pacific Conference on Plasma Physics(国際学会)

1	双丰业夕	
	<b>平大石石</b>	

Yasushi ONO, Hiroshi Tanabe, Shunsuke Usami, Rutoku Horiuchi, Chio-Zong Cheng

# 2 . 発表標題

Reconnection startup and heating scenario for burning spherical tokamak plasmas (Invited)

#### 3 . 学会等名

The 29th International Toki Conference on Plasma and Fusion Research (招待講演) (国際学会)

## 4.発表年

2020年

## 1.発表者名

H. Tanaka, H. Tanabe, O. Cao, Y. Ono

## 2 . 発表標題

Multiple Ion Heating In Early Reconnection Phase Induced By Plasmoid Production

#### 3. 学会等名

The 29th International Toki Conference on Plasma and Fusion Research (国際学会)

## 4.発表年

2020年

#### 1.発表者名

H. Tanabe, M. Gryaznevich, Q. Cao, H. Tanaka, T. Ahmadi, M. Akimitsu, Y. Cai, R. Someya, C. Z. Cheng, M. Inomoto and Y. Ono

#### 2 . 発表標題

Exploration of high field reconnection heating in merging spherical tokamak formation experiments

#### 3.学会等名

62th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (国際学会)

## 4.発表年

2020年

## 1.発表者名

田辺博士,曹慶紅,秋光萌,田中遥暁,Tara Ahmadi,染谷諒,蔡雲漢,Mikhail Gryaznevich,Vladimir Shevchenko,Chio-Zong Cheng,井通暁,小野靖

#### 2 . 発表標題

ST40・TS-6における高磁場リコネクション加熱を応用した CS-free球状トカマク急速立ち上げシナリオの開拓

## 3 . 学会等名

第37回プラズマ・核融合学会年会

# 4 . 発表年

2020年

1. 発表者名 H. Tanabe, Q. Cao, H. Tanaka, M. Akimitsu, T. Ahmadi, R. Someya, M. Inomoto and Y. Ono  2. 発表標題 Experimental study of energy conversion/transport process during magnetic reconnection in flux tube merging experiments  3. 学会等名 AGU Fall meeting 2020 (国際学会)  4. 発表者名 小野靖  2. 発表標題 リコネクション加熱研究の成果と実験・観測・シミュレーション連携  3. 学会等名 第28回ひので・実験室研究会  4. 発表年 2020年  1. 発表者名 場内利得  2. 発表標題 PIC simulation study of guide-field dependence of ST merging process  3. 学会等名 第28回ひので・実験室研究会
Experimental study of energy conversion/transport process during magnetic reconnection in flux tube merging experiments  3. 学会等名 AGU Fall meeting 2020 (国際学会)  4. 発表年 2020年  1. 発表者名 小野靖  2. 発表標題 リコネクション加熱研究の成果と実験・観測・シミュレーション連携  3. 学会等名 第28回ひので・実験室研究会  4. 発表年 2020年  1. 発表者名 堀内利得  2. 発表標題 PIC simulation study of guide-field dependence of ST merging process  3. 学会等名
Experimental study of energy conversion/transport process during magnetic reconnection in flux tube merging experiments  3. 学会等名 AGU Fall meeting 2020 (国際学会)  4. 発表年 2020年  1. 発表者名 小野靖  2. 発表標題 リコネクション加熱研究の成果と実験・観測・シミュレーション連携  3. 学会等名 第28回ひので・実験室研究会  4. 発表年 2020年  1. 発表者名 堀内利得  2. 発表標題 PIC simulation study of guide-field dependence of ST merging process  3. 学会等名
4. 発表年 2020年  1. 発表者名 小野靖  2. 発表標題 リコネクション加熱研究の成果と実験・観測・シミュレーション連携  3. 学会等名 第28回ひので・実験室研究会  4. 発表年 2020年  1. 発表者名 堀内利得  1. 発表者名 堀内利得  2. 発表標題 PIC simulation study of guide-field dependence of ST merging process
2020年         1. 発表者名 小野靖         2. 発表標題 リコネクション加熱研究の成果と実験・観測・シミュレーション連携         3. 学会等名 第28回ひので・実験室研究会         4. 発表年 2020年         1. 発表者名 堀内利得         2. 発表標題 PIC simulation study of guide-field dependence of ST merging process         3. 学会等名
<ul> <li>小野靖</li> <li>2 . 発表標題</li></ul>
<ul> <li>小野靖</li> <li>2 . 発表標題</li></ul>
リコネクション加熱研究の成果と実験・観測・シミュレーション連携  3 . 学会等名 第28回ひので・実験室研究会  4 . 発表年 2020年  1 . 発表者名 堀内利得  2 . 発表標題 PIC simulation study of guide-field dependence of ST merging process  3 . 学会等名
リコネクション加熱研究の成果と実験・観測・シミュレーション連携  3 . 学会等名 第28回ひので・実験室研究会  4 . 発表年 2020年  1 . 発表者名 堀内利得  2 . 発表標題 PIC simulation study of guide-field dependence of ST merging process  3 . 学会等名
第28回ひので・実験室研究会  4 . 発表年 2020年  1 . 発表者名 堀内利得  2 . 発表標題 PIC simulation study of guide-field dependence of ST merging process  3 . 学会等名
1.発表者名 堀内利得  2.発表標題 PIC simulation study of guide-field dependence of ST merging process  3.学会等名
堀内利得  2 . 発表標題 PIC simulation study of guide-field dependence of ST merging process  3 . 学会等名
堀内利得  2 . 発表標題 PIC simulation study of guide-field dependence of ST merging process  3 . 学会等名
PIC simulation study of guide-field dependence of ST merging process 3 . 学会等名
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 原弘久
2 . 発表標題 Thermal structures and plasma motions in plasma sheet of eruptive solar flares
3 . 学会等名 第28回ひので・実験室研究会
4 . 発表年 2020年

1.発表者名 四次接去
田辺博士
2.発表標題
高磁場合体・リコネクション加熱実験における大域的構造形成
3.学会等名
第28回ひので・実験室研究会
4.発表年
2020年
1.発表者名
,
2.発表標題
太陽観測の現状と今後何を目指すか?
3.学会等名 第28回ひので・実験室研究会
4.発表年
2020年
1.発表者名
C. Z. Cheng
2. 発表標題
Plasma heating and current sheet structure in driven magnetic reconnection
第28回ひので・実験室研究会
4 . 発表年 2020年
1.発表者名
宇佐見俊介
2.発表標題
2 : 元代保護 粒子シミュレーションによる磁気リコネクション加熱機構研究の進展
3 . 学会等名
第28回ひので・実験室研究会
4.発表年
2020年

1. 発表者名
,并通 <del>院</del> ,
2 . 発表標題
された。 高ガイド磁場リコネクション実験における面内電場抑制による下流域粒子加速の可能性
3.学会等名
第28回ひので・実験室研究会
4 . 発表年
2020年
井 通暁、三原卓巳、近藤恭平、草野一、金子健一郎、篠原淳志、前田陽平、田辺博士、小野靖、河森栄一郎
2.発表標題
高ガイド磁場下でのリコネクションにおける沿磁力線電子加速
3.学会等名
第37回プラズマ・核融合学会年会
4.発表年
2020年
1.発表者名 
草野一,井通暁,三原卓巳,近藤恭平,金子拓,小野靖
2.発表標題
高ガイド磁場リコネクションにおける面内電場発生機構の実験的検証
3.学会等名
第37回プラズマ・核融合学会年会
4 . 発表年
2020年
1.発表者名
小野靖
2 . 発表標題 共同討論:リコネクション加熱,非熱的粒子加速,プラズモイド物理,波動現象,巨視的磁力管緩和,弱電離リコネクション
六円gg gm ・フコかフフコフ川森(,4F級gg fu 」川丞,フフヘモ1 「彻垤,灰野坑豕,已悦时燃刀目版州,羽电離リコ <b>个</b> ソンヨフ
3.学会等名
第27回ひので・実験室研究会
4.発表年
4. 光表中 2020年

	1.発表者名
3 . 学会等名 第27回ひので、実験室研究会 4 . 発表権程 2020年 1 . 発表権超	
UTSTリコネクション実験  3 . 学会等名 第27回ひので・実験窓研究会  4 . 発表権程 2020年  1 . 発表権超 清水敬文  2 . 発表機超 太陽外層プラズマ大気での磁気リコネクション: エネルギー注入の観測  3 . 学会等名 第27回ひので・実験窓研究会  4 . 発表者名 川手服子、清水敬文  2 . 発表機器 ひのでもISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUVSTで目指す陽子温度診断  3 . 学会等名 第27回ひので・実験窓研究会  4 . 発表年 2020年  1 . 発表者名 長台川隆祥、清水敬文  2 . 発表機器 太陽フレアと光球磁場発展  3 . 学会等名 第27回ひので・実験窓研究会  4 . 発表権超 太陽フレアと光球磁場発展  3 . 学会等名 第27回ひので・実験窓研究会  4 . 発表機関	
3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会      4 . 発表権程 2020年      1 . 発表者名 清水教文      2 . 発表機題     3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会      4 . 発表者名 第27回ひので・実験室研究会      4 . 発表者名 川手服子、清水教文      2 . 発表機器     ひのでもISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEU/STで目指す陽子温度診断      3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会      4 . 発表者名 日 . 発表者	
3 . 学会等名 第27回じので・実験室研究会 4 . 発表者名 清水敬文  1 . 発表者名 清水敬文  3 . 学会等名 第27回じので・実験室研究会 4 . 発表者名 川手朋子、清水敬文  2 . 発表構題 ひのでEISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUSTで目指す陽子温度診断  3 . 学会等名 第27回じので・実験室研究会 4 . 発表構題 しのでEISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUSTで目指す陽子温度診断  1 . 発表者名 長谷川達祥、清水敬文  2 . 発表構題 大橋フロじので・実験室研究会 4 . 発表構題 大橋フレアと光球磁場発展  3 . 学会等名 第27回じので・実験室研究会 4 . 発表構題 大橋フレアと光球磁場発展	
第27回ひので・実験室研究会  4. 発表年 2020年  1. 発表者名 清水飲文  2. 発表標題 太陽外層プラズマ大気での磁気リコネクション: エネルギー注入の観測  3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4. 聚表年 2020年  1. 発表者名 川手朋子,清水敬文  2. 発表標題 ひのでEISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUVSTで目指す陽子温度診断  3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4. 発表者名 長谷川隆祥,清水敬文  2. 発表構題 太陽フレアと光球磁場発展  3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4. 発表者名 長谷川隆祥,清水敬文  2. 発表標題 太陽フレアと光球磁場発展  3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4. 発表表	UTSTリコネクション実験
第27回ひので・実験室研究会  4. 発表年 2020年  1. 発表者名 清水飲文  2. 発表標題 太陽外層プラズマ大気での磁気リコネクション: エネルギー注人の観測  3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4. 聚表年 2020年  1. 発表者名 川手朋子,清水飲文  2. 発表標題 ひのでEISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUVSTで目指す陽子温度診断  3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4. 発表者名 長谷川隆祥,清水散文  2. 発表構題 太陽フレアと光球磁場発展  3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4. 発表者名 長谷川隆祥,清水散文  3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4. 発表者名 長谷川隆祥,清水散文	
第27回ひので・実験室研究会  4. 発表年 2020年  1. 発表者名 清水飲文  2. 発表標題 太陽外層プラズマ大気での磁気リコネクション: エネルギー注人の観測  3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4. 聚表年 2020年  1. 発表者名 川手朋子,清水飲文  2. 発表標題 ひのでEISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUVSTで目指す陽子温度診断  3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4. 発表者名 長谷川隆祥,清水散文  2. 発表構題 太陽フレアと光球磁場発展  3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4. 発表者名 長谷川隆祥,清水散文  3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4. 発表者名 長谷川隆祥,清水散文	- WARE
4. 発表者名	
1. 発表者名   清水敬文	
清水敏文  2 . 発表標題 太陽外層プラズマ大気での磁気リコネクション: エネルギー注入の観測  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表者名 川手朋子、清水敏文  2 . 発表標題 ひのでEISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUVSTで目指す陽子温度診断  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年 2020年  1 . 発表者名 長谷川隆祥、清水敏文  2 . 発表標題 太陽フレアと光球磁場発展  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年  4 . 発表年  1 . 発表者名 長谷川隆祥、清水敏文	
清水敏文  2 . 発表標題 太陽外層プラズマ大気での磁気リコネクション: エネルギー注入の観測  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表者名 川手朋子、清水敏文  2 . 発表標題 ひのでEISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUVSTで目指す陽子温度診断  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年 2020年  1 . 発表者名 長谷川隆祥、清水敏文  2 . 発表標題 太陽フレアと光球磁場発展  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年  4 . 発表年  1 . 発表者名 長谷川隆祥、清水敏文	1.発表者名
太陽外層プラズマ大気での磁気リコネクション: エネルギー注入の観測  3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4. 発表性 2020年  1. 飛表者名 川手朋子,清水敬文  2. 発表標題 ひのでEISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUVSTで目指す陽子温度診断  3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4. 発表者名 長谷川隆祥,清水敬文  2. 発表標題 太陽プレアと光球磁場発展  3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4. 発表標題	
太陽外層プラズマ大気での磁気リコネクション: エネルギー注入の観測  3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4. 発表性 2020年  1. 飛表者名 川手朋子,清水敬文  2. 発表標題 ひのでEISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUVSTで目指す陽子温度診断  3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4. 発表者名 長谷川隆祥,清水敬文  2. 発表標題 太陽プレアと光球磁場発展  3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4. 発表標題	
太陽外層プラズマ大気での磁気リコネクション: エネルギー注入の観測  3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4. 発表性 2020年  1. 飛表者名 川手朋子,清水敬文  2. 発表標題 ひのでEISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUVSTで目指す陽子温度診断  3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4. 発表者名 長谷川隆祥,清水敬文  2. 発表標題 太陽プレアと光球磁場発展  3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4. 発表標題	
3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年 2020年  1 . 発表者名 川手朋子,清水敏文  2 . 発表標題 ひのでEISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUVSTで目指す陽子温度診断  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表者名 長谷川隆祥,清水敏文  2 . 発表構題 太陽フレアと光球磁場発展  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表を	
第27回ひので・実験室研究会  4.発表年 2020年  1.発表者名 川手朋子、清水敏文  2.発表標題 ひのでEISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUVSTで目指す陽子温度診断  3.学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4.発表年 2020年  1.発表者名 長谷川隆祥、清水敏文  2.発表標題 太陽フレアと光球磁場発展  3.学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4.発表年	太陽外層ブラズマ大気での磁気リコネクション: エネルギー注入の観測
第27回ひので・実験室研究会  4.発表年 2020年  1.発表者名 川手朋子、清水敏文  2.発表標題 ひのでEISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUVSTで目指す陽子温度診断  3.学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4.発表年 2020年  1.発表者名 長谷川隆祥、清水敏文  2.発表標題 太陽フレアと光球磁場発展  3.学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4.発表年	
第27回ひので・実験室研究会  4.発表年 2020年  1.発表者名 川手朋子、清水敏文  2.発表標題 ひのでEISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUVSTで目指す陽子温度診断  3.学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4.発表年 2020年  1.発表者名 長谷川隆祥、清水敏文  2.発表標題 太陽フレアと光球磁場発展  3.学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4.発表年	2
4. 発表年 2020年      1. 発表者名 川手朋子,清水敏文      2. 発表標題 ひのでEISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUVSTで目指す陽子温度診断      3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会      4. 発表年 2020年      1. 発表者名 長谷川隆祥,清水敏文      2. 発表標題 太陽フレアと光球磁場発展      3. 学会等名 第27回ひので・実験室研究会      4. 発表年	
20.20年      1 . 発表者名	
1 . 発表者名 川手朋子 , 清水敏文      2 . 発表標題 ひのでEISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUVSTで目指す陽子温度診断      3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会      4 . 発表年 2020年      1 . 発表者名 長谷川隆祥 , 清水敏文      2 . 発表標題 太陽フレアと光球磁場発展      3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会      4 . 発表年	
2 . 発表標題 <ul> <li>ひのでEISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUVSTで目指す陽子温度診断</li> </ul> 3 . 学会等名 <ul> <li>第27回ひので・実験室研究会</li> </ul> 4 . 発表年 <ul> <li>2020年</li> </ul> 1 . 発表者名 <ul> <li>長谷川隆祥,清水敏文</li> </ul> 2 . 発表標題 <ul> <li>太陽フレアと光球磁場発展</li> </ul> 3 . 学会等名 <ul> <li>第27回ひので・実験室研究会</li> </ul> 4 . 発表年	2020年
2 . 発表標題 <ul> <li>ひのでEISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUVSTで目指す陽子温度診断</li> </ul> 3 . 学会等名	1.発表者名
ひのでEISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUVSTで目指す陽子温度診断  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年 2020年  1 . 発表者名 長谷川隆祥,清水敏文  2 . 発表標題 太陽フレアと光球磁場発展  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年	川手朋子,清水敏文
ひのでEISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUVSTで目指す陽子温度診断  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年 2020年  1 . 発表者名 長谷川隆祥,清水敏文  2 . 発表標題 太陽フレアと光球磁場発展  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年	
ひのでEISによるリコネクション領域周辺のスペクトルとEUVSTで目指す陽子温度診断  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年 2020年  1 . 発表者名 長谷川隆祥,清水敏文  2 . 発表標題 太陽フレアと光球磁場発展  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年	
3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年 2020年  1 . 発表者名 長谷川隆祥, 清水敏文  2 . 発表標題 太陽フレアと光球磁場発展  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年	
第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年 2020年  1 . 発表者名 長谷川隆祥,清水敏文  2 . 発表標題 太陽フレアと光球磁場発展  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年	Oの CEISによるリコネクション領域向辺のスペクトルCEUVSI C目指9 陽十温度診断
第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年 2020年  1 . 発表者名 長谷川隆祥,清水敏文  2 . 発表標題 太陽フレアと光球磁場発展  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年	
第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年 2020年  1 . 発表者名 長谷川隆祥,清水敏文  2 . 発表標題 太陽フレアと光球磁場発展  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年	2  学合笙夕
4 . 発表年 2020年  1 . 発表者名 長谷川隆祥, 清水敏文  2 . 発表標題 太陽フレアと光球磁場発展  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年	
2020年  1 . 発表者名 長谷川隆祥,清水敏文  2 . 発表標題 太陽フレアと光球磁場発展  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年	
1.発表者名 長谷川隆祥,清水敏文         2.発表標題 太陽フレアと光球磁場発展         3.学会等名 第27回ひので・実験室研究会         4.発表年	
長谷川隆祥,清水敏文         2.発表標題 太陽フレアと光球磁場発展         3.学会等名 第27回ひので・実験室研究会         4.発表年	2U2U <del>' </del>
2.発表標題         太陽フレアと光球磁場発展         3.学会等名         第27回ひので・実験室研究会         4.発表年	1.発表者名
太陽フレアと光球磁場発展  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年	長谷川隆祥,清水敏文
太陽フレアと光球磁場発展  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年	
太陽フレアと光球磁場発展  3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会  4 . 発表年	
3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会 4 . 発表年	
第27回ひので・実験室研究会 4 . 発表年	<b>ハド勿ノ レノ C /L -外 収収 - 物 力 / 位</b>
第27回ひので・実験室研究会 4 . 発表年	
第27回ひので・実験室研究会 4 . 発表年	   3   学会等名
4.発表年	
LVLVT	
	2020 T

1.発表者名 宇佐見俊介
2 . 発表標題 リコネクション加熱のPICシミュレーション
NAME OF THE OWNER OW
3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会
4.発表年
2020年
1.発表者名
堀内利得
2. 以中中田田
2.発表標題 プラズマ合体のPICシミュレーション
3 . 学会等名 第27回ひので・実験室研究会
4.発表年
2020年
1 . 発表者名
原弘久
2 . 発表標題
太陽フレアの磁気リコネクション域研究・最近の進展
2 N. A. W. C.
3 . 学会等名
第27回ひので・実験室研究会
4.発表年
2020年
1.発表者名
田辺博士,曹慶紅,田中遥暁,Tara Ahmadi,秋光萌,染谷諒,Mikhail Gryaznevich, C. Z. Cheng,井通暁,小野靖
2.発表標題
高磁場合体・リコネクション加熱実験における大域的構造形成
3.学会等名
第27回ひので・実験室研究会
4 . 発表年
2020年
· · ·

1. 発表者名
秋光萌,田辺博士 <i>,</i> 小野靖
2.発表標題
プリント型高精細プローブを用いたプラズモイド実験
3.学会等名
第27回ひので・実験室研究会
4.発表年
2020年
1. 発表者名
Tara Ahmadi, Yasushi Ono
2.発表標題
Kinetic Alfven wave activities during reconnection
2 W A Mr /2
3.学会等名
第27回ひので・実験室研究会
4.発表年
2020年
1. 発表者名
Yasushi Ono
2.発表標題
2 . 光衣标题 Scaling Physics of Reconnection Heating for ST Merging Startup Experiments
scaring Physics of Reconnection healting for 31 weiging startup experiments
3 . 学会等名
International Spherical Tokamak Workshop (ISTW) 2019(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
Hiroshi Tanabe
Titrositi Tanabe
2.発表標題
Investigation of ion heating/transport process of magnetic reconnection during CS-free merging plasma startup of spherical
tokamak in TS-6
3.学会等名
International Spherical Tokamak Workshop (ISTW) 2019(招待講演)(国際学会)
4. 発表年
2019年

2 . 発表標題 Scaling Physics of Reconnection Heating and Acceleration in Tokamak Merging Experiments  3 . 学会等名 61st Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (招待講演) (国際学会)  4 . 発表在 2 . 発表標題 Micro/macro-scale ion heating and transport process of magnetic reconnection during merging plasma startup of TS-6 spherical tokamak  3 . 学会等名 61st Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表名 Tara. Ahmadi  2 . 発表標題 The new reconstruction method for velocity profile in TS6 device: Phantom and initial results
61st Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (招待講演) (国際学会)  4.発表年 2019年  1.発表者名 Hiroshi Tanabe  2.発表標題 Micro/macro-scale ion heating and transport process of magnetic reconnection during merging plasma startup of TS-6 spherical tokamak  3.学会等名 61st Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (招待講演) (国際学会)  4.発表年 2019年  1.発表者名 Tara. Ahmadi  2.発表標題 The new reconstruction method for velocity profile in TS6 device: Phantom and initial results
1. 発表者名 Hiroshi Tanabe  2. 発表標題 Micro/macro-scale ion heating and transport process of magnetic reconnection during merging plasma startup of TS-6 spherical tokamak  3. 学会等名 61st Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (招待講演) (国際学会)  4. 発表年 2019年  1. 発表者名 Tara. Ahmadi  2. 発表標題 The new reconstruction method for velocity profile in TS6 device: Phantom and initial results
## Hiroshi Tanabe  2. 発表標題 Micro/macro-scale ion heating and transport process of magnetic reconnection during merging plasma startup of TS-6 spherical tokamak  3. 学会等名 61st Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (招待講演) (国際学会)  4. 発表年 2019年  1. 発表者名 Tara. Ahmadi  2. 発表標題 The new reconstruction method for velocity profile in TS6 device: Phantom and initial results
Micro/macro-scale ion heating and transport process of magnetic reconnection during merging plasma startup of TS-6 spherical tokamak  3 . 学会等名 61st Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Tara. Ahmadi  2 . 発表標題 The new reconstruction method for velocity profile in TS6 device: Phantom and initial results
61st Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Tara. Ahmadi  2 . 発表標題 The new reconstruction method for velocity profile in TS6 device: Phantom and initial results
1 . 発表者名 Tara. Ahmadi  2 . 発表標題 The new reconstruction method for velocity profile in TS6 device: Phantom and initial results
Tara. Ahmadi  2 . 発表標題 The new reconstruction method for velocity profile in TS6 device: Phantom and initial results
The new reconstruction method for velocity profile in TS6 device: Phantom and initial results
N/A Mr. Fr
3 . 学会等名 61st Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Haruaki Tanaka
2 . 発表標題 Global ion heating characteristics of magnetic reconnection during two tokamak plasma merging experiment
3 . 学会等名 61st Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1.発表者名
C. Z. Cheng
2 . 発表標題
Kinetic Theory of Driven Magnetic Reconnection
3.学会等名
HINODE13/IPELS2019(招待講演)(国際学会)
4. 発表年
2019年
1.発表者名
Hiroshi Tanabe
TITOSIT Tallabe
0 7V-1-F0E
2.発表標題
lon and electron heating characteristics of magnetic reconnection in high field flux tube merging experiments
3.学会等名
HINODE13/IPELS2019(招待講演)(国際学会)
IIINOUL 10/ II LL02016(101万两次)(国际于公)
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
1.発表者名 Moe Akimitsu
Moe Akimitsu
Moe Akimitsu  2 . 発表標題
Moe Akimitsu
Moe Akimitsu  2 . 発表標題
Moe Akimitsu  2 . 発表標題
Moe Akimitsu  2 . 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment
Moe Akimitsu  2 . 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3 . 学会等名
Moe Akimitsu  2 . 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment
Moe Akimitsu  2 . 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3 . 学会等名 HINODE13/IPELS2019 (国際学会)
Moe Akimitsu  2 . 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3 . 学会等名 HINODE13/IPELS2019 (国際学会)
Moe Akimitsu  2 . 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3 . 学会等名 HINODE13/IPELS2019 (国際学会)
Moe Akimitsu  2 . 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3 . 学会等名 HINODE13/IPELS2019 (国際学会)
Moe Akimitsu  2 . 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3 . 学会等名 HINODE13/IPELS2019 (国際学会)  4 . 発表年 2019年
Moe Akimitsu  2 . 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3 . 学会等名 HINODE13/IPELS2019 (国際学会)  4 . 発表年 2019年
Moe Akimitsu  2 . 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3 . 学会等名 HINODE13/IPELS2019 (国際学会)  4 . 発表年 2019年
Moe Akimitsu  2 . 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3 . 学会等名 HINODE13/IPELS2019 (国際学会)  4 . 発表年 2019年
Moe Akimitsu  2 . 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3 . 学会等名 HINODE13/IPELS2019 (国際学会)  4 . 発表年 2019年
Moe Akimitsu  2 . 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3 . 学会等名 HINODE13/IPELS2019(国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Hiroshi Tanabe
Moe Akimitsu  2 . 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3 . 学会等名 HINODE13/IPELS2019 (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Hiroshi Tanabe
Moe Akimitsu  2 . 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3 . 学会等名 HINODE13/IPELS2019 (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Hiroshi Tanabe
Moe Akimitsu  2. 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3. 学会等名 HINODE13/IPELS2019 (国際学会)  4. 発表年 2019年  1. 発表者名 Hiroshi Tanabe  2. 発表標題 "Experimental study of reconnection heating/transport process and its application to high temperature spherical tokamak
Moe Akimitsu  2 . 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3 . 学会等名 HINODE13/IPELS2019 (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Hiroshi Tanabe
Moe Akimitsu  2. 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3. 学会等名 HINODE13/IPELS2019 (国際学会)  4. 発表年 2019年  1. 発表者名 Hiroshi Tanabe  2. 発表標題 "Experimental study of reconnection heating/transport process and its application to high temperature spherical tokamak
Moe Akimitsu  2 . 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3 . 学会等名 HINODE13/IPELS2019 (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Hiroshi Tanabe  2 . 発表標題 "Experimental study of reconnection heating/transport process and its application to high temperature spherical tokamak formation
Moe Akimitsu  2 . 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3 . 学会等名 HINODE13/IPELS2019 (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Hiroshi Tanabe  2 . 発表標題 "Experimental study of reconnection heating/transport process and its application to high temperature spherical tokamak formation  3 . 学会等名
Moe Akimitsu  2 . 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3 . 学会等名 HINODE13/IPELS2019 (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Hiroshi Tanabe  2 . 発表標題 "Experimental study of reconnection heating/transport process and its application to high temperature spherical tokamak formation
Moc Akimitsu  2 . 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3 . 学会等名 HINODE13/IPELS2019(国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Hiroshi Tanabe  2 . 発表標題 "Experimental study of reconnection heating/transport process and its application to high temperature spherical tokamak formation  3 . 学会等名 Space and Astrophysical Plasmas (EASW9) (招待講演) (国際学会)
2. 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3. 学会等名 HINODE13/IPELS2019 (国際学会)  4. 発表年 2019年  1. 発表者名 Hiroshi Tanabe  2. 発表標題 "Experimental study of reconnection heating/transport process and its application to high temperature spherical tokamak formation  3. 学会等名 Space and Astrophysical Plasmas (EASW9) (招待講演) (国際学会)  4. 発表年
Moc Akimitsu  2 . 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3 . 学会等名 HINODE13/IPELS2019(国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Hiroshi Tanabe  2 . 発表標題 "Experimental study of reconnection heating/transport process and its application to high temperature spherical tokamak formation  3 . 学会等名 Space and Astrophysical Plasmas (EASW9) (招待講演) (国際学会)
2. 発表標題 Plasmoid and blob of current sheet in TS-6 torus plasma merging experiment  3. 学会等名 HINODE13/IPELS2019 (国際学会)  4. 発表年 2019年  1. 発表者名 Hiroshi Tanabe  2. 発表標題 "Experimental study of reconnection heating/transport process and its application to high temperature spherical tokamak formation  3. 学会等名 Space and Astrophysical Plasmas (EASW9) (招待講演) (国際学会)  4. 発表年

1 . 発表者名 Yasushi Ono
2 . 発表標題 Reconnection Heating Experiments in TS-6, MAST and ST-40
A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
3 . 学会等名 5th UNIST- Kyoto Univ. Workshop on "Physics validation and control of turbulent transport and MHD in fusion plasmas"(招待 講演)(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Yasushi Ono
2 . 発表標題
Fine structure formation by reconnection heating/transport process in toroidal plasma merging experiments
3 . 学会等名
MAX PLANCK PRINCETON CENTER WORKSHOP 2019 (MPCC2019), (招待講演) (国際学会)
4.発表年 2019年
2010—
1. 発表者名 Hiroshi Tanabe
Hiroshi Tanabe  2 . 発表標題 ine structure formation by reconnection heating/transport process in toroidal plasma merging experiments
Hiroshi Tanabe  2 . 発表標題
Example 2 . 発表標題 ine structure formation by reconnection heating/transport process in toroidal plasma merging experiments 3 . 学会等名
2. 発表標題 ine structure formation by reconnection heating/transport process in toroidal plasma merging experiments  3. 学会等名 MAX PLANCK PRINCETON CENTER WORKSHOP 2019 (MPCC2019), (招待講演)(国際学会)  4. 発表年 2019年
Hiroshi Tanabe  2 . 発表標題 ine structure formation by reconnection heating/transport process in toroidal plasma merging experiments  3 . 学会等名 MAX PLANCK PRINCETON CENTER WORKSHOP 2019 (MPCC2019), (招待講演)(国際学会)  4 . 発表年
2. 発表標題 ine structure formation by reconnection heating/transport process in toroidal plasma merging experiments  3. 学会等名 MAX PLANCK PRINCETON CENTER WORKSHOP 2019 (MPCC2019), (招待講演)(国際学会)  4. 発表年 2019年
2. 発表標題 ine structure formation by reconnection heating/transport process in toroidal plasma merging experiments  3. 学会等名 MAX PLANCK PRINCETON CENTER WORKSHOP 2019 (MPCC2019), (招待講演)(国際学会)  4. 発表年 2019年
### Hiroshi Tanabe  2 . 発表標題

4 75 = 747
1.発表者名
Shnsuke Usami
2. 発表標題
Formation of anomalous velocity distribution based on the pickup-like ion motions during magnetic reconnection
3 3
3.学会等名
HINODE13/IPELS2019(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2019年
1. 発表者名
Shnsuke Usami
61st Annual Meeting of Division of Plasma Physics, American Physical Society
3.学会等名
Anomalous Velocity Distributions Formed by Pick-Up-Like Protons in Magnetic Reconnection (招待講演)
(12.5.m)
4.発表年
2019年
1.発表者名
Tara Ahmadi, Yasushi Ono
2. 発表標題
Kinetic Alfven wave formation during reconnection
3 : デムサロ   第26回ひので・実験室研究会
4.発表年
2019年
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
1.発表者名
秋光萌,小野靖
2.発表標題
プラズモイド実験
3.学会等名
第26回ひので・実験室研究会
□
4 . 完衣牛   2019年
2013 <del>"</del>

1 . 発表者名 田辺博士,曹慶紅,秋光萌,澤田明日香,田中遥暁,Tara Ahmadi,井通暁,小野靖
2 . 発表標題 趣旨説明 + リコネクション加熱実験 ~ 本郷新実験 TS-3U(TS-6)の動向その他 ~
3 . 学会等名 第26回ひので・実験室研究会
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 姫野俊一,神谷駿,山口遥,シンイクヒョン,田辺博士,小野靖
2 . 発表標題 初期位相と機械振動を制御した線形レーザ干渉計の提案と実証
3 . 学会等名 第36回プラズマ・核融合学会年会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 田中遥暁,田辺博士,曹慶紅,小野靖
2.発表標題 高ガイド磁場磁気リコネクションによるグローバル領域におけるイオン加熱と高温イオン輸送
3 . 学会等名 第36回プラズマ・核融合学会年会
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Tara Ahmadi, 田辺博士, 小野靖
2 . 発表標題 New reconstruction method to study plasma flow velocity by using Doppler tomography
3 . 学会等名 第36回プラズマ・核融合学会年会
4 . 発表年 2019年

1.発表者名 蔡雲漢,田辺博士,小野靖
2 . 発表標題 TS-6実験におけるスフェロマックおよびトカマクプラズマの合体の緩和現象
3 . 学会等名 第36回プラズマ・核融合学会年会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 神谷駿、曹慶紅、秋光萌、姫野俊一、山口遥、田辺博士、洪チョウホ、小野靖
2 . 発表標題 ワッシャーガンを用いた球状トカマク生成効率の改善
3 . 学会等名 第36回プラズマ・核融合学会年会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 秋光萌,田中遥暁,三木景介,田辺博士,小野靖
2 . 発表標題 磁場とイオン温度の高精細二次元計測を用いた電流シート中のプラズモイド生成の実験的検証
3 . 学会等名 第36回プラズマ・核融合学会年会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 染谷諒,小野靖,田辺博士
2 . 発表標題 一次元イオン流速ベクトル分布計測のための4方向受光型ドップラー分光プローブアレイの開発
3 . 学会等名 第36回プラズマ・核融合学会年会
4.発表年 2019年

1 . 発表者名 田辺博士,曹慶紅,田中遥暁,Tara Ahmadi,秋光萌,Thomas O'Gorman,Mikhail Gryaznevich,井通暁,小野靖
2 . 発表標題 超解像イオンドップラートモグラフィを用いた高磁場合体・磁気リコネクションのイオン加熱・輸送過程の研究
3 . 学会等名 第36回プラズマ・核融合学会年会
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Borade Anup Arun, 小野靖,井上静雄
2 . 発表標題 2 次元MHDシミュレーションを用いた球状トカマク合体立ち上げ法のリコネクション加熱の最適化
3 . 学会等名 第36回プラズマ・核融合学会年会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 田辺博士,曹慶紅,田中遥暁,Tara Ahmadi,秋光萌,C. Z. Chang,井通暁,小野靖
2 . 発表標題 実験室リコネクションのドップラートモグラフィ計測
3 . 学会等名 宇治リコネクションワークショップ2019(招待講演)
4.発表年 2019年
1.発表者名 秋光萌,田中遥暁,青山裕一,三木景介,曹慶紅,田辺博士,小野靖
2 . 発表標題 高ガイド磁場リコネクションにおける電流シート領域の2次元高精細計測
3.学会等名 日本物理学会第75回年次大会
4.発表年 2020年

1.発表者名 山口遥,神谷駿,姫野俊一,秋光萌,小野靖
2.発表標題 レーザの往復反射と飛行時間差を用いた 2 次元高精細トムソン散乱計測システムの開発
3 . 学会等名 令和 2 年電気学会全国大会
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 Moe Akimitsu, Yasushi Ono
2 . 発表標題 Development of High-Resolution 2D Magnetic Probes Using Printed Circuits
3 . 学会等名 UTokyo-SNU Joint Seminar in Electrical Engineering 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Y. Ono, M. Akimitsu, H. Tanabe, Q. Cao, A. Sawada, H. Hatano, X. Guo, S. Inoue, R. Horiuchi, S. Usami, C. Z. Cheng
2 . 発表標題 Magnetic reconnection experiments by use of merging tokamak and spheromak plasmas
3 . 学会等名 12th International Conference on High Energy Density Laboratory Astrophysics (HEDLA)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Y. Ono, M. Akimitsu, A. Sawada, Qing Cao, H. Hatano, H. Tanabe, M. Inomoto, S. Inoue, R. Horiuchi, S. Usami , C. Z. Cheng
2 . 発表標題 Scaling Study of Reconnection Heating in Torus Plasma Merging Experiments
3.学会等名

19th International Congress on Plasma Physics (ICPP)(招待講演)(国際学会)

4 . 発表年 2018年

Yasushi Ono

2 . 発表標題

Self-Organizations and Reconnections of Merging Toroidal Flux Tubes

3.学会等名

The US-Japan workshops and schools on magnetic reconnection (MR2018) (招待講演) (国際学会)

4.発表年

2018年

1.発表者名

H. Tanabe, H. Tanaka, Q. Cao, M. Akimitsu, A. Sawada, S. You, M. Inomoto and Y, Ono

2 . 発表標題

Investigation of ion heating/transport process during high guide field reconnection using ultra-high resolution ion Doppler tomography in TS-3U

3.学会等名

The US-Japan workshops and schools on magnetic reconnection (MR2018) (招待講演) (国際学会)

4.発表年

2018年

1.発表者名

H. Tanabe, Q. Cao, S. Himeno, M. Akimitsu, A. Sawada, A. Borade, S. You, M. Inomoto, Y. Ono

2 . 発表標題

Investigation of ion heating/transport process during high guide field merging/reconnection experiment in TS-3U

3.学会等名

The 19th International Congress on Plasma Physics (ICPP2018)(招待講演)(国際学会)

4.発表年

2018年

1.発表者名

H. Tanabe, Q. Cao, M. Akimitsu, A. Sawada, H. Tanaka, S. Kamiya, S. You, M. Inomoto and Y. Ono

2 . 発表標題

Investigation of ion heating/transport process during high guide field reconnection using full-2D ultra high resolution ion Doppler tomography

3 . 学会等名

60th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (国際学会)

4.発表年

1	<b> </b>

H. Tanaka, H. Tanabe, Q. Cao, M. Akimitsu, A. Sawada, Y. Ono

# 2 . 発表標題

Development of 320CH 2D ion Doppler tomography for the investigation of fine structure measurement of high guide field reconnection

#### 3.学会等名

60th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (国際学会)

## 4.発表年

2018年

## 1.発表者名

Yasushi Ono, H. Tanaka, Qing Cao, M. Akimitsu, A. Sawada, H. Hatano, H. Tanabe, R. Horiuchi, S. Usami, C. Z. Cheng

## 2 . 発表標題

Direct Access to the Burning Plasma by High-Power Reconnection Heating of Merging Tokamaks

## 3 . 学会等名

Second Asia-Pacific Conference on Plasma Physics (招待講演) (国際学会)

## 4.発表年

2018年

#### 1.発表者名

C. Z. Cheng, S. Inoue, Y. Ono, H. Tanabe, R. Horiuchi

### 2 . 発表標題

Electron and Ion Heating/Acceleration in Driving Magnetic Reconnection

### 3.学会等名

Second Asia-Pacific Conference on Plasma Physics (招待講演) (国際学会)

## 4.発表年

2018年

## 1.発表者名

Shunsuke Usami, Ritoku Horiuchi, Hiroaki Ohtani, and Yasushi Ono

### 2 . 発表標題

Particle Simulation Studies on Effective Ion Heating during Magnetic Reconnection

## 3 . 学会等名

Second Asia-Pacific Conference on Plasma Physics (招待講演) (国際学会)

# 4.発表年

1	<b> </b>

H. Tanabe, Qinghong, M. Akimitsu, A. Sawada, H. Takana, S. Kamiya, S. You, M. Inomoto, C. Z. Cheng and Y. Ono

# 2 . 発表標題

Investigation of global ion heating/transport proce during merging/reconnection startup of spherical tokamak in TS-3U

#### 3.学会等名

Second Asia-Pacific Conference on Plasma Physics (招待講演) (国際学会)

#### 4.発表年

2018年

## 1.発表者名

Yasushi Ono

#### 2.発表標題

Self-Organization, Reconnection and Heating of Two Merging Toroidal Flux Tubes for FRC and High-Beta Tokamak Formation

#### 3. 学会等名

The 27th International Toki Conference on Plasma and Fusion Research & The 13th Asia Pacific Plasma Theory Conference (招待講演) (国際学会)

## 4.発表年

2018年

#### 1.発表者名

Hiroshi Tanabe, Qinghong Cao, Haruaki Tanaka, Moe Akimitsu, Asuka Sawada, Setthivoine You, Michiaki Inomoto, Yasushi Ono

#### 2.発表標題

Investigation of Ion Heating/transport Process During High Guide Field Merging/reconnection Experiment

## 3 . 学会等名

The 27th International Toki Conference on Plasma and Fusion Research & The 13th Asia Pacific Plasma Theory Conference (招待講演) (国際学会)

# 4 . 発表年

2018年

## 1.発表者名

K. Nishida, Y. Setthivoine, S. Usami, R. Horiuchi, Y. Ono

### 2 . 発表標題

Analysis of Energy Conversion during Counter and Co-Helicity Spheromak Merging by Particle-In-Cell Simulation

## 3 . 学会等名

The 27th International Toki Conference on Plasma and Fusion Research & The 13th Asia Pacific Plasma Theory Conference (国際学会)

# 4 . 発表年

1.発表者名 Q. Cao, M. Akimitsu, A. Sawada, B. Anup, S. Kamiya, H. Tanaka, H. Tanabe, Y. Ono
2. 発表標題 2D High-Resolution Magnetic Field Measurement of the Merging Tokamak Plasmas in New Reconnection Experiment: TS-3
3 . 学会等名 The 27th International Toki Conference on Plasma and Fusion Research & The 13th Asia Pacific Plasma Theory Conference (国際学会) 4 . 発表年
2018年
1 . 発表者名 M. Akimitsu, Q. Cao, H. Tanabe, Y. Ono
2.発表標題 High Resolution Magnetic Field Measurement of Magnetic Reconnection in TS-6 Device Using Printed-Circuit Board Coils
3. 学会等名 The 27th International Toki Conference on Plasma and Fusion Research & The 13th Asia Pacific Plasma Theory Conference (国際学会)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 小野靖
2.発表標題 磁気リコネクション物理の実験室天文学への展開と今後
3.学会等名 第31回プラズマ新領域研究会・応用物理学会(招待講演)
4.発表年 2018年
1.発表者名 田辺博士,田中遥暁,曹慶紅,秋光萌,澤田明日香,Setthivoine You,井通暁,小野靖

新実験TS-3Uにおける超解像二次元画像診断を用いた合体・リコネクション加熱輸送過程の研究

2 . 発表標題

4 . 発表年 2018年

3 . 学会等名 第35回プラズマ・核融合学会年会

1.発表者名 西田賢人,堀内利得,Y.Sethivoine,宇佐見俊介,小野靖
2.発表標題 Particle-In-Cellシミュレーションを用いた異極性Spheromak合体の数値計算
3 . 学会等名 第35回プラズマ・核融合学会年会
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Q. Cao, M. Akimitsu, A. Sawada, B. Anup, S. Kamiya, H. Tanaka, Y. Aoyama, E. Kubo, H. Tanabe, Y. Ono
2. 発表標題 2D High-Resolution Magnetic Field Measurement of the Merging Tokamak Plasmas in New Reconnection Experiment: TS-6 (3U)
3 . 学会等名 第35回プラズマ・核融合学会年会
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 秋光萌,曹慶紅,田辺博士,小野靖
2.発表標題 TS-6 合体実験におけるPCB 型磁気プローブを用いたリコネクション磁場の高精細計測
3 . 学会等名 第35回プラズマ・核融合学会年会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 神谷駿,曹慶紅,澤田明日香,姫野俊一,秋光萌,B.Anup,山口遥,田辺博士,小野靖,
2 . 発表標題 磁気リコネクションを用いた球状トーラス合体加熱実験
3 . 学会等名 第35回プラズマ・核融合学会年会
4 . 発表年 2018年

1.発表者名 田中遥暁,田辺博士,曹慶紅,小野靖,
2 . 発表標題 高分解能計測を用いた合体トカマクプラズマのイオン加速・加熱現象の解明
3 . 学会等名 第35回プラズマ・核融合学会年会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 田辺博士
2 . 発表標題 ドップラープラズマ計測の新展開
3.学会等名 APET特別講演会 " ITER時代の核融合プラズマ研究の新展開(招待講演)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 田辺博士,曹慶紅,姫野俊一,秋光萌,澤田明日香,Anup Borade,Setthivoine You,井通暁,小野靖
2 . 発表標題 TS-3U 装置における超解像イオンドップラートモグラフィ計測を用いた合体リコネクション加熱輸送過程の研究
3 . 学会等名 第12回核融合エネルギー連合講演会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 田中遥暁,田辺博士,曹慶紅,小野靖
2 . 発表標題 288CH高精細ドップラートモグラフィ計測を用いたイオン加速・加熱機構の解明
3 . 学会等名 第22回若手科学者によるプラズマ研究会
4 . 発表年 2018年

1	<b> </b>

Y. Ono, H. Tanabe, S. Inoue, K. Gi, X. Guo, R. Horiuchi, S. Usami, C.Z. Cheng, M. Gryaznevich

# 2 . 発表標題

High Power Heating of Magnetic Reconnection in TS, MAST and ST-40 Experiments (Invited)

#### 3.学会等名

MR2017 Conference (US-Japan workshops and schools on magnetic reconnection) (招待講演) (国際学会)

## 4.発表年

2017年

## 1.発表者名

C.Z. Cheng, S. Inoue, Y. Ono and R. Horiuchi

#### 2.発表標題

Role of Parallel Electric Field in Collisionless Reconnection (Invited)

## 3.学会等名

MR2017 Conference (US-Japan workshops and schools on magnetic reconnection) (招待講演) (国際学会)

# 4 . 発表年

2017年

#### 1.発表者名

Hideya Koike, Hiroshi Tanabe, Yasushi Ono

### 2 . 発表標題

An optical probe for local 3D ion flow measurement system

## 3 . 学会等名

MR2017 Conference (US-Japan workshops and schools on magnetic reconnection) (国際学会)

## 4.発表年

2017年

## 1.発表者名

H. Tanabe, T. Yamada, T. Watanabe, K. Gi, H. Koike, A. Kuwahata, H. Yamanaka, K. Kimura, M. Narita, M. Inomoto, R. Imazawa, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. Conway, T. O'Gorman, K. G. McClements, C. Z. Cheng, Y. Ono and the MAST team

### 2 . 発表標題

Fine structure formation of high field reconnection experiment in MAST and Univ. Tokyo

## 3 . 学会等名

MR2017 Conference (US-Japan workshops and schools on magnetic reconnection) (招待講演) (国際学会)

# 4.発表年

Y. Ono, M. Akimitsu, A. Sawada, T. Hayashi, H. Koike, Y. Kaneda, H. Hatano, H. Tanabe

## 2 . 発表標題

Scaling Study of Reconnection Heating in Torus Plasma Merging Experiments (Invited)

#### 3 . 学会等名

2017 International Workshop on Interrelationship Between Plasma Experiments in the Laboratory and in Space(招待講演)(国際学会)

### 4. 発表年

2017年

## 1.発表者名

H. Tanabe, H. Koike, H. Hatano, M. Inomoto, Y. Ono and the MAST team

## 2 . 発表標題

Development of a new 96 channel high resolution ion Doppler tomography dedicated for fine structure measurement of reconnection heating in TS-U

#### 3. 学会等名

2017 International Workshop on Interrelationship Between Plasma Experiments in the Laboratory and in Space (国際学会)

## 4.発表年

2017年

#### 1.発表者名

Yasushi Ono, Horoshi Tanabe, Hideya Koike, Taishi Kaneda, Hironori Hatano, Moe Akimitsu, Asuka Sawada, Syunsuke Usami, Ritoku Horiuchi

#### 2 . 発表標題

High Power Heating of Magnetic Reconnection in Torus Plasma Merging Experiments (Invited, Plenary)

### 3.学会等名

1st Asia-Pacific Conference on Plasma Physics (招待講演) (国際学会)

## 4.発表年

2017年

## 1.発表者名

Horoshi Tanabe, Hideya Koike, Taishi Kaneda, Hironori Hatano, Moe Akimitsu, Asuka Sawada, Yasushi Ono

### 2 . 発表標題

Recent progress of magnetic reconnection research in high field merging experiment using 2D imaging diagnostics (Invited)

## 3 . 学会等名

1st Asia-Pacific Conference on Plasma Physic (招待講演) (国際学会)

# 4.発表年

1 . 発表者名
Yasushi Ono
2 . 発表標題 Scaling Study of Reconnection Heating in Torus Plasma Merging Experiments (Invited)
Southing study of Reconfidential Healthing in Torus Frasilia merging Experiments (Invited)
3.学会等名
The 19th International Spherical Torus Workshop (ISTW 2017)(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2017年
1 . 発表者名
1.光衣台台 M. Inomoto, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Kondo, T. Mihara, Y. Minami, Y. Inai, H. Tanabe, Y. Ono
,
2 . 発表標題
Merging Formation of High- STs in UTST
3.学会等名 The 19th International Spherical Torus Workshop (ISTW 2017)(招待講演)(国際学会)
4.発表年 2017年
2017年
1 . 発表者名
T. Ushiki, M. Inomoto, M. Itagaki, S. McNamara
2 . 発表標題 Plasma shape reconstruction of merging spherical tokamak in UTST device
Tradina diapo roddiotraetron or morging opnorroa. Conaman in oron dovrdo
3 . 学会等名
The 19th International Spherical Torus Workshop (ISTW 2017)(国際学会)
4.発表年
2017年
1.発表者名 Yasushi Ono, Moe Akimitsu, Asuka Sawada, Qinghong Cao, Hideya Koike, Hironori Hatano, Taishi Kaneda, Hiroshi Tanabe
Tasusini ono, moe Aktimitisu, Asuka damada, Ainghong dad, inideya korke, inidini i hatano, iaisini kaneda, inidoshi ianabe
2.発表標題
Development of High-Field ST Merging Experiment: TS-U for High Power Reconnection Heating
3.学会等名
59th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (国際学会)
4 . 発表年

Hiroshi Tanabe, Hideya Koike, Hironori Hatano, Takumi Hayashi, Qinghong Cao, Shunichi Himeno, Taishi Kaneda, Moe Akimitsu, Yasushi Ono

## 2 . 発表標題

Development of a sub-cm high resolution ion Doppler tomography diagnostics for fine structure measurement of guide field reconnection in TS-U

#### 3.学会等名

59th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (国際学会)

## 4.発表年

2017年

## 1.発表者名

Xuehan Guo, Ritoku Horiuchi , Shunsuke Usami ,Yasushi Ono,

#### 2.発表標題

Effective Ion Heating in Guide Field Reconnection

#### 3.学会等名

59th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (国際学会)

## 4.発表年

2017年

#### 1. 発表者名

T. Ushiki, M. Inomoto, M. Itagaki, S. McNamara

## 2 . 発表標題

Plasma shape reconstruction for merging spherical tokamak based on modified CCS method

### 3.学会等名

59th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (国際学会)

## 4.発表年

2017年

## 1.発表者名

Qinghong Cao, Moe Akimitsu. Asuka Sawada, Hiroshi Tanabe, Yasushi Ono

### 2 . 発表標題

D High-Resolution Measurement of High Guide-Field Magnetic Reconnection in TS-3U Spherical Tokamak Merging Experiment

## 3 . 学会等名

59th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (国際学会)

## 4 . 発表年

	1.発表者名
	Moe Akimitsu, Qinghong Cao, Asuka Sawada, Hironori Hatano, Hiroshi Tanabe, Yasushi Ono
L	
	│ 2.発表標題

Development of high-resolution two-dimensional magnetic field measurement system by use of printed-circuit technology

3.学会等名

59th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (国際学会)

4.発表年

2017年

1.発表者名

Asuka Sawada, Hironori Hatano, Moe Akimitsu. Qinghong Cao, Kotaro Yamasaki, Hiroshi Tanabe, Yasushi Ono,

2 . 発表標題

Global electrostatic potential structures of merging flux tubes in TS-U torus plasma merging experiment

3. 学会等名

59th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (国際学会)

4.発表年 2017年

1.発表者名

Y. Ono, A. Sawada, M. Akimitsu, H. Hatano, Y. Kaneda, H. Tanabe, M. Inomoto, S. You and C. Z. Cheng

2 . 発表標題

Merging Formation of FRCs and STs in TS-3, TS-4 and TS-U (Invited)

3.学会等名

US-Japan Workshop on Compact Tori 2017 (CT2017) (招待講演) (国際学会)

4.発表年

2017年

- 1.発表者名
  - M. Inomoto, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Kondo, T. Mihara, Y. Minami, Y. Inai, H. Tanabe and Y, Ono
- 2 . 発表標題

Center-solenoid free start-up of spherical tokamak plasma in UTST (Invited)

3.学会等名

US-Japan Workshop on Compact Tori 2017 (CT2017) (招待講演) (国際学会)

4.発表年

1 . 発表者名 R. Yanai, Y. Takahata, M. Inomoto and T. Asai
2 . 発表標題 Development of new experimental device focusing on weakly ionized magnetic reconnection using rotating magnetic field
3.学会等名 US-Japan Workshop on Compact Tori 2017 (CT2017)(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 Y. Takahata, R. Yanai and M. Inomoto
2 . 発表標題 Measurement of electron energy distribution function in rotating magnetic field plasma source
3.学会等名 US-Japan Workshop on Compact Tori 2017 (CT2017)(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 Yasushi Ono
2 . 発表標題 Magnetic reconnection experiments by use of merging tokamak and spheromak plasmas (Invited)
3 . 学会等名 12th International Conference on High Energy Density Laboratory Astrophysics (HEDLA)(招待講演)(国際学会)
4.発表年 2018年
1.発表者名 Yasushi Ono
2. 発表標題 Scaling Study of Reconnection Heating in Torus Plasma Merging Experiments (Invited)
3.学会等名 19th International Congress on Plasma Physics (ICPP)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2018年

Y. Ono, M. Akimitsu, S. Kamiya, H. Tanaka, S. Inoue, A. Sawada, A. Borade, Q, Cao, M. Inomoto, H. Tanabe, C. Z. Cheng, R. Horiuchi, S. Usami

## 2 . 発表標題

Scaling study of reconnection/ merging heating of spherical tokamak plasmas for direct access to burning plasmas

#### 3.学会等名

Fusion Energy Conference 2018 (国際学会)

## 4.発表年

2018年

## 1.発表者名

M. Inomoto, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Kondo, T. Mihara, Y. Mlinami, Y. Inai, R. Yanai, Y. Tatahata, H. Tanabe, Y. Ono, A. Sanpei, S. Kamio

## 2 . 発表標題

Effects of Reconnection Downstream Conditions on Electron on Prallel Acceleration during Sart-Up of Spherical Tokamak

## 3 . 学会等名

Fusion Energy Conference 2018 (国際学会)

## 4.発表年

2018年

#### 1.発表者名

S. Usami, R. Horiuchi, H. Ohtani, Y. Ono, M. Inomoto, H. Tanab

## 2 . 発表標題

Particle Simulation Studies on Ion Effective Heating through Merging Plasmas

### 3.学会等名

Fusion Energy Conference 2018 (国際学会)

## 4.発表年

2018年

## 1.発表者名

H. Tanabe, H. Hatano, T. Hayashi, Q. Cao, A. Sawada, M. Akimitsu, M. Inomoto and Y. Ono

### 2 . 発表標題

Investigation of Fine Structure Formation of Guide Field Reconnection during Merging Plasma Startup of Spherical Tokamak

## 3 . 学会等名

Fusion Energy Conference 2018 (国際学会)

# 4.発表年

1.発表者名 Yasushi Ono
2 . 発表標題 Self-Organizations and Reconnections of Merging Toroidal Flux Tubes (Invited)
3.学会等名 MR2018 Conference (US-Japan workshops and schools on magnetic reconnection)(招待講演)(国際学会)
4.発表年 2018年
1 . 発表者名 Yasushi Ono, H. Tamnaka, Qing Cao, M. Akimitsu, A. Sawada, H. Hatano, H. Tanabe, R. Horiuchi, S. Usami, C. Z. Cheng
2 . 発表標題 Direct Access to the Burning Plasma by High-Power Reconnection Heating of Merging Tokamaks (Invited)
3 . 学会等名 Second Asia-Pacific Conference on Plasma Physics(招待講演)(国際学会)
4.発表年 2018年
1 . 発表者名 C. Z. Cheng, S. Inoue, Y. Ono, H. Tanabe, R. Horiuchi
2. 発表標題 Electron and Ion Heating/Acceleration in Driving Magnetic Reconnection (Invited)
3 . 学会等名 Second Asia-Pacific Conference on Plasma Physics(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Shunsuke Usami, Ritoku Horiuchi, Hiroaki Ohtani, and Yasushi Ono
2 . 発表標題 Particle Simulation Studies on Effective Ion Heating during Magnetic Reconnection (Invited)
3 . 学会等名 Second Asia-Pacific Conference on Plasma Physics(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2018年

1	<b> </b>

H. Tanabe, Qinghong, M. Akimitsu, A. Sawada, H. Takana, S. Kamiya, S. You, M. Inomoto, C. Z. Cheng and Y. Ono

# 2 . 発表標題

Investigation of global ion heating/transport proce during merging/reconnection startup of spherical tokamak in TS-3U (Invited)

#### 3.学会等名

Second Asia-Pacific Conference on Plasma Physics (招待講演) (国際学会)

#### 4.発表年

2018年

## 1.発表者名

Yasushi Ono

#### 2.発表標題

Self-Organization, Reconnection and Heating of Two Merging Toroidal Flux Tubes for FRC and High-Beta Tokamak Formation (Invited)

### 3. 学会等名

The 27th International Toki Conference on Plasma and Fusion Research & The 13th Asia Pacific Plasma Theory Conference (招待講演) (国際学会)

## 4.発表年

2018年

#### 1.発表者名

Hiroshi Tanaba, Qinghong Cao, Haruaki Tanaka, Moe Akimitsu, Asuka Sawada, Setthivoine You, Michiaki Inomoto, Yasushi Ono

#### 2.発表標題

Investigation of Ion Heating/transport Process During High Guide Field Merging/reconnection Experiment (Invited)

## 3 . 学会等名

The 27th International Toki Conference on Plasma and Fusion Research & The 13th Asia Pacific Plasma Theory Conference (招待講演) (国際学会)

## 4.発表年

2018年

## 1.発表者名

Yasushi Ono

### 2 . 発表標題

Recent progress of reconnection heating experiments in ST-40 and TS-6 (Invited)

## 3.学会等名

MPPC Workshop 2019, University of Tokyo(招待講演)(国際学会)

# 4.発表年

1.発表者名 Yasushi Ono
2 . 発表標題 Reconnection Heating Experiments in TS-6, MAST and ST-40 (Invited)
3 . 学会等名 5th UNIST- Kyoto Univ. Workshop on "Physics validation and control of turbulent transport and MHD in fusion plasmas"(招待 講演)(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Y. Ono, A. Sawada, M. Akimitsu, H. Hatano, Y. Kaneda, H. Tanabe, M. Inomoto, S. You and C. Z. Cheng
2. 発表標題
Merging Formation of FRCs and STs in TS-3, TS-4 and TS-U
3 . 学会等名 US-Japan Workshop on Compact Tori 2017 (CT2017)(招待講演)(国際学会)
4.発表年 2017年
1.発表者名
Y. Ono
2 . 発表標題 Scaling Study of Reconnection Heating in Torus Plasma Merging Experiments
3 . 学会等名
The 19th International Spherical Torus Workshop (ISTW 2017)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 Setthivoine You, Yasushi Ono
2.発表標題
Relaxation of Merging Compact Torus Plasmas
3.学会等名
Plasma Conference 2017(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 田辺博士
2.発表標題 CODEVを応用した高スループット・高精細分光システムの開発
3 . 学会等名 CODEV特別セミナー2017(招待講演)
4.発表年 2017年
1 . 発表者名 M. Inomoto, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Kondo, T. Mihara, Y. Minami, Y. Inai, H. Tanabe, Y. Ono
2. 発表標題 Merging Formation of High- STs in UTST
3 . 学会等名 The 19th International Spherical Torus Workshop (ISTW 2017)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 Yasushi Ono, Horoshi Tanabe, Hideya Koike, Taishi Kaneda, Hironori Hatano, Moe Akimitsu, Asuka Sawada1, Syunsuke Usami, Ritoku Horiuch
2 . 発表標題 High Power Heating of Magnetic Reconnection in Torus Plasma Merging Experiments
3 . 学会等名 1st Asia-Pacific Conference on Plasma Physics(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 Horoshi Tanabe, Hideya Koike, Taishi Kaneda, Hironori Hatano, Moe Akimitsu, Asuka Sawada, Yasushi Ono
2 . 発表標題 Recent progress of magnetic reconnection research in high field merging experiment using 2D imaging diagnostics
3 . 学会等名 1st Asia-Pacific Conference on Plasma Physics(招待講演)(国際学会)
4.発表年 2017年

1. 発表者名 Y. Ono, M. Akimitsu, A. Sawada, T. Hayashi, H. Koike, Y. Kaneda, H. Hatano, H. Tanabe
2.発表標題 Scaling Study of Reconnection Heating in Torus Plasma Merging Experiments
3.学会等名 Proceedings of 2015 International Workshop on Interrelationship Between Plasma Experiments in the Laboratory and in Space (招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 T. Shimizu
2. 発表標題 Coordinated Observations of 3D magnetic Field Structures during Flares and Reconnection Events
3.学会等名 7th Solar Orbiter Workshop: Exploring the solar environs(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 H. Tanabe, T. Yamada, T. Watanabe, K. Gi, H. Koike, A. Kuwahata, H. Yamanaka, K. Kimura, M. Narita, M. Inomoto, R. Imazawa, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. Conway, T. O'Gorman, K. G. McClements, C. Z. Cheng, Y. Ono and the MAST team
2. 発表標題 Fine structure formation of high field reconnection experiment in MAST and Univ. Tokyo
3.学会等名 MR2017 Conference(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名
C. Z. Cheng, S. Inoue, Y. Ono and R. Horiuchi
2.発表標題 Role of Parallel Electric Field in Collisionless Reconnection

3 . 学会等名

4 . 発表年 2017年

MR2017 Conference (招待講演) (国際学会)

1	1	彩	丰	耂	夕	

Y. Ono, H. Tanabe, S. Inoue, K. Gi, X. Guo, R. Horiuchi, S. Usami, C.Z. Cheng, M. Gryaznevich

# 2 . 発表標題

High Power Heating of Magnetic Reconnection in TS, MAST and ST-40 Experiments

#### 3 . 学会等名

MR2017 Conference (招待講演) (国際学会)

## 4.発表年

2017年

## 1.発表者名

Yasushi Ono, Moe Akimitsu, Asuka Sawada, Qinghong Cao, Hideya Koike, Hironori Hatano, Taishi Kaneda, Hiroshi Tanabe

## 2 . 発表標題

Development of High-Field ST Merging Experiment: TS-U for High Power Reconnection Heating

#### 3 . 学会等名

59th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (国際学会)

## 4.発表年

2017年

#### 1.発表者名

Hiroshi Tanabe, Hideya Koike, Hironori Hatano, Takumi Hayashi, Qinghong Cao, Shunichi Himeno, Taishi Kaneda, Moe Akimitsu, Yasushi Ono

#### 2 . 発表標題

Development of a sub-cm high resolution ion Doppler tomography diagnostics for fine structure measurement of guide field reconnection in TS-U

## 3 . 学会等名

59th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (国際学会)

## 4.発表年

2017年

## 1.発表者名

Xuehan Guo, Ritoku Horiuchi , Shunsuke Usami ,Yasushi Ono

### 2 . 発表標題

Effective Ion Heating in Guide Field Reconnection

## 3 . 学会等名

59th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (国際学会)

## 4.発表年

1 . 発表者名 T. Ushiki, M. Inomoto, M. Itagaki, S. McNamara
2 . 発表標題 Plasma shape reconstruction for merging spherical tokamak based on modified CCS method
3 . 学会等名 59th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 Qinghong Cao, Moe Akimitsu. Asuka Sawada, Hiroshi Tanabe, Yasushi Ono
2. 発表標題 2D High-Resolution Measurement of High Guide-Field Magnetic Reconnection in TS-3U Spherical Tokamak Merging Experimen
3 . 学会等名 59th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 Moe Akimitsu, Qinghong Cao, Asuka Sawada, Hironori Hatano, Hiroshi Tanabe, Yasushi Ono
2 . 発表標題 Development of high-resolution two-dimensional magnetic field measurement system by use of printed-circuit technologyt
3 . 学会等名 59th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 Asuka Sawada, Hironori Hatano, Moe Akimitsu. Qinghong Cao, Kotaro Yamasaki, Hiroshi Tanabe, Yasushi Ono
2.発表標題 Global electrostatic potential structures of merging flux tubes in TS-U torus plasma merging experiment

3 . 学会等名

4 . 発表年 2017年

59th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (国際学会)

1 ※主之々
1.発表者名 Yasushi Ono
Tabubiti UIIU
2 . 発表標題
Innovative Approaches to Economical DEMO reactors
2
3.学会等名
3rd Annual Meeting of Innovation for Cool Earth Forum(招待講演)(国際学会)
4.発表年
4 . 完衣牛 2016年
2010 <del>' </del>
1
1.発表者名 Vacuabi One
Yasushi Ono
2.発表標題
Merging/ Reconnection Heating for Direct Access to Fusion Reaction
3. 学会等名
3rd Annual Meeting of Innovation for Cool Earth Forum(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2016年
1. 発表者名
Yasushi Ono, Hiroshi Tanabe, Kokoro Kimura, Masashi Kawanami, Syunsuke Ishida, Ryoma Nakai, Michiaki Inomoto, Chio Zong
Cheng
2.発表標題
Development of High Magnetic Field Merging Tokamak Experiment TS-U for Reconnection Heating Physics and Applications
3.学会等名
The 18th International Congress on Plasma Physics (ICPP 2016)(招待講演)(国際学会)
(INTERNAL CONTROL CONT
4.発表年
2016年
1 . 発表者名
H. Hara
2 . 発表標題
Solar Corona: Recent Progress from Space Observations
2.
3.学会等名
The 18th International Congress on Plasma Physics (ICPP 2016)(招待講演)(国際学会)
A
4.発表年
2016年

Yasushi Ono, Hiroshi Tanabe, Kokoro Kimura, Masashi Kawanami, Syunsuke Ishida, Ryoma Nakai, Michiaki Inomoto, Chio Zong Cheng

# 2 . 発表標題

Laboratory Experiments of Merging Tokamaks and Spheromaks for Reconnection-Heating Physics and Applications

#### 3.学会等名

Korean Physical Society (招待講演) (国際学会)

## 4.発表年

2016年

## 1.発表者名

N. Nishizuka, Y. Hayashi, H. Tanabe, A. Kuwahata, Y. Kamino, Y. Ono, M. Inomoto, and T. Shimizu

## 2 . 発表標題

Laboratory Experimental Modeling of Chromospheric Jets Observed in the Solar Atmosphere: Magnetic Reconnection with outflows, heating and waves

#### 3. 学会等名

The 18th International Congress on Plasma Physics (ICPP 2016)(招待講演)(国際学会)

# 4 . 発表年

2016年

### 1.発表者名

Yasushi Ono

#### 2.発表標題

Recent Topics in Japanese Reconnection Community

### 3.学会等名

Max Planck/Princeton Center for Plasma Physics General Meeting(招待講演)(国際学会)

## 4.発表年

2016年

## 1.発表者名

Y. Ono, H. Tanabe, T. Yamada., K. Yamasaki, K. Gi, T. Ii, M. Inomoto, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. Conway, B. Crowley and C. Michael

### 2 . 発表標題

High Power Heating of Magnetic Reconnection in Tokamak Merging Experiments

## 3 . 学会等名

MR2016 Conference (US-Japan workshop on Magnetic Reconnection) (招待講演) (国際学会)

# 4.発表年

1	双丰业夕
	#7 <b>7</b> 7

H. Tanabe, T. Yamada, T. Watanabe, K. Gi, K. Kadowaki, M. Inomoto, R. Imazawa, M. Gryaznevich, C. Michael, B. Crowley, N. J. Conway, R. Scannell, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G. McClements, T. O'Gorman, C. Z. Cheng and Y. Ono

## 2 . 発表標題

Recent progress of high field reconnection heating experiment in MAST

#### 3.学会等名

MR2016 Conference (US-Japan workshop on Magnetic Reconnection) (招待講演) (国際学会)

#### 4.発表年

2016年

## 1.発表者名

N. Nishizuka, H. Hayashi, H. Tanabe, A. Kuwahata, Y. Kamino, Y. Ono, M. Inomoto, T. Shimizu

## 2 . 発表標題

mpulsive Reconnection driven by Multiple Plasmoid Ejections in Solar Flares and Laboratory Experiments

## 3 . 学会等名

MR2016 Conference (US-Japan workshop on Magnetic Reconnection) (招待講演) (国際学会)

## 4.発表年

2016年

#### 1.発表者名

Chio Z. Cheng, S. Inoue, Y. Ono, R. Horiuchi

### 2 . 発表標題

Kinetic physics of driven magnetic reconnection in 2-1/2 dimensions

## 3 . 学会等名

MR2016 Conference (US-Japan workshop on Magnetic Reconnection)(招待講演)(国際学会)

## 4 . 発表年

2016年

## 1.発表者名

T. Shimizu

### 2 . 発表標題

Magnetic Twist in Solar Coronal Magnetic Fields and Fast Reconnection

## 3 . 学会等名

MR2016 Conference (US-Japan workshop on Magnetic Reconnection) (招待講演) (国際学会)

# 4.発表年

H. Tanabe, T. Yamada, R. Imazawa, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. Conway, B. Crowley, C. Michael, K. G. McClements, M. Inomoto, C. Z. Cheng, Y. Ono and the MAST team

## 2 . 発表標題

Application of high power reconnection heating for solenoid-less startup of spherical tokamak in MAST

#### 3.学会等名

The 18th International Congress on Plasma Physics (ICPP 2016)(招待講演)(国際学会)

#### 4.発表年

2016年

## 1.発表者名

M. Inomoto, K. Yamasaki, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, K. Matsuyama, N. Kawakami, A. Sato, Y. Fukai, H. Yamanaka, R. Tamura, H. Tanabe, Y. Ono,

#### 2.発表標題

Particle acceleration in magnetic reconnection laboratory experiment with presence of strong guide field

#### 3. 学会等名

The 18th International Congress on Plasma Physics (ICPP 2016)(招待講演)(国際学会)

## 4.発表年

2016年

#### 1.発表者名

T. Shimizu, S. Inoue. and Y. Kawabata

#### 2.発表標題

Hinode magnetic-field observations of solar flares for exploring the energy storage and trigger mechanisms

## 3 . 学会等名

Proceedings of IAU Symposium No. 320 "Solar and Steller Flares and Their Effects on Planets (国際学会)

## 4.発表年

2016年

## 1.発表者名

Y. Ono, H. Koike, H. Tanabe, S. Himeno, S. Ishida, K. Kimura, M. Kawanami, M. Narita, Y. Takahata, T. Yokoyama, M. Inomoto, C. Z. Cheng

### 2 . 発表標題

Development of High-Field ST Merging Experiment: TS-U for High Power Reconnection Heating

## 3 . 学会等名

58th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (国際学会)

# 4.発表年

1. 発表者名 C. Z. Cheng, S. Inoue, R. Horiuchi, Y. Ono, X. Guo
2. 発表標題 Effects of guide field in driven magnetic reconnection
3.学会等名 58th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 X. Guo, R. Horiuchi, Y. Kaminou, C. Z. Cheng, Y. Ono
2 . 発表標題 Energy Conversion Mechanism for Electron Perpendicular Energy in High Guide-Field Reconnection
3.学会等名 58th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics(国際学会)
4.発表年 2016年
1 . 発表者名 Hiroshi Tanabe
2.発表標題 Recent progress of magnetic reconnection research in the MAST spherical tokamak
3 . 学会等名 58th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 H. Tanabe, T. Yamada, R. Imazawa, M. Inomoto, C. Z. Cheng, Y. Ono and the MAST team
2 . 発表標題 Ion and Electron Heating Characteristics of Magnetic Reconnection in MAST Spherical Tokamak
3 . 学会等名 41st COSPAR Scientific Assembly 2016(招待講演)(国際学会)
4

Y. Ono, T. Yamada, S. Inoue, M. Inomoto, C. Z. Cheng, M. Gryaznavich, R. Scannell, N. J. Conway, B. Crowley, C. Michael, H. Hara, S. Usami and R. Horiuchi

## 2 . 発表標題

Reconnection Heating Experiments and Simulations for Torus Plasma Merging Startup

#### 3 . 学会等名

Fusion Energy Conference 2016 (国際学会)

## 4.発表年

2016年

#### 1. 発表者名

H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, K. Kadowaki, Y. Ono, M. Gryaznavich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakings, N. Hawkins, K. MccIrmrntd, T. Oʻgorman and C. Z. Cheng

#### 2.発表標題

Investigation of merging/reconnection heating during solenoid-free startup of plasmas in the MAST spherical tokamak

## 3.学会等名

Fusion Energy Conference 2016 (国際学会)

## 4.発表年

2016年

#### 1. 発表者名

M. Inomoto, K. Yamasaki, T. Ushika, X. Guo, S. Kamio, R. Yanai, T. Suhawara, Y. Fukai, H. Yamanaka, and R. Tamura

#### 2.発表標題

Formation of Closed Flux Surfaces in Reconnection Current Layer by Accelerated Electrons during Merging Start-up of Spherical Tokamak

### 3.学会等名

Fusion Energy Conference 2016 (国際学会)

## 4.発表年

2016年

## 1.発表者名

Yasushi Ono

### 2 . 発表標題

High Power Heating of Magnetic Reconnection in Toroidal Plasma Merging Experiments: TS-3, TS-4, UTST and MAST

## 3 . 学会等名

The 12th International School/ Symposium for Space Simulations (ISSS-12)(招待講演)(国際学会)

# 4.発表年

1.発表者名 Yasushi Ono
2 . 発表標題 Reonnection Heating Experiments at University of Tokyo
3 . 学会等名 Second PAC meeting for the SPRF at Harbin Institute of Technology(招待講演)(国際学会)
4.発表年 2015年
1.発表者名 Yasushi Ono
2. 発表標題 High Power Heating of Magnetic Reconnection in Toroidal Plasma Merging Experiments: TS-3, TS-4, UTST and MAST
3 . 学会等名 Norman Rostoker Memorial Symposium(招待講演)(国際学会)
4.発表年 2015年
1.発表者名 Yasushi Ono
2 . 発表標題 Plasma Heating Characteristics of Merging Spheromaks and Tokamaks
3.学会等名 2015 International Workshop on Interrelationship between Plasma Experiments in the Laboratory and in Space(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2015年
1 . 発表者名 H. Tanabe, T. Yamada, T. Watanabe, K. Gi, K. Kadowaki, M. Inomoto, M. Gryaznevich, C. Michael, B. Crowley, N. Conway, R. Scannell and Y. Ono
2 . 発表標題 Electron and ion heating characteristics during merging/reconnection startup of spherical tokamak in MAST
3 . 学会等名 2015 International Workshop on Interrelationship between Plasma Experiments in the Laboratory and in Space(国際学会)
4 . 発表年 2015年

- 1.発表者名
  - M. Inomoto, K. Yamasaki, T. Ushiki, X. Guo, N. Kawakami, T. Sugawara, K. Matsuyama, A. Sato, K. Noma, Y. Fukai, H. Yamanaka, R. Tamura, A. Kuwahata, H. Tanabe, Y. Ono,
- 2 . 発表標題

Merging formation of high-beta ST as a target plasma for NBI

3 . 学会等名

2015 US-Japan compact torus workshop (招待講演) (国際学会)

4.発表年

2015年

- 1. 発表者名
  - Y. Ono, H. Tanabe, T. Yamada, K. Yamasaki, K. Gi, T. Ii, M. Inomoto, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. Conway, B. Crowley and C. Michael
- 2.発表標題

High Power Heating of Magnetic Reconnection in ST Merging Experiments

3. 学会等名

18th International Spherical Torus Workshop (ISTW 2015)(招待講演)(国際学会)

4.発表年

2015年

- 1.発表者名
  - M. Inomoto, K. Yamasaki, T. Ushiki, X. Guo, N. Kawakami, T. Sugawara, K. Matsuyama, A. Sato, K. Noma, Y. Fukai, H. Yamanaka, R. Tamura, A. Kuwahata, H. Tanabe, Y. Ono, T.I. Tsujimura1, S. Kamio, T. Yamada
- 2 . 発表標題

Center-Solenoid-Free Merging Startup of STs by Outer PF Coils in UTST

3.学会等名

18th International Spherical Torus Workshop (ISTW 2015)(国際学会)

4.発表年

2015年

- 1.発表者名
  - Y. Ono, M. Kawanami, K. Kimur, R. Nakai, K. Nishida, R. Ishida, H. Yamanaka, A. Kuwahata, H. Tanabe, M. Inomoto, C. Z. Cheng
- 2.発表標題

High Power Heating of Magnetic Reconnection in UTokyo Spherical Tokamak Merging Experiment: TS-U

3 . 学会等名

57th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (国際学会)

4 . 発表年

1	松王尹夕

H. Tanabe, A. Kuwahata, H. Yamanaka, M. Inomoto, Y. Ono

# 2 . 発表標題

Development of ultra-fast 2D ion Doppler tomography using image intensified CMOS fast camera

#### 3.学会等名

57th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (国際学会)

# 4 . 発表年

2015年

#### 1.発表者名

Yasushi Ono

### 2 . 発表標題

Interdiciplinary Study of Reconnection Dynamics and Energy Conversion

#### 3. 学会等名

Max Planck/Princeton Center for Plasma Physics General Meeting (招待講演) (国際学会)

# 4.発表年

2016年

#### 1.発表者名

Y. Ono, H. Tanabe, T. Yamada., K. Yamasaki, K. Gi, T. Ii, M. Inomoto, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. Conway, B. Crowley and C. Michael

#### 2 . 発表標題

High Power Heating of Magnetic Reconnection in Tokamak Merging Experiments

# 3 . 学会等名

MR2016 Conference (US-Japan workshop on Magnetic Reconnection)(招待講演)(国際学会)

#### 4.発表年

2016年

## 1.発表者名

H. Tanabe, T. Yamada, T. Watanabe, K. Gi, K. Kadowaki, M. Inomoto, R. Imazawa, M. Gryaznevich, C. Michael, B. Crowley, N. J. Conway, R. Scannell, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakins, N. Hawkes, K. G. McClements, T. O'Gorman, C. Z. Cheng and Y. Ono

# 2 . 発表標題

Recent progress of high field reconnection heating experiment in MAST

# 3 . 学会等名

MR2016 Conference (US-Japan workshop on Magnetic Reconnection) (招待講演) (国際学会)

# 4 . 発表年

I	1.発表者名														
	N. Nishizuka.	Н.	Havashi.	Н.	Tanabe.	Α.	Kuwahata.	Υ.	Kamino.	Υ.	Ono.	Μ.	Inomoto.	Τ.	Shimizu

2 . 発表標題

Impulsive Reconnection driven by Multiple Plasmoid Ejections in Solar Flares and Laboratory Experiments

3.学会等名

MR2016 Conference (US-Japan workshop on Magnetic Reconnection) (招待講演) (国際学会)

4.発表年

2016年

1.発表者名

Kokoro Kimura, Masahumi Kawanami, Shunsuke Ishida, Soma Nakai, Hiroshi Tanabe, Yasushi Ono

2 . 発表標題

Spectroscope development of Thomson scattering measurement for high magnetic field reconnection experiment

3.学会等名

MR2016 Conference (US-Japan workshop on Magnetic Reconnection) (国際学会)

4 . 発表年 2016年

1.発表者名

S. Ishida, S. Nakai, Y. Minami, M. Inomoto and Y. Ono

2 . 発表標題

Spectroscope development of Thomson scatteringmeasurement for high magnetic field reconnection experiment

3.学会等名

MR2016 Conference (US-Japan workshop on Magnetic Reconnection) (国際学会)

4 . 発表年

2016年

1.発表者名

田辺 博士, 山田 琢磨, 渡辺 岳典, 魏 啓為 , 門脇 和丈, 并通暁, 今澤良太, M. Gryaznevich, the MAST team, C. Z. Cheng, 小野 靖

2 . 発表標題

磁気リコネクションにおけるプラズマ加熱

3 . 学会等名

磁気リコネクション研究の最前線と今後の展望(招待講演)

4. 発表年

1. 発表者名 田辺 博士,山田 琢磨,渡辺 岳典,魏 啓為,門脇 和丈,今澤 良太,Clive Michael, Brendan Crowley, Neil Conway, Rory Scannell, Mikhail Gryaznevich,井 通暁,小野 靖
2 . 発表標題 大型球状トカマク合体実験MASTにおけるリコネクション加熱研究の進展(招待講演)
3.学会等名 第32回プラズマ・核融合学会年会(招待講演)
4.発表年 2015年
1.発表者名 桑波田晃弘,井通暁,矢内亮馬,小野靖
2. 発表標題 ガイド磁場磁気リコネクションにおける磁場揺動の役割(招待講演)
3.学会等名 第32回プラズマ・核融合学会年会(招待講演)
4.発表年 2015年
1. 発表者名 小野靖,木村心,川浪雅史,濱田朋宏,石田俊介,中井颯馬,齋藤航哉,桑 波田晃弘,田辺博士,井通暁,陳秋榮
2.発表標題 高磁場トカマクプラズマ合体を用いた高出力磁気リコネクション加熱実験
3.学会等名 第32回プラズマ・核融合学会年会
4.発表年 2015年
1. 発表者名 C. Z. Cheng, S. Inoue, Y. Ono, R. Horiuchi
2.発表標題 Collisionless plasma dynamics in driven magnetic reconnection (招待講演)
3 . 学会等名 第32回プラズマ・核融合学会年会(招待講演)

4 . 発表年 2015年 1.発表者名

中井颯馬,石田俊介,南佑典,小野靖

2 . 発表標題

単一干渉フィルタによるトムソン散乱計測用分光器の開発

3.学会等名

第32回プラズマ・核融合学会年会

4.発表年

2015年

1.発表者名

Yasushi Ono, Hiroshi Tanabe, Kokoro Kimura, Masashi Kawanami, Syunsuke Ishida, Ryoma Nakai, Michiaki Inomoto, Chio Zong Cheng

2 . 発表標題

Laboratory Experiments of Merging Tokamaks and Spheromaks for Reconnection-Heating Physics and Applications (Invited)

3. 学会等名

Korean Physical Society (招待講演) (国際学会)

4.発表年

2016年

1.発表者名

Yasushi Ono, Hiroshi Tanabe, Kokoro Kimura, Masashi Kawanami, Syunsuke Ishida, Ryoma Nakai, Michiaki Inomoto, Chio Zong Cheng

2 . 発表標題

Development of High Magnetic Field Merging Tokamak Experiment TS-U for Reconnection Heating Physics and Applications

3.学会等名

The 18th International Congress on Plasma Physics (ICPP 2016)(招待講演)(国際学会)

4.発表年

2016年

1.発表者名

H. Tanabe, T. Yamada, R. Imazawa, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. Conway, B. Crowley, C. Michael, K. G. McClements, M. Inomoto, C. Z. Cheng, Y. Ono and the MAST team

2 . 発表標題

Application of high power reconnection heating for solenoid-less startup of spherical tokamak in MAST

3 . 学会等名

The 18th International Congress on Plasma Physics (ICPP 2016)(招待講演)(国際学会)

4 . 発表年

1. 発表者名 T. Ushiki, M. Itagaki, M. Inomoto1
2. 発表標題 Shape Reconstruction of Merging Spherical Tokamak Plasma using only based on the External Magnetic Sensor Signals in UTST device
3.学会等名 The 18th International Congress on Plasma Physics (ICPP 2016)(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 Xuehan Guo, Chio Z. Cheng, Ritoku Horiuchi, Yasushi Ono
2. 発表標題 Electron heating and acceleration during high guide-field magnetic reconnection
3.学会等名 The 18th International Congress on Plasma Physics (ICPP 2016)(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 K. Yamasaki, T. Ushiki, X. Guo, T. Sugawara, Y. Fukai, H. Yamanaka, R. Tamura, S. Kamio, T. Yamada, M. Inomoto and Y. Ono
2. 発表標題 Experimental study of electron acceleration mechanism during high guide field reconnection
3.学会等名 East-Asia School and Workshop on Laboratory, Space, and Astrophysical Plasmas(国際学会)
4. 発表年 2016年
1.発表者名 Yasushi Ono
2 . 発表標題 Innovative Approaches to Economical DEMO reactors (invited)

3. 学会等名 3rd Annal Meeting of Innovation for Cool Earth Forum (招待講演) (国際学会)

4 . 発表年 2016年

#### 1.発表者名

Yasushi Ono and Anthony Ford

#### 2 . 発表標題

Merging/ Reconnection Heating for Direct Access to Fusion Reaction (invited)

#### 3.学会等名

3rd Annal Meeting of Innovation for Cool Earth Forum (招待講演) (国際学会)

# 4 . 発表年

2016年

#### 1.発表者名

Y. Ono, T. Yamada, S. Inoue, M. Inomoto, C. Z. Cheng, M. Gryaznavich, R. Scannell, N. J. Conway, B. Crowley, C. Michael, H. Hara, S. Usami and R. Horiuchi

#### 2.発表標題

Reconnection Heating Experiments and Simulations for Torus Plasma Merging Startup

#### 3. 学会等名

Fusion Energy Conference 2016 (国際学会)

# 4.発表年

2016年

#### 1.発表者名

H. Tanabe, T. Yamada, K. Gi, K. Kadowaki, M. Gryaznavich, R. Scannell, N. J. Conway, C. Michael, B. Crowley, J. Harrison, I. Fitzgerald, A. Meakings, N. Hawkins, K. MccIrmrntd, T. O'gorman and C. Z. Cheng

#### 2 . 発表標題

Investigation of merging/reconnection heating during solenoid-free startup of plasmas in the MAST spherical tokamak

#### 3.学会等名

Fusion Energy Conference 2016 (国際学会)

#### 4.発表年

2016年

## 1.発表者名

M. Inomoto, K. Yamasaki, T. Ushika, X. Guo, S. Kamio, R. Yanai, T. Suhawara, Y. Fukai, H. Yamanaka, and R. Tamura

#### 2 . 発表標題

Formation of Closed Flux Surfaces in Reconnection Current Layer by Accelerated Electrons during Merging Start-up of Spherical Tokamak

# 3 . 学会等名

Fusion Energy Conference 2016 (国際学会)

# 4.発表年

1	. 発表者名	

Y. Ono, H. Koike, Tanabe, S. Himeno, S. Ishida, K. Kimura, M. Kawanami, M. Narita, Y. Takahata, T. Yokoyama, M. Inomoto, C.

Z. Cheng

# 2 . 発表標題

Development of High-Field ST Merging Experiment: TS-U for High Power Reconnection Heating

#### 3 . 学会等名

58th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (国際学会)

# 4 . 発表年

2016年

#### 1.発表者名

Hiroshi Tanabe

#### 2 . 発表標題

Recent progress of magnetic reconnection research in the MAST spherical tokamak (Invited)

## 3 . 学会等名

58th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (招待講演) (国際学会)

# 4.発表年

2016年

#### 1.発表者名

Yasushi Ono

#### 2 . 発表標題

High Power Heating of Magnetic Reconnection in Tokamak Merging Experiments

# 3 . 学会等名

58th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (国際学会)

#### 4.発表年

2016年

## 1.発表者名

H. Tanabe, T. Yamada, T. Watanabe, K. Gi, H. Koike, A. Kuwahata, H. Yamanaka, K. Kimura, M. Narita, M. Inomoto, R. Imazawa, M. Gryaznevich, R. Scannell, N. Conway, T. O'Gorman, K. G. McClements, C. Z. Cheng, Y. Ono and the MAST team)

#### 2 . 発表標題

Fine structure formation of high field reconnection experiment in MAST and Univ. Tokyo (invited

# 3 . 学会等名

MR2017 Conference (US-Japan workshops and schools on magnetic reconnection) (招待講演) (国際学会)

# 4.発表年

1.発表者名
Y. Ono, H. Tanabe, S. Inoue, K. Gi, X. Guo, R. Horiuchi, S. Usami, C.Z. Cheng, M. Gryaznevich
2.発表標題
High Power Heating of Magnetic Reconnection in TS, MAST and ST-40 Experiments
3.学会等名
MR2017 Conference (US-Japan workshops and schools on magnetic reconnection) (招待講演) (国際学会)
4.発表年
2017年
1.発表者名

# C. Z. Cheng, S. Inoue, Y. Ono and R. Horiuchi

2 . 発表標題 Role of Parallel Electric Field in Collisionless Reconnection

3 . 学会等名 MR2017 Conference (US-Japan workshops and schools on magnetic reconnection) (招待講演) (国際学会)

4 . 発表年 2017年

1.発表者名 Hideya Koike, Hiroshi Tanabe, Ono Yasushi

2 . 発表標題 An optical probe for local 3D ion flow measurement system

3. 学会等名 MR2017 Conference (US-Japan workshops and schools on magnetic reconnection)(国際学会)

4 . 発表年 2017年

#### 〔図書〕 計3件 1 苯老夕

1 . 著者名 Toshifumi Shimizu, Shinsuke Imada, Masahito Kubo	4 . 発行年 2018年
2.出版社	5.総ページ数
Springer, Singapore	305
3 . 書名	
First Ten Years of Hinode Solar On-Orbit Observatory	

1.著者名 Yasushi Ono, Toshiki Tajima, Michl Binderbauer	4 . 発行年 2017年
Tasusiii Oilo, Tosiiiki Tajiiia, wiciii biildefbadef	2017-4
2.出版社	5.総ページ数
AIP Publishing	108
0. #4	
3.書名 Formation of Field-Reversed Configuration by Use of Two Merging Spheromaks with Opposing	
Toroidal Field	
1.著者名	4 . 発行年
Toshiki Tajima, Michl Binderbauer, Y. Ono et al.	2016年
2.出版社	
AIP Publishing	196
3 . 書名	
The Physics of Plasma-Driven Accelerators and Accelerator-Driven Fusion	
(立坐叶本作)	•
〔産業財産権〕	

# 〔その他〕

小野靖・井通暁研究室:ニュース http://tanuki.t.u-tokyo.ac.jp/
nttp://tanuki.t.u-tokyo.ac.jp/

# 6.研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者		東京大学・大学院新領域創成科学研究科・准教授	
	(00324799)	(12601)	

6.研究組織(つづき)

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	田辺 博士	東京大学・大学院新領域創成科学研究科・助教	
研究分担者	(Tanabe Hiroshi)		
	(30726013)	(12601)	ļ
	原。弘久	国立天文台・SOLAR-C準備室・准教授	
研究分担者	(Hara Hirohisa)		
	(20270457)	(62616)	
研究分担者	清水 敏文 (Shimizu Toshifumi)	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究所・ 准教授	
	(60311180)	(82645)	

# 7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計5件

国際研究集会	開催年
Hinode13/ IPELS2019 Conference	2019年~2019年
国際研究集会	開催年
MR2018 Conference (US-Japan workshops and schools on magnetic reconnection)	2018年~2018年
国際研究集会	開催年
MR2017 Conference (US-Japan Workshop on Mganetic Reconnection)	2017年~2017年
国際研究集会	開催年
MR2016 Conference (US-Japan workshop on Magnetic Reconnection)	2016年~2016年
国際研究集会	開催年
MR2015 Conference (US-Japan workshop on Magnetic Reconnection)	2015年~2015年

# 8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
英国	Tokamak Energy Inc.	Culham Laboratory		
米国	Helicity Space Inc.	Princeton University	ウィスコンシン大学	他1機関
台湾	国立成功大学			